

# EPISODE GUIDE 4

The New World — FUTURE CENTURY/AFTER COLONY/AFTER WAR —

# GUNDAM

# PREFACE

ガンダムの歴史はガンブラの歴史。こう断る、(してしまう)のはいささか暴論、に過ぎるだろうか?

歴史と時人で正し支えたい、20年にわたる連綿たる継続。ガンブラをリリースし続けてきたバンダイの企業努力、デザイン性の優劣性はいまでもないが、それだけでガンブラが模様の「人ジャンル」として成長、定着した理由の説明にはならない。この場を借り、ガンブラが今まで継続して来られた人気の根幹を、今一度掘り下してみよう。

まず、第1は ガダマ が、過去の作品の作例やケレン味を上手に活かしつつも、臨場感あふれるリアルな描写・演出に熱心した映像作品であったことが挙げられるだろう。実情しなない傑作のメカである事までも承知で、それらを実在である 身体物=機甲 として 元々に置きたいと思わせる牽引力が、ガンダムという作品にはふんだんに込めこまれているのだ。

「失念しないことと得られる自由」が、モデラーの精神性を促した事も見逃せない。ここでいう自由とは、何をやることも構わないし! といった茫漠たる自由ではない。ガンダム世界におけるテクノロジーや時代性を配慮に入れなければならないという制約付きだ。ここで端的な例を挙げてみよう。ガンダムより強力なビーム・ライフルを装備し、ガンダムより高機動の「ザク」は、しかし、次期MS開発のためのビーム・ライフル試験としてザクはモデラーに「うーん、なるほど作ったかもしれない」となるわけである。適度な「規律」=決まりは、モデラーにとって、心地よい枷として機能したのだ。

劇中には登場するキャラクターだけでなく、シーンが存在しない構構(たとえばラン・ハラの古い写真)なども、モデルの格好の標的=創作対象である。シオンのエースは赤い目・牙・黒い…と述べだけのはずなく、とるえ、紫雲の)の、髪や!エースを片立て上げる、それが「カホコよ」、「説得力」を持ってえいれは敵退せられ、受け入れられるというと痛極、実物が過去または現在に存在するスケールモデルでは、こういった方向性は容易には受け入れられない。こんな楽しみ方が敵退退する模型ガンダムは、ガンバをおいて他に見当たらないのだ。

各ジャンルで輝いた模型表現を自由に持ち込んで見せさせても、カノよけには人話! というおかしさも、ガンパラの情の深さ によってイタイもう戦中地、現行戦闘服、レーシングカー……そこそそ普通にないまじい、それらを複合させてももちろん! 今度で居わたる技術や表現を全て採り入れる事の出来る模型ガンパラは、模型表現の「実験場」でもあるのだ。敢えて申すなら、ガンパラは「自由だが、インテリジェンスを必要とする、大人の玩具」といふべき。とはいえないか?

今更かななる本日は、僕等モテローが夢を馳せ、次は何を作るう……. と思い描く中、核となる、メカ設定やキャラクターが念ずけるに細網された格好のネタ本 である そう、やることをにヒントやアイチアが明もっている 『どの由 なのた 平準なる肉肉の羅列ではなく、今 幾ガダムという作品の歴史を反駁し、再検証することの出来る機能を持った 稀有な書籍 ということが出来る。是非 有分に活用され、飛びきりカンイイ、思っだけのハズ 作り に役立てていただきたい』と仰つたのである

# CONTENTS

巻頭言 → Preface・・・2

メロドラマとしてのガンダム → GUNDAM as MELODRAMA・・・4

もうひとつの宇宙世紀 ガンダムとガンブラの20年史 → Another U.C. - Two decades of GUNDAM/GUN-PLA・・・8

世界観 キャラクター＆メカニクスガイド、エピソードチェック → Worldview/Characters & Mechanisms/Highlight of GUNDAM

機動武闘伝Gガンダム・・・14

新機動戦記ガンダムW・・・36

機動新世紀ガンダムX・・・64

ガンダム設定資料集 → The Design Works of GUNDAM・・・81

ガンダム・スペックリスト → GUNDAM Spec List・・・144

ビデオ、LD、CD、小説ガイド → Visual&Sound Guide・・・146

ガンダムシリーズ・スタッフ＆キャスト → Filmography・・・150

索引 → Index・・・157



# メロドラマとしてのガンダム

A Dream for Superman "The Reinforced" girl called "No.5"

文=水玉螢之丞 写真=黒坂あけみ

「やオレ Gガンダム」は大好きだったけどガンダム全般にはウスイって、とか言い張るうちにこんとは Wにハマってまして、そんなこんなでなんとなくこういう場所に呼ばれて飛んで知を乱すことが多くなっちゃってどうもすいません。って感して、なんだかすっきり「特殊ガンダム愛好家」な今日このころってコレか「特殊なガンダム」の愛好家なのか、特殊な「ガンダム愛好家」なのかは判断の難しいところだねな っていうけて呼ばれたからには逆事は承知で、オレ的な正義を熱く語らねばなりませんまい メロドラマとしての「機動武闘伝Gガンダム」(以下「G」と「新機動戦記ガンダムW」以下「W」と呼ぶ、それはそれは特殊なガンダムのお話を

ゲーム攻め本のキャラクターータとてよく使われる、戦時の優美な形状の「レーダーチャート」ってのがあふれないか 円の中心から5本か6本の線が放射状に広がって、それぞれに目盛りがついて「パワー」とか「スタミナ」とかそういうやつ なんて全部のパラメータの数値を纏めてできる五角形あるいは六角形がつまりそのキャラクターの「タイプ」をあらわす。っていうアレです たえば「春のアニメ新番組」っていろいろいていくつかのタイトルをこのチャートと比較すると、ははあいわゆる キャラ系な人たちがこそって見るのはコレなんだね。ってのがひとめでわかっちゃったりする 言葉にしちゃうとミモフタもなさすぎる事実を「かたち」で表現できてなかなか画期的な手段ですが、それはさておき

それを歴代のカンダムでやってみるとしたら、と考えてみてください パラメータとしては「主人公の度」とか「大河原度」とか「カトキ度」とか「キ●●度」とか、まあ共通要素としてあふ(か?)と思われものをそろえて記入してい、と うーん、やっぱり「2」ってアツナイキャラ多かつても、とか、それなりの比較ができます 少なくとも「V」までは パラメータが整理しきれない場合は、チャートをモビルスーツ関係とストーリー関係とかに分けて2バージョン作ってみると、なんとかなるはず(・ 無責任

任

つまり、なんとなかったことにして話をすませます(笑) たけいこうやっても駄目なガンダム」と並べるからちてチャートにきかないのが、そうです、Gとあり「W」なんですよおきさん この2作品は、きわめてわかりやすく突出したパラメータを持っているんだけど、そのパラメータそのものか他の「ガンダム」とは共有されていない、というつまり あんなの ガンダム しやねえ!と書かれる原因としても、きわめてわかりやすい特徴を(第1までに)備えてゐたわけですよ

すなわちそれこそ「メロドラマ」っていう要素なんでした まあそれ以前に「ガンダム」がたぐさん出てきちゃうとか、しかもデザインになんだか村おこし的な ご当地テイストが盛り込まれるよオイとか、避けて通るのが難しいくらいでつかい共通点もありますか、それはオレが語るべき話じゃないからな 個人レベルの色恋歩みはゆるすえと、ガンダム乗り(いやホラ、「W」の人たちは「パイロット」だと「G」の人たちは「ファイター」だからね)としての戦いのゆるすえ、それが対比もされないまま、素直には平等の重要なファクターとして扱われていく、という設備のりへたへたな展開ゆえに、この2作品は「特殊なガンダム」として支持を得たの、ってのは言いすぎたけとさ

でもまあ、奇妙にヘクトルは違えと、ともに黒歴史(ってオイ)に 名を残すことになった特殊ガンダム、「G」と「W」の一大特徴がコレである。ってのは事実でしょう たたい、それを表現する手段はかなり異なっていたのもまた事実 「G」が友情や肉親への愛、師弟愛をもひくくるめた「人情全般」を広く取り扱ったのに対して、「W」はストレート かつ、あら、ダブルミーニングですねコレおはほほ)な男女の恋愛感情を中心に据えつつ、しかしヨコシマな悪女子の目にはかすかすのホイズ・ラブ関係も可能なおいしい要素をちりめて、スタイリッシュに「恋するさもち」(笑)を表現



てあれ てな感じですな だとすていうなら大映トラマと月9トラマくらい違うつか  
て っと思いついたにしてはナイスな説明じゃんコレ とか自分で感心したり た  
て、たしかに大映トラマ、あるいは香港電影だと思えばいきなり納得かいくもの  
かあるんだよな。G! には えとスは、次の対戦相手を研究しにナイト会場にや  
ってきたトモンとレイン と からとう見ても東京コミ・ノクショーへのオマージュ(笑)な  
様子の、ネオイット代表 コフラガタム カツホの中から出てきて うわあコテコテ  
たなあ といわれれば視聴者か思わず苦笑しかかったその瞬間、本気で驚いたモン

あつ、ノホの中からカガタムかッ?

ハカた ハカすきるそトモン! でもまあ きつとネオンヤパンには東京コミ・ノクショー  
かないんたろうな た たらしかたないか ってそういう問題じゃないつつの さらにそ  
のコフラガタムが対戦相手 たしかネオオスベイン代表のマタール・カガタム を必  
殺技で倒すのを見て つるやくレイン 何度見ても、すこい様えわ

そんなに詳しいんだったら、ソホから出てくるくらいのことばトモンに教えてといや  
れよレイン この 腕力するヒマを与えない演出のテンションの高さ、そしてそれをい  
いにと オイ 次々と繰り出される、ヘタなネタ はたと気がつけばTVの前のおとも  
たちは 画面に向かってノノコミを入れるのが毎週の楽しみになってしまっである これこそ  
その中にはまった状態 まさしく「何度見てもすこい様えわ なわけです 恐るへ  
し、今川演出 中毒性高いぜ

そのケレン盛れる今川テイストで、ヒーローとヒロインの恋も等しく描かれていくの  
か G! の魅力 いろいろあって後半、謎のネオイット忍者しつはトモンの義さん(の  
のものはんとはちょっと違うけど)「コンパルソ・フルーター(=「ロミオの青い空」とは無  
関係かと元ネタはいっしょ、って説明長すぎたよアレ)の凄腕な誘いをなせかすん  
なり受け寄れて、ネオイットチームのスタノフに転戦してしまっようレイン あまさえス  
バルフとおそろいの服もマスクまで身につけて、タメオンのひとことは、

「私はもう、オレの」の女

はーら、心の中に芥川隆行のナレーションが聞こえてきたでしょ

望し合いながらも互いの心が離れていくのを止めることができないトモンとレイン  
やけど意外な出合いが待ちうけていることを、いまの二人は知るよしもないのであ  
た てな感じ んでその 意外な出合い! っつての何かの伏線なのかっていうと全然  
そうじゃなくて この「ネオイットの女」になったレインを見てトモンがまた本気で驚く  
っただけのオチえったりするわけですよ 今思うと「ここまでついてきてるお客さんな  
ら、もう今さら何やっても怒らないからヘーキ」っていう考えカススタノ側になかった  
とは言いきれないんじゃないかって驚かすもするんだけれど、事実オノゲーだったし オレも  
オトナだから内心ちょっとなあきれたけどさ っつて「ちょっと」かい!)

というより そうやってシュバルフから差し出された(なせかサイズびつりの)マス  
クを受け寄れてしまっようレイン、そしてその衝突でヘタヘタな展開を受け寄れてしまっ  
われわれ、この「受け寄れてしまっよう」ことこそが、メロトラマというものを成立させてい  
わけてす が、その何ともアリ状態を実現させるためには、番組そのものが「どりあ  
すとにかく毎回おもしろい」という、高い高いハートを飛び越え続ける力をキープ  
している必要があったわけて 約1年間という長丁場、しかもアニメでソレをやリ  
進けたスタノフに対して、毎週みこと術中にはまってあつた者のひとりとして、いままです  
か拍手を送りたいです オレは、本気で

かきねて言いましょ ミもフタもない表現をしてしまえば、このような「語り継がれ  
るほどのくらなシーン」こそが、すなわち「メロトラマ」というもののエッセンスな  
んですね 純度の高い、きわめて濃いくたらしさを持ったシーンを出現させるために  
は、そこまでに数多くのくたらない運命を重ねてきていなければならぬ「練の平術  
の成功を祈って、深夜の病院の廊下でひとり真剣にバレエを踊る宇津井健!」(実在  
するんだよ、そういうシーンが「大映トラマには」めいた、奇妙のような、いっそ美



しいまでに突出したくたならさ その確さーたいー(かおれ)を、ら)は放  
わけてすよ まっくって笑っちゃうくらいにさ

たしかし メロトラの真像、それは大団円の大団円らしに、集約されます め  
てたためたし て終わるはすたからこそそれした何でもアリが あたふたとした不完全  
ななは複合させて導き出しました、それは単なる 全体としてはものすけく  
メロトラ にすぎないわけてす 毎回の過剰なテンションの高さが、それとも最終  
回のはけけけけけにはかなねえ、てくらのカタシスが得られないけりゃ、お客  
さんは満足して帰れません それまで毎回「て、この戦きとはどうなの？」っていう気  
持ちたて、すべてを受け容れてきたわけなんだからさ

そしてその感情は裏切られることなく、最終話のアレをわれわれは目にすることか  
てきたわけてす 今川ティスト炸裂、明智の一世代の雄叫びによる、石破  
ラッパラッパ 天童 川を すてにノレかといううものであったか説明する気力  
かオレにはありません(笑)か 見てた人ならわかりますね あのしひれるほと「解わ  
れたぜ」、ああ今川カントウ生ついていきます、と心の中で絶叫した一瞬を、オレ  
はここっぽっちでも後悔してませんとも

見ろ そしてハマれ G)か、こういうふうにしかに紹介できない、種間のアニメであ  
ること、同時に「あんなの カンダム しゃねえ」と言われる事情は、つまりそういうこ  
となわけ ワンタと思うなら見てみなさい

あら、「G」を熟知するまでベース配分がちょっとピンチ でも「W」のほうは、そら  
あもあくさんの麗女子のみなさんかあちこちいろいろと展開なさっているのて、  
満足するまでもないような気もするし、オレか言いたいことってのは、放映終了直後  
に基所の座談会企画で口走って気がすんじやってるってのもあるし 基本的ににはそ  
れの通り(真)にならざるを得ませんが、その当時はテンション高くないからねえ(笑)、  
かえって冷静に分析できたり ってことだけはいいですな えっへん イバってと

・する

えーとつまり、オレ「W」は、ヒロイ、「カンダム」アと目標をし  
く、その先の一生を確に据えることになる、ピースクラフト兄妹の物語なんですよ リ  
ナは女の心からメカに興味ないのか、自分の意思でヒロイをまっく追いかけ  
るからで、「恋」を駆動力に敵うお姫さま っていう立ち位置をすんなり獲得するの  
に対して、兄セクスことミリアルドは、いきなり自分でもコントロールできない激情(笑)  
につき動かされるからで 最後の最後まで運命に翻弄される立場をスタートさせる  
その図式をきちんと予感させた第1話は、つかみのエピソードとして傑作えつつねえ

カンダム と出会ってしまったと同時に、自分がそのパイロットではないことを  
悔やしく思っ た者の案として、セクスもまた カンダム」と、それに乗るヒロイを遠う  
ことになるふたで、また会いたい、会って戦いたい、と狂おしいまでに自分が切望し  
てるその対象が カンダム」なのか、それともヒロイなのかは、かれ自身にもわかって  
ない 理由づけはきてる気になってるけど、その気持ちがかましく 恋」である、つて  
ことは自覚がない、っていう点で、しつは理由もなく恋におちたリリーナよりタチ悪  
いんですよ 今まで惚れたことしかなかったんたねミリ、とか罵たきくなくなか  
んし

んもってやつと実現した南極対決も、ヒロイが爆力物のモビルスーツに乗ってた  
から不完全燃焼に終わっちゃうし、自分がそのためにOZの軍人っていう立場までた  
なく(り)捨てたんだって事情も、ヒロイから見ればセクスが勝手にやったことだし、なんた  
かから、ちっとも経緯ないわけてすよ みつともないばかりで(そのみつともなさ  
ぶ)がまたオレはすく(好きだったんだけどさ)「金いはい」って気持ちかどーんとあ  
って、それに対しての 金する/金さない)のとちうかだけで世界が盛り立ちやっ  
てるリリーナのほうが、よっぽと充実した片思い 生活をそのころ送ってたのも無理はな  
いってすな

作者さんは失礼ならな忘れちゃったんだけど、とある「W」の同人誌(セクス×トレ  
ース本でしんが)に、セクスがドレス様にあんなことやこんなことをしながら「19歳  
の性欲を偽ってはいけませんよ」っていうシーンがあってねえ、オレこのセクスさん  
い好きなんだと、このセクスの平本でもいいから、本編のセクスにもおのれの欲望  
を認識してもらいたいもんなわ、とか本末転倒なことさ考えたりました でもまあ、  
自分かとして、んなにヒロイ/ワイングにこだわるののか、つてことをいっときも考  
えたりしないあたりも、恋するあまのバカぶりのしとは正しいありかただしね かわ  
いいなあ

そんなセクスの揺れる意心(笑)を横に、リリーナとヒロイの会えそうて会えなくて  
会ってもすぐまた離れちゃう「君の名は」は恋を経済にメロドラマの王道なかんして  
展開したストーリーは、最後はリリーナの犠牲にヒロイが感服するからで恋の決着  
がついて、ヒロイという存在を、そしてその肉体を手に入れたかたわけではない、  
という結論に(本心かとうかはともかく)たどりついたセクスは、自分が惚れてくれて  
る(しかも女だし)メインの存在を思い出して心の平穏を取り戻す、っていう……え？  
そういう話でしょ、「W」つて？ ノレ以外にどう解釈しろと？ いや、オレはぜんぜん  
本気ですな

やっば、五臓の心に深いキスを獲してエレガントに敵ったドレス様のほうか、  
少年」の懐に閉じては上手たつたことかからぬふうか、とか他にも見どころは  
たくさんあるけど、やっば「W」の主役はセクスでしょう、当時中学生とかでデイト  
命たつた人人も、リリーナな麗女子に買ったままの援護で、もういちと見てみることを  
おすすめしたいです なんてな

# もうひとつの宇宙世紀

## ガンダムとガンプラの20年史

Another U.C. Two decades of GUNDAM/GUN-PLA

文=北沢 昌嗣



ガンダムを語る上で「カンプラ」(本来的にはガンタムのプラモデルの意)は欠かすことのできない要素である。映像作品としての「ガンダム」と「カンプラ」の存在は不可分であるが、イコールではない。

プラモデル=模型」といったカテゴライズするすでに「カンプラ」という存在を規定するに充分ではないように思う。「カンプラ」はすでにそれ自体がひとつのジャンルであり、メディアであるといってもいいだろう。本稿では他に類例をみない、壮大な体系を構築するに至ったガンダム・プラモデルシリーズに敬意を表して、あえて「カンプラ」と表記することとした。この一連のプロダクト群を指す、それ以上に適切な呼称は現在のところ無いと筆者は考えている。

なお、本稿はガンプラというアロクソンの20年間の軌跡を出来る限り詳細した視点から記述するよう心がけているが、実際のところ膨大なガンプラ史を考察するにはガンダム/カンプラの周辺だけでなく、アニメーション、模型シーン、あるいはより広いマーケットの視点からの関連をもあたらなければ語り尽くせるものではない。たが紙数に限りもあるためここではあえてカンプラとその周辺の狭い範囲に論旨を絞った。それ故に賢明なる読者諸兄にはいささか不十分と感ずる向きもあろうが、その点こそ承知いただきたい。

### 第一次ガンプラ・ブーム

当初はむしろハイティーン以上のマニア層に熱狂的に受け入れられたガンプラだったが、劇場版ガンダム三部作の公開にもない、ひとつの頂点を迎えたガンダム・ブームのなかで、ユーザーの裾野が拡大し、小学生以下の若年層にもその存在を強くアピールすることになる。

そして訪れたのが空前のガンプラ・ブームである。その始まりは筆者の当時の印象

としては「ある日突然、店頭からガンプラがきれいさっぱり消え失せた」というほどの凄惨なものだった。

それからは社会現象としてマスメディアに取り上げられるほどの狂騒状態である(新製品の発売日に店先に行列ができる、その行列に並んでいた子供が将校扱いになって怪我をする、といったマスメディア好きのわかりやすさであった)。

このブームの勢いによって、ガンプラはさまざまなアイテム数を増やしていく。作品中に登場するすべてのモビルスーツをキット化し、果ては一部の艦艇類やキャラクターのフィギュア、書籍中には登場しなかった没MS(一連のアッグシリーズと呼ばれる水中用MS群)までが商品化され「ガンダムと名が付けばなんでも売れる」という課状態が続いた(についてにいうと「ガンプラのふりをした偽物」もドサクサに紛れて大量に発生した)。

### MSV(モビルスーツ・バリエーション)

ここで、ガンダム/カンプラ・ブームを支えた象徴的な2冊の本の存在について触れておこう。

もののり書房刊「ガンダム・センチュリー」とホビージャパン刊「HOW TO BUILD GUNDAM2」である。この2冊に共通するのはガンダムの世界設定をベースにしつつ、それをより発展、深化させる形で提示していることだ。映像作品中では描かれてはいない事柄、あるいは曖昧だった事柄を、よりマニアックな視点から補強するというアプローチである。

具体的にそれは「センチュリー」における密着なSF考証やメカニック描写であり、HOW TO におけるMSという「兵器」を実在する兵器に見立て、戦場の情景のなかに配置するといったアプローチである。アニメという表現上の制約を取り払い、





より洗練された、よりリアルな表現で提示されたMS像は、当時のガンダムファン（多くはガンブラのユーザーでもある）に多大な衝撃を与えた。

こうしたマニアックなファン熱の延長上にある創作が、後のガンダムシーンに与えた影響は大きい。たとえば、ガンダム・センチュリーで提示されたミノフスキー・ウラフトやAMBACといった概念は、のちにサンライズの公式設定として取り入れられていったし、HOW TO〜に集約された模型製作の指産の数々は以降、ガンブラ製作の約束事となっていく。

これらの書籍やアニメ誌、模型誌等で認知された世界観はファンのあいだではガンダムにおける暗黙の了解事項として浸透していった。

そしてこういった非公式ながら強い影響力をもったファンシ的な世界観をもとに新たなガンブラ世界が構築されるに至る。

MSV（モビルスーツ・バリエーション）シリーズである

劇場版三部作の公開が映像作品としてのガンダム・ムーブメントの頂点であったことは先述したが、それ以降も商品としてのガンブラに対するニーズは依然として存在し続けた。

当時、ガンブラフォームが火付け役となって起きたキャラクターモデルの合戦は、それまで男児玩具の主流をダイキャスト玩具からプラモデルに交代させるほどの勢いであったから、ガンブラに過剰する商品ガンダム本家のバンダイをはじめとして各社が展開していた。キットの水準も一作ごとに高まり、右肩上がりの上昇気運がメーカーにもユーザーにも存在するという幸福な状態だったといえる。だが、この時点において作品中に登場する主要なキャラクター（MS）はすでに商品化され尽くしていた。

それならばガンブラのための新しいMSを作り出せば良い

当時すでにMSVの存在は前述の How To〜 や関連ムック本、雑誌媒体等を通じてユーザーサイドに概ね了解されており、既存のガンダムの世界観を損なわない形であれば、本編に登場しないMSであってもユーザーは拒否しないことはMSの商品化で実証済みであった。それだけガンダム世界の幅が深かったともいえるわけだが、むしろガンブラそのもののガンダム、という映像作品とは独立した一種のメディアとして機能しはじめていたということであろう。

またガンブラのセールスポイントであった「リアル感」という意味においても、プラモデル発のキャラクターであるMSVではより細密な表現が可能であった。ガンブラと共にハイエンド化していったユーザーにもこういった傾向は歓迎され、ガンブラは模型独自の世界を拡大生産していくことになる。

## 拡散する ガンダム 世界

ガンブラ・フォームに端を発したキャラクターモデルのブームも失速の気配が漂った。1984年 ガンダムの続編TVシリーズ 機動戦士Zガンダム の製作が決定した。たいへん乱暴な言い方をすれば「時代の要請」によってということになるだろう。スピンオフするバンダイからすれば、MSVという模型独自の「宇宙世紀」を展開することで継続していたガンブラが、いわゆる1stガンダムの世界観という枠内で、これ以上シリーズ展開することに限界を感じていたという事情もあったろう。

作品自体の評価は本稿で扱うべき本筋から外れるので割けるが、ビジネス的な意味でいえば、Zはガンブラにとってカンフル剤の役割を十分に果たしたといえるだろう。

事実、ハイペースでリリースされるZ MSのキットは、ガンブラ及びガンブラ的な各種の素材に食傷気味だったユーザーの食欲を助けるに充分な魅力をもっていた。



し、各模型誌はこそこそ Z のモデルを取り上げた

一方で、番組制作者側にとっては、本家不在のなかで肥大したガンダム独自の世界観や設定は(それらが1stガンダムの世界観を大きく逸脱するモノではなかったにせよ)一種の足枷となつてあろうし、作品は所詮MSのプラモデルを売るための方便にすぎないのかというジレンマもあっただろう

1stガンダムが玩具を売るための方便を逆手にとって「作品」として多くのファンに評価された反面、玩具ビジネスとしては苦戦したことを考えれば、この構造の逆転は皮肉である

ともあれ Z はビジネス的には成功を納め、ガンダム・シリーズは翌年 機動戦士ガンダムZΖへと継続される この Z ~ ZZ においては多数の新進デザイナーが起用され、MSのデザインはかつてない多様性を得たが、それは同時に“ガンダム”という定義が拡散し、求心力失うというマイナス効果も生じた

また Z 以降、各模型誌ではガンダム・ブームを支えた第一世代のモデラーに加え、ガンダム/ガンダム・ブームの洗礼を受けた第二世代のモデラーたちが登場の機会をえられることになったのも、模型的な側面からいえば特筆すべき事柄であらう

## SDガンダム

ここでもひとつのガンダム世界というもへきSDガンダムについても触れておきたい

SDガンダムもまた、最初はファンのお遊び的な一種のパロディとして登場した たが、2等身にコミカライズされたガンダムキックウターたちは、そのユーモラスな親しみやすいノウハウから、予想外に子供たちの人気を集めることになった  
ガンダム・ブーム当時、それを支えた子供たちへのガンダム普及において、重要な役割を果たしたのが講談社 コミックボンボン の存在である

当時、同誌は模型誌で活躍していたモデラーを誌面作りに登場させ、MSVのようなハイエンドユーザー向けともいえるアイテムの一般化に貢献するとともに、プラモ狂四郎)といった作品でキット改造やスクラッチビルドといった模型作りの行為そのものを娯楽作品として提示することで、マニアックなホビーという色彩が濃かったガンダム模型作りを一般的な子供たちの遊びとして拡げることになった

ビジネス的にいえばむしろこういった底辺の拡大こそカムフラメントを支えていたわけで、その意味ではガンダムに対する最大の貢献者のひとつといえるだろう。

高規格化、複雑化することによって子供たちには数層の高い存在になっていった。「MSV」から「Zガンダム」へと続く「リアル・ガンダム」(この言葉自体、SDガンダムという概念に対する反語として造られた言葉だが)の系譜が、ガンダムとともに成長した

ハイティーン層を輩出した作品/商材であった一方で、“武者ガンダム・シリーズ”“ナイトガンダム・シリーズ”などRPG的な要素も含ましつつ発展拡大した独自の世界体系が、小学生以下の購買層にもわかりやすく、また商材としても安価で組立も容易であったために、SDガンダムは広く支持されることになる。

### ガンブラ「冬の時代」の訪れ

拡大再生産を経てきたガンブラだったが、フームの絶頂期から10年近い歳月を経て、その勢いにも影が見えはじめていた。ガンダム/ガンブラというブランドイメージ自体も疲弊し、ユーザーに対するかつての訴求力を失いつつあった。

そういった状況の下、展開されたのが劇場版「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」及びOVA「機動戦士ガンダム 0080ポケットの中の戦争」のシリーズである。両作品におけるMSデザインはZからZZまでの巨大化/複雑化のインフレーションに対する反動からか、厚み図画的な方向論が取られ、1stガンダムのリメイク的な色彩も強い。

だが、この時期ガンブラ・フーム当時からエンドユーザー層の多くは、ガンブラを「草葉(もしくは封印)」しており、ガンダムに、ムーブメントの牽引役を果たしたかつてのカリスマ性は失われつつあった。

では、この時期何がガンダム/ガンブラをビジネスとして支えていたのかといえば前述のSDガンダムの一連の商材であろう。機軸かつ、意地の悪い見方をすればリアル・ガンダムはSDガンダムの元ネタ供給源として機能していたわけである。

一方で今日のガンブラにおける確率フォーマットとなった塗装剥不用のスナップキット、多色成形技術による塗装剥不用な部品構成などはこの時期から採用されるようになった仕様であり、ガンブラの技術的な側面では収穫のあった時期である。これらの技術革新によって以降、ガンブラは完成度の高い組立玩具といった性格の商品になっていく。

### 消費される「ガンダム」

前項ではガンダムのエンドユーザーへの訴求力の低下ということを書いたが、そういったコアユーザー層に向けて発信されたのが前述の「0080」や「機動戦士ガンダム 0083スターダストメモリー」といったOVA作品である。

また、同時期にバンダイからは「サイバー・コミック」等のガンダム・アンソロジー的なコミック誌も刊行され、多くのクリエイターが独自の「ガンダム世界」を展開し、シーンの演進に拍車をかけていた。

そういった状況下、MSV以来のプラモ独自の展開として登場したのがガンダムセンチュールである。ガンダム/ガンブラ・フームの洗礼を受けた第二世代の制作者による「センチュール」は「モデルクワフィックス」誌上での模型を使ったオリジナル・フォーストリー・の展開から、プラモデル化に至るまでのムーブメント自体を「ガンダム・フームのバイバル」(送り手・受け手の一体感といった部分まで含めて)として提示し、拡張するガンダムのパブリックイメージを再構成することで、コ



ユーザー層の圧倒的支持を得た。実際、現在の20代後半から30代前半にかけてのガンダム・ユーザーにとっては センチネルこそがリアルタイムのガンダム原作体験という人間も少なくない。

OVA 0083スターダストメモリー もまたコアユーザーの指向するところの「本来的なガンダム像」を強くこめて支持を集めた作品であり、同時期に公開された劇場版 機動戦士ガンダムF91 が、従来のガンダム像を刷新し新しいスタンダードの構築を目指したのとは対照的であった。

またこの時期、ガンダムの商材としては、旧作品の上位カテゴリでのリメイクとしてHG(ハイグレード)シリーズが登場し、RX-78やZガンダムといった人気アイテムの再商品化といった試みも成されている。

## SD世代のガンダム像

TVシリーズ 機動戦士Vガンダム は劇場版 F91 の系譜に位置し、その世界観を継承する作品である。

Vガンダム のキット化に際しては若年層への配慮から、キットのダウンサイジングと組立の簡略化を目指した小スケールのモデルと、上位カテゴリとしてHGに位置付けられる大スケールのキットとをとも F91 以来のMSの設定多量の小型化によって従来のキットより小さいのが特徴的なラインナップされている。だが「Vガンダム」という作品自体がかなりハードコアな内容であったせいか、若年層へのアピールはいまひとつであった。

そして、その後に続くTVシリーズ 機動武闘伝Gガンダム において、ついにガンダムは「宇宙世紀」という枠約を離れ、ある意味で先駆的かつスーパードラゴニック的存在として再提示されることになる。

こうした Gガンダム の取り組みは SDガンダム で「武者ガンダム」や「ナイトガンダム」といったクレンジンされるガンダム像に慣れ親しんだユーザー層「コミックホッピング 読者層」には好評で、リアル・ガンダムとSDガンダムの構造的な存在ともなった。

前作 Vガンダム で提示された商品コンセプトは、Gガンダム という帯材を得て本来の想定ターゲット層である子供たちに受け入れられたわけである。

その後の「キャラ入れ」によって女性ファンを掴んだ後番組 新機動戦記ガンダムW もMS自体に明確な個性を付与することでコアユーザー以外のガンダム購買層をも獲得するが、続く 機動新世紀ガンダムX では既存の Gガンダム 及びガンダムW とのラインの差別化を確立することができず、再び苦戦することとなる。

## ガンブラの現在、そして未来

1995年の 新世紀エヴァンゲリオン の登場とそのブームは、閉塞状況にあったアニメ/ホビー市場にとってまさしく福音であった。

まず、エヴァ・ブームによって新規に参入したユーザーに加え、アニメやプラモデルから「卒業」した(と思っていた)出戻りユーザーが大量に発生した。

また、それまで「オタク的=ダサい」とされてきたモノが「スタイリッシュなモノ」として成立しようという価値変換を生じさせた点で画期的でもあった。

さらに同時多発的に発生したハイテク・スニーカーやGショック、アメリカンスタイル・スターウォーズやスポン・アクション・フィギュア等といった「モノ」ブームのなかで、ガンブラもまたマスアイテムのひとつとしてマーケットに「再発見」されることとなった。

そういった追い風を受けた状況の下で「究極のガンブラ」として企画されたのがMG

G(マスターグレード)シリーズである。

バンダイの技術的集大成とも言えるMGシリーズは、ユーザーのガンブラへの関心を再び高めることに成功する。MG・RX-78、MG・ザクの成功を受けて、旧作の人気アイテムが次々とMGシリーズとして再商品化され、それらはガンブラを買い続けてきたコアユーザーのみならず、幅広い購買層に受け入れられた。旧作品のリニューアルであるMGシリーズの成功の理由を1stガンダムや「Z」といった過去の作品人気によるモノと解釈するのは容易い。実際そういった側面が強いのも事実だろう。

だが実際のところ、昨今のガンダムを取り巻く状況を見れば、過去の映像作品であってもほとんどがパッケージされ、レンタルビデオ店や衛星放送を利用すればいつでも観ることができる環境にある。またシミュレーション・ゲーム等のメディアでガンダムに慣れ親しんだ層(コアユーザーも含まれる)からすれば、あらゆるガンダム作品と、そこに登場するMSはゲーム内における価値(ゲームユニットとしての性能の優劣)のもとに等価となる。

そういった環境下にある現在のガンブラ主要購買層にとって、特定の「作品」に対する想い入れなどの程度の重要性をもつもののなかは疑問だ。RX-78もF91もWも、すべてが差別化した点で、どのガンダムが好きか? という問いは、たんなる選択の問題に過ぎないからだ(だからこそZとWとVが好き、という複数選択もまた容易になるわけだ)。

これまでガンブラは(ときに大々的に秀しなげながらも)厳格なユーザーのニーズに追いつけるかたどいて進んで続けてきた。だが現在のガンブラ・ユーザーのニーズは、かつてのようには単一の指向で指図することができない放射状のベクトルへと変化してきている。

一方で現時点でガンブラの頂点に位置付けられるPG(パーフェクト・グレード)の完成度は、すでにユーザーの予測やニーズを遥かに越えた地点にまで到達してしまった。

新カテゴリとして登場した HG・UCシリーズ、では純々と旧アイテムがリニューアルされ、明確な方向性のないユーザーのニーズを先取りし、方向付けかのように新製品が提供される。

まさに第2次ガンブラブームともいうべき現在の状況であるが、当然ながらそればかりでのブームの再来ということとは意味合いの違うものになった(20分、オトナになったのたいうことまであるだろう)。

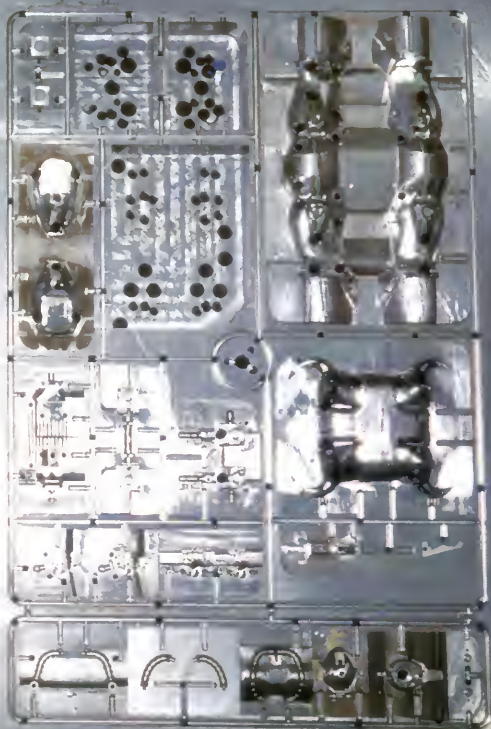
現在、最新作となる新機動ラインの「Vガンダム」シリーズが大ヒットしているという話は聞かないが、今後10年、20年といった長期的視点からガンブラ・ビジネスをみれば、そのこと自体は問題にならないだろう。設MSやメディア輸送機といったマイナーアイテムまでもをキット化してシリーズを継続してきたことがガンブラのシリーズ全体を見出したときのラインナップの厚みを生み、アドバンテージとなっているのだから。

なによりガンダム/ガンブラが誕生から20年の歳月を越えた今日も一級級の商材として存在するという事実が、シリーズを継続することの重要性を証明しているのではないだろうか?

もはや「キャラクターモデル」というジャンルの代名詞といえるほど巨大化したガンブラの存在。この20年間で、優勝すればあらゆる「ロボット物の機體」はガンブラというジャンルに包括されてしまったのではないかと? あいはいはガンブラ以降のキャラクターモデルはすべて、その最初からガンブラのバリエーションに過ぎなかったのだろうか?

願わくば今後も、ガンブラがより「量か」を世界を我々に提供してくれることを、ガンブラ・ファンのひとりとして希望する。

掲載ガンブラ: 1:100スケールMG MS-06 F サクシ 1:100スケールMG RX-78-2ガンダム ver.1.5



## CHRONOLOGICAL TABLES

F.C.	
F.C.1	支配圏が地球を脱出。コロニーを本拠とするようになる。
F.C.2	地球上各国の治安が悪化し、紛争が頻発。これが後に、地球カオス戦争と呼ばれることになる。コロニー連合はこの戦争を、MSの投入により鎮圧しようとする。
F.C.4	地球カオス戦争開始。地球上各国の統治権が完全にコロニーへと移る。戦争時MSの働きに注目が高まり、開発競争が激化する。
F.C.6	MSの開発競争による開発拡大に拍車がかかり、再び各派の全面戦争「第2次カオス戦争」の危機が訪れる。各派は出陣。高性能MSとしてガンダリウム吉金を使った「ガンダム」を開発していた。そこで、軍事研究家、デューサー一族は、戦争回避の手段として「ガンダムファイト」を開発する。
F.C.6	第1回ガンダムファイト開催。ネオギリシア優勝。リトルガンダム（ヘーダー・ディオニソス）
F.C.12	第2回開催。ネオアメリカ優勝。ガンダムフリーダム（フィアー・フィラデル）
F.C.16	第3回開催。ネオエジプト優勝。ファラオガンダム3世（ダハール・ムハンマド）
F.C.20	第4回開催。ネオチャイナ優勝。フェイロンガンダム（サイ・フェイロン）
F.C.24	第5回開催。ネオフランス優勝。バロンガンダム（フェルナンド・ローワル）。
F.C.28	第6回開催。ネオイタリア優勝。ガンダムトーマード（ビトリリオ・アルジェゾト）
F.C.32	第7回開催。ネオドイツ優勝。カイザーガンダム（ウルフ・ハインリヒ）
F.C.36	第8回開催。ネオロシア優勝。コサックガンダム（スクリレイ・ジリノフス）
F.C.40	第9回開催。ネオイングランド優勝。プリテンガンダム（ジェントル・チャップマン）。以降、チャップマンは10、11回大会と三連覇を成し遂げる。ライフル系の武装を誇るチャップマンの優勝は、各派のピーム兵器の開発を促す。だが、この開発競争が各派間の不睦を招き、F.C.52年の大会が延期されることになる。
F.C.56	第10回開催。ネオホンコン優勝。クローンガンダム（マスター・アジア）。これにより各派は、格闘戦重視の機体開発へとテーマへと転換を移す。
F.C.60	第13回ガンダムファイト開催。デビルガンダム最勝。

## KEYWORD

## MS

この世界ではガンダムファイトに参加しない、戦闘用メカがMSと呼ばれるMFとは区別される。ブッシュ、ポッシュ（ネオジャパン）、ゴダール、バトラーペンシマ（ネオフランス）、マープロー（ネオアメリカ）、カシダン（ネオギリシア）、ベスカー（ネオメキシコ）が登場した。また画面には、ネオジャパンにはMAファントムも存在した。

## コランダー

従来のコフ・ファイターにあたる機体。ガンダムのバックパックと一体化した自動車に近い形状をしており、パイロットの足として活用される。だが、本編にはあまり登場しなかった。

## G GUNDAM'S WORLDVIEW

人類の多くが宇宙に移り住んだ未来世紀。それまでの戦争の歴史を踏まえて、より合理的な戦争が「発明」された。それが、4年ごとに各コロニーの代表がそれぞれのMFガンダムを戦わせる「ガンダム・ファイト」だ。ガンダム・ファイトの勝利国は、4年の間、コロニー連合の主権を握ることができる。

GFと呼ばれる各コロニーの代表は1年の間、リングと定められた地球で、さまざまな国のガンダムと戦う。最初の11ヶ月は、世界各地で出会ったガンダムと戦い、その勝者が決勝リーグに進出するという仕組みだ。作品タイトルになっているGガンダムとは、ガンダム・ファイトの勝者のガンダムを、ガンダム・ザガンダムと呼ぶことに由来している。このことからわかるようにGFは、兵士というより、武闘家の性格が強い。

だが洗練された戦争であるはずのガンダム・ファイトもまた、地球環境を破壊しているという矛盾を抱えているのである。

## TECHNOLOGY

ガンダムを動かすコクピットの共通規格として、「モビルトレースシステム」が採用されている。無数のナノ・マシンによって形作られた皮膚でファイターの体を被うことで、その動きを完全にガンダムで再現するシステムだ。これにより「人機一体」の動きが可能となった。また、機体が受けたダメージがそのままGFに伝わるのもこのシステムの特徴だ。

またガンダムの素材だが、いずれもガンダニウム合金をベースにできているが、デビルガンダムだけは違う。デビルガンダムは金属でありながら、生物の性質を備えたDG細胞でできている。これにより、驚異的な「自己再生」「自己増殖」「自己進化」という性能を持つようになった。

また、この作品のコロニーは鳥3号型ではなく、浮島のような形をしており、その国を象徴するさまざまなモニュメントが飾られている。さらにリングとなる地球は、衛星軌道にあるピームロープにより囲まれている。

## DG細胞

ドモンの父、カッシュ博士が地球環境再生のために研究開発していたアルテイメットガンダムを構成している「細胞」。生体細胞を侵食してその人間の意志をコントロールし、最終的にはMSデスアミーをコントロールするゾンビ兵として、デビルガンダムの手下にしている。デスアミーとその他のバージョンの機体もまたDG細胞でできている。

## シャッフル問題

歴史の輪で、常に同じ秩序をコントロールし、人類の滅亡を防いできた5人組。それぞれの名前にもちなみMFに操縦する。リーダー、キング・オブ・ハート（東方不敗）が翻反した後は、彼の行動を監視していた。そしてガンダムチームの面々が、それぞれの敗戦を受け継ぎ、新たなシャッフルとなった。



MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# KING OF HEART

機動武闘伝Gガンダム/キング・オブ・ハート

## シャイニングガンダム

■Height 15.7m/Weight: 6.8t

■Notes 第13回ガンダムファイトに向けて開発されたコロニー国家ネオジャパンのモビルファイター。単点を使う搭乗者の能力に合わせ、格闘能力に重点を置いた設計になっている。ことに搭乗者の精神面とのシンクロゲイズ技術を盛り込み、驚異的な運動、高出力を美とする「スーパーモード」を搭載。発動後はカタログスペックでは測れない高速度能力を発揮する。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第1話

## ドモン・カッシュ

■Notes 地球環境再生のために開発された生体テクノロジー「アルティメットガンダム」開発責任者カッシュ博士の次男。第13回ガンダムファイトネオジャパン代表ガンダムファイター。ガンダムファイトを戦いつつ、地球に降下したアルティメットガンダムとこれを奪取した兄キョウジの行方を追う。伝説のガンダムファイター、東方不敗のもとで争奪「荒原東方不敗」を推し、その能力を認められて代表に抜擢された。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第1話

## ゴッドガンダム

■Height 16.6m/Weight: 7.5t

■Notes 第13回ガンダムファイト途中で大破したシャイニングガンダムにかわりドモンに与えられたネオジャパンのモビルファイター。シャイニングガンダムで重傷されたノウハクを元にさらに洗練された操作性を持つ。シャイニングガンダムで採用されたメンタルリンクもさらに発展、気の乱れによって発動する「ハイパーモード」を搭載している。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第24話

## レイン・ミカムラ

■Notes シャイニングガンダムの開発者ミカムラ博士の娘。ネオジャパンが第13回ガンダムファイトに向けて送り出したサポートクルーのひとり。ドモンの幼なじみでもあり、選手の健康管理、メカニックのメンテナンスを一手に仕切る有能な女性。ガンダムファイターとしての適性も有り、のちにモビルガンダム機体に伴うライジングガンダムパイロットになる。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第1話

シャイニングガンダム

ドモン・カッシュ

ゴッドガンダム



## ライジングガンダム

■Height 16.2m Weight 6.7t

■Notes: シャイニングガンダム開発で試作されたプロトタイプモビルファイター。基本性能はほぼシャニングガンダムと同等のものを持つが「スーパーモード」発動機構が組み込まれておらず、武装や機体のチューニングも格闘戦よりは武器攻撃に合わせたものになっている。デビルガンダム爆攻に備えネオジャパンにより密かに地球へと持ち込まれ、ガンダムファイト参加機体ではないが「デビルガンダム事件」では一度実際の戦闘に参加している。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第42話

## キョウジ・カッシュ

■Notes: アルティメットガンダム開発者の一人、ドモンの兄。父と共にネオジャパン・ガンダム開発局の依頼を受け、アルティメットガンダム開発に従事していたが、完成直前にガンダムを奪い出す。ガンダムごと地球に落下し豪雨消す事態を遂く見たネオジャパン当局は、ガンダムファイト開催に際して実弟ドモンに機体の運搬を命じる。彼のこの行動は動機などの面で不透明な部分が多く、後に事件の進展に伴いガンダムファイトを巡る大規模な陰謀が明らかされることになる。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第6話

## カッシュ夫妻

■Notes: 夫、ライゾウ・カッシュ。妻、ミキノ・カッシュ。キョウジ、ドモン兄弟の母親。父、ライゾウ博士は天才的な科学者であり、アルティメットガンダム開発責任者として「自己進化」、「自己増殖」、「自己再生」という自律機構を持つこのガンダムを用いて地球環境の再生を図るプロジェクトを進めていた。それが息子キョウジの出来事により自身は事犯の責任を問われ永久冷凍所に送られ、妻ミキノはこの事件時に被害。カッシュ家は一挙に崩壊することになってしまった。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第6話

## ミカムラ博士

■Notes: 第12回ガンダムファイトにおけるネオジャパンのガンダムファイト用モビルファイター開発責任者。ライジングガンダムからゴッドガンダムに至る3体のモビルファイターを設計、開発した。カッシュ博士の親友でもあり、またレイン・ミカムラの父でもある。モビルファイターとしては無期的な感情エネルギーシステムを理論化し、実用化した人物。親同士の友誼もあり、なにかとドモンに便宜を図ってくれるように見えるが…

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第6話



キョウジ・カッシュ



カッシュ夫妻



ミカムラ博士



MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# THE SHUFFLES

◎機動武闘伝Gガンダム/シャッフル闘争

## サイ・サイシー

■Notes - 第13回ガンダムファイトにおけるネオチャイナのカンダムファイター。少林拳法の使い手で格闘をよくする。幼いときに父母を亡くし、寺で世間から隔離されて育ったため、天真爛漫な性格。ネオチャイナにガンダムファイターをもちらし、荒廃した少林寺を再興することを目的とする。のちにシャッフル闘争「クラブエース」を襲名。デビルガンダム事件でドモンと共闘する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第3話

## ドラゴンガンダム

■Height: 16.4m Weight: 7.4t

■Notes - ガンダムファイト第13回大会用にネオチャイナが開発したモビルファイター。格闘者の身体能力に合わせ格闘能力を主眼に開発されているが、両腕のトラゴングローブや手持ち武器フェイロンフックの搭載で中距離での戦闘にも優れる。少林拳法ベースのトリッキーな動きに合わせ、武装や機体のチューニングも使いやすさよりは開発力重視である。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第3話

## ジョルジュ・ド・サンド

■Notes - ネオフランス代表モビルファイター。地球時代よりの名門貴族サンド家の現当主でもある。騎士道精神を重んじ、プライドの高い性格。フェンシングの名手でもある。名門であるために国家元首との関係も強く、若い自負心とともに第13回大会出場にあたっては強い責任も感じている。のちにシャッフル闘争「シャック・イン・ダイヤ」を襲名。デビルガンダム事件でドモンと共闘する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第4話

## ガンダムローズ

■Height: 16.2m/Weight: 7.2t

■Notes - ガンダムファイト第13回大会用にネオフランスが開発したモビルファイター。フェンシングの名手である格闘者に合わせ手持ち武器として「シュバリエサーベル」を装備。牽制用のサブポート兵器としてリモートコントロール・ビーム砲「ローセスビット」を多数搭載する。非常に汎用性が高いが、主武器が剣であるために座席に近づかれた場合は若干分が悪い。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第4話

ドラゴンガンダム

ジョルジュ・ド・サンド

ガンダムローズ



## アルゴ・ガルスキー

■Notes: ネオロシア代表のガンダムファイターだが、元来は宇宙海賊であり、部下をネオロシア当局に囚われ、本人の意志とは無関係に戦うことを強制されている。その逸話もある、性格は寡黙、のちにシャッフル同盟「ブラック・ジョーカー」を結成、トモンらと共闘した  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第5話

## ボルトガンダム

■Height: 17.3m Weight: 8.9t  
■Notes: カンダムファイト第13回大会用にネオロシアが発見した単機型モビルファイター。見た目通り機動性よりはパワー重視で作られた機体であり、非常にエンジン出力が高い。主武器は腕に取り付けられた巨大な鉄球をビームチェーンにつないで振り回す新快な「グラビトンハンマー」。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第5話

## チボデー・クロケット

■Notes: ストリートファイター上りのネオアメリカ代表ガンダムファイター。そのボクシングセンスを生かして真流軍から盗み上げた経歴を持つ。強たのアメリカンドリーム。自衛隊で素人だが、強い愛国心も持つ。のちにシャッフル同盟「クイン・ザ・スベード」を結成、トモンらと共闘する。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第2話

## ガンダムマックスター

■Height: 10.3m Weight: 7.3t  
■Notes: ネオアメリカがガンダムファイト第13回大会用に開発したモビルファイター。実用にヒューム兵器も組み込んでいるが、近接での打撃戦をメインに作られた機体。重装甲と高機動を両立した基本設計とバグダによる打撃を生かすために考案された「ボクサーモート」が最大の特徴。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第2話

## シャッフル同盟MF

■Notes: シャッフル・クラブ、シャッフル・ジョーカー、シャッフル・ダイヤ、シャッフル・スベード、黒の武闘家集団「シャッフル同盟」の結成モビルファイターたち  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第14話

## シャッフル同盟

■Notes: はるか過去より人類の歴史を見守ってきたという伝説の武闘家集団。代々「ブラック・ジョーカー」、「キング・オブ・ハート」、「クイン・ザ・スベード」、「シャッ・クイン・ダイヤ」、「クラブ・エース」の5名から成り、その名は継承されていく。  
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第3話

チボデー・クロケット

シャッフル同盟MF

シャッフル同盟

## SUPPORTING CAST

◎機動武闘伝Gガンダム/サポーター

## チボデーギャルス

■Notes ネオアメリカ代表チームサポートクルー。別にチボデーのおっかけではない。リーダー級のシャーリー、メカニック担当のジャネット、医務担当のキャス、雑務担当のバーニーの4名。チボデーのボクサー時代からの仲間で構成されたチームである。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第2話

## アレンビー・ピアズリー

■Notes ネオスウェーデン代表ガンダムファイター。ガンダムファイターのために特別に育成された一種の「人工ファイター」。マーシャルアーツを使う。ドモン・カッシュとの戦いを通して人間的な成長を遂げていく。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第30話

## ノーベルガンダム

■Height 16.2m/Weight 7.0t

■Notes ネオスウェーデンが第13回大会用に開発したモビルファイター。人間の潜在的な戦争本能を強制的に引き出し、それに応じて機体ポテンシャルを解放する「バーサーカー・モード」搭載。主武器は拳銃の兵器。ビームリボン。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第30話

## カマト委員長

■Notes ネオジャパンガンダムファイト実行委員会委員長。第13回大会におけるネオジャパン代表チームの最高責任者。ファイトの準備、大会運営中のチームサポートなどを統括する。歴代このポストは政府高官が務め、大会成績がその後のキャリアに直結する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第6話

## 恵雲、瑞山

■Notes ネオチャイナ代表チーム。サポートクルー。ファイターであるサイ・サイシー同様少林寺本山から派遣された高僧。寺院再興を目指す少林寺が金山的にサポートしていることがわかる。佛法の達人でもあり、若いサイ・サイシーに対する大会中の目付け役を兼ねる。

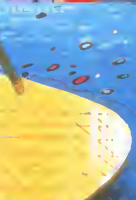
First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第3話



カマト委員長

恵雲、瑞山



## ガンダムシュビーゲル

- Height 15.3m/Weight 7.3t
- Notes : ネオドイツが第13回大会向けに開発したモビルファイター。変わり者や身分の術といった「忍術」を使う搭乗者の能力に合わせて、機動性や意外性のある装備に重点が置かれている。主武器は両腕のシュビーゲルブレード。
- First Appearance : 『機動武闘伝Gガンダム』第16話

## シュバルツ・ブルーダー

- Notes : ネオドイツ代表ガンダムファイター「ゲルマン武忍術」と呼ばれる日本古来の忍術から派生したとされる体術を使い、常に護衛を雇用している謎めいたファイター。事あるごとにドモンを助け、誘っていく。ドモンの元キョウジだとも言われるが……。
- First Appearance : 『機動武闘伝Gガンダム』第16話

## バトラ・ベンスンマム

- Height 14.5m/Weight 5.2t
- Notes : ネオフランスの名門貴族、サンド家が作家用に所有していたと思われるモビルスーツ、主としてサンド家の執事レイモンド・ビショップが使用。
- First Appearance : 『機動武闘伝Gガンダム』第20話

## レイモンド・ビショップ

- Notes : ネオフランス代表チーム、サポートクルー……というよりサンド家の代表ファイター、ジョルジュ・ド・サンドの個人的な随行者。サンド家の執事であり、幼少時から彼を教育してきた姉でもある。名家の執事らしく、必要な事はなんでもこなす有能な人物。
- First Appearance : 『機動武闘伝Gガンダム』第4話

## ナスターシャ・ザビコフ

- Notes : ネオロシア代表チーム、サポートクルー統括責任者。代表ファイターであるアルゴが囚人であるという特殊事情から軍から直接派遣された監視役を兼ねる。優秀な軍人であり、戦術的な分析能力に長ける。その反面人間的には冷酷で冷淡に見える女性。
- First Appearance : 『機動武闘伝Gガンダム』第5話

## ブッシ

- Notes : ロボット兵器の通称はガンダムファイト用開発された「ガンダム」のコードネームを与えられた機体が「モビルファイター」。それ以外の作家用、軍用に重務、運用されている機体は「モビルスーツ」と呼ばれる。この機体はネオジャパンのMS「ブッシ」。

MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# THE DEVIL

機動武闘伝Gガンダム/悪魔の使徒

## 天剣絶刀 ガンダムヘフンスソード

■機体 2.3m Weight 8.3t

■特徴 デビルガンダムの自己増殖機能が発達した結果、その細胞が生体や機械にとりつき、その意志や能力、外形すら変形させてしまう。この機体は「ネロスカンダム」が変形したもの。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第32話

## デビルガンダム

■機体 2.3m Weight 8.3t  
■特徴 アルティメットカンダムはキョウシ・カッシュによって強奪されたのち、大気圏に突入。その際、機体約100%を失った。以後「デビルガンダム」の通称で呼ばれる。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第6話

## 獅王争覇 グランドガンダム

■機体 2.4m Weight 8.4t

■特徴 モビルファイター「シオンフルカンダム」にデビルガンダム細胞がとりつき変形させたもの。獣のような異様な姿の機体。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第39話

## 笑傲江湖 ウォルターガンダム

■機体 2.3m Weight 8.3t

■特徴 モビルファイター「ノーヘルガンダム」にデビルガンダム細胞がとりつき変形させたもの。水中戦に優れた性能を発揮する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第42話

## ウルベ少佐

■機体 第12回大会ネオシャバン代表カンダムファイター 第13回大会はその経験を活かし、ガンダムファイト実行委員として、機体開発のスーパードバイザーをおこなう。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第6話

## ウォン・ユンファ

■機体 第12回大会優勝国ネオシンコン首相。第13回大会では総実行委員長を務める。デビルガンダム事件を利用してなにがしかを演じていた形跡があり、事件に巻き込まれる形で死亡。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第26話



マスターガンダム



## 風雲再起

■**Unit**：『モビルホース』と呼ばれるマスターガンダムのサポートメカ。ホース形態でマスターガンダムを牽引して移動する他、ロケットキャリア形態へも変形する。

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第14話

## マスターガンダム

■**Height**：16.7m ■**Weight**：7.7t

■**Unit**：モビルファイター「クーロンガンダム」にデビルガンダム細胞がとりつき変形した姿。デビルガンダムの手足となって動くガンダムファイターを生体ユニットとする4機、俗称「デビルガンダム四天王」のリーダー的存在。他の「ガンダム」の場合、パイロットは完全に生体ユニットだったが、この機体のみ東方不敗が自由意志を捨てていたとされる。

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第13話

## デスアーミー

■**Unit**：デビルガンダム細胞の増殖により生み出された無人戦闘機械。人間を生体ユニットとして取り込むことでデビルガンダムの命を受けつ

つ自律的に行動する

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第21話

## グランド・マスターガンダム

■**Unit**：ネオシャハンコロニーを侵襲したデビルガンダムがコロニー侵入者排斥のために形成した機体。デビルガンダム四天王と呼ばれる機体を組み合わせたような形状をしているが、合体したわけではなく、すべての機能を含め持たせたためこの形状になったと思われる。

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第48話

## マスター・アジア

■**Unit**：ガンダムファイト第12回大会優勝者にして第13回大会ネオホンコン代表ガンダムファイター。流石東方不敗創始者でドモンの創りでもある「キング・オブ・ハート」の称号も持っていた。人類としては極限的な戦闘能力を持ち、自他ともに認める最強のファイターだったが、デビルガンダム事件では人類の敵に

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第12話

## クーロンガンダム

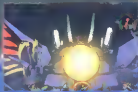
■**Height**：17m ■**Weight**：7.7t

■**Unit**：ガンダムファイト第12回大会優勝者モビルファイターにして第13回大会ネオホンコン代表モビルファイター。特に12回戦とは驚異的な不敗を誇り、その事実自体がネオホンコンの栄誉を誇っていると思われたのだが、逸材者の体術を活かすため狡猾な操作性を誇る

First Appearance：機動武闘伝Gガンダム 第12話



デスアーミー



グランド・マスターガンダム



マスターアジア

クーロンガンダム



MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# GUNDAMS

◎機動武闘伝Gガンダム/ガンダムたち

## ネロスガンダム

■Height: 16.2m/Weight: 7.0t

■Notes: ネオイタリヤ開発の第13回大会用モビルファイター。脚部にビーム兵器を持つ。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第1話

## ミケロ・チャリオット

■Notes: 第13回大会ネオイタリヤ代表ガンダムファイター。ギャングのボスであり、そのストリートファイトの実力からファイター。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第1話

## フランク・ガストロ

■Notes: 第13回大会ネオキューバ代表ガンダムファイター。ガンダムローズと予選を戦うが乱入したシャイニングガンダムに敗退。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第4話

## アラクノガンダム

■Height: 16.9m/Weight: 8.1t

■Notes: ネオキューバ開発の第13回大会用モビルファイター。胸部タランチュラクローが特徴。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第4話

## ジョンプルガンダム

■Height: 16.4m/Weight: 7.3t

■Notes: ネオイングランド開発の第13回大会用モビルファイター。ロングビームライフルを装備し、13回大会では珍しい遠距離攻撃をメインとした機体。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第9話

## ジェントル・チャップマン

■Notes: かつて大会三連覇を果たしたネオイングランドの名ファイター。13回大会も代表に名を連ねるが、じつは病を患っている。このためデビルガンダムと戦って敗れ、悲劇的な最期を迎えることになってしまう。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム

第9話



ミケロ・チャリオット

ネロスガンダム



チャップマンとその妻マノン



フランク・ガストロ

アラクノガンダム



ミナレットガンダム



ランバーガンダム

## テムジンガンダム

■Height: 15.6m/Weight: 7.9t  
 ■Notes: ネオモンゴル開発の第13回大会用モビルファイター。バランスに重れるが特徴もなし。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第18話

## ミナレットガンダム

■Height: 15.9m/Weight: 8.0t  
 ■Notes: ネオトルコ開発の第13回大会用モビルファイター。巨大な肩刀を武器とする。搭乗者が生きたままデビルガンダム機体に犯された最初のモビルファイター  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第11話

## セイト・ギュゼール

■Notes: ネオトルコの第13回大会代表ガンダムファイター。レインのかつての恋人。デビルガンダム機体に犯され、ミナレットガンダムでイスタンブール脱走を遂げる。本人の意思と無関係に犯罪者として死亡  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第11話

## ランバーガンダム

■Height: 7.0m/Weight: 8.5t  
 ■Notes: ネオカナダ開発の第13回大会用モビルファイター。両腕に装備した巨大な斧を主武器とする。搭乗者の能力に合わせた機動性よりパワー重視の設計である。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第8話

## アンドリュー・グラハム

■Notes: ネオカナダの第13回大会代表ガンダムファイター。元宇宙警備刑事。アルゴの宇宙海賊船との衝突事故で足を失った過去を持つ。大会参加理由も仇であるアルゴへの復讐である。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第8話

## テキーラガンダム

■Height: 16.5m/Weight: 7.7t  
 ■Notes: ネオメキシコ開発の第13回大会用モビルファイター。水中戦を得意とする特殊機体の多い機体。主武器は三つ又の槍。ビームトライデント。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第7話

## チコ・ロドリゲス

■Notes: 病に冒された妹のためにガンダムファイトを棄権しようとしたネオメキシコの第13回大会代表ファイター。ドモンに負け正式にリタイア。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第7話

チコ・ロドリゲスと妹シーナ

MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# GUNDAMS

○機動武闘伝Gガンダム/ガンダムたち

## ネーデルガンダム

■Height 17.5m Weight 8.4t  
 ■Notes ネオオランダ開発の第13回大会用モビルファイター。風車小屋に変形するという変わった機能を持った機体。空中移動も可能  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第26話

## ファラオガンダムⅫ世

■Height 19.6m Weight 4.8t  
 ■Notes ネオエジプト開発の第13回大会用モビルファイター。デビルガンダム細胞に置かれ暴走したファラオガンダム。Ⅻ世によってファイト補強前に破壊されたため詳細不明  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第10話

## ファラオガンダムⅣ世

■Height 19.6m Weight 3.8t  
 ■Notes ネオエジプト開発の第3回大会優勝モビルファイターの後継機。第4回大会決勝で敗北。デビルガンダム細胞に置かれて復活する。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第10話

## ダハール・ムハンマド

■Height 19.6m Weight 3.8t  
 ■Notes 第3回大会優勝カンタムファイター。4回大会で死亡後、ミイラとして埋葬されていたものがデビルガンダム細胞により共に埋葬されていたファラオガンダムⅣ世と復活した  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第10話

## コブラガンダム

■Height 18.8m Weight 12.1t  
 ■Notes ネオインド開発の第13回大会用モビルファイター。分離攻撃など特殊な機体が特徴された機体  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第27話

## チャンドラ・シジーマ

■Height 19.6m Weight 4.8t  
 ■Notes ネオインド第13回大会代表ガンダムファイター。勝つためには手段を選ばず、ファイト外で裏を仕掛ける冷徹なファイター。ヘビ使いでもある。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第27話

ファラオガンダムⅫ世

ネーデルガンダム

ダハール・ムハンマド

ファラオガンダムⅣ世

ガンダムマグネット

コブラガンダム

チャンドラ・シジーマ



パイキングガンダム

エリック・ザ・バイキング

ミラーージュガンダム

マタドールガンダム

ゼウスガンダム

## ガンダムマクナート

■身長 14.2m Weight 7.3t  
 ■機体 ネオポラント開発の第13回大会用モビルファイター。ガンダムファイト後遺症で作られたため目だった長所が無い  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第20話

## バイキングガンダム

■身長 14.9m Weight 8.1t  
 ■機体 ネオノルウェー開発の第13回大会用モビルファイター。水上移動用増設パーツ「オセベルク」と合体することで水上移動速度が増える  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## エリック・ザ・バイキング

■Notes ネオノルウェーの第13回大会代表ガンダムファイター。その名の通りかつて北海を荒らした海賊「バイキング」の末裔を名乗る。外見通り力押し型の攻撃が好き、機体もパワーバトルにて真価を発揮  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## マーキロット・クロノス

■身長 14.5m Weight 7.3t  
 ■機体 ネオギリシャの第13回大会代表ガンダムファイター。身長4mもの超巨漢。ガンダムファイターとしての実力を優勝候補に数えられるほどだが、うぬぼれが強く、それ故にトモンに敗れる  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第26話

## ゼウスガンダム

■身長 14.5m Weight 7.3t  
 ■機体 ネオギリシャ開発の第13回大会用モビルファイター。サブポートメカの「チャリオット」と主武器の「敵者のイカサナ」を授けた一撃離脱戦法が得意である  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第20話

## マタドールガンダム

■身長 13.5m Weight 6.1t  
 ■機体 ネオスペイン開発の第13回大会用モビルファイター。巨大な牛の機体に変形、突進攻撃するという非常に妙な能力を持つ  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第29話

## ミラーージュガンダム

■身長 14.1m Weight 7.1t  
 ■機体 ネオフランス開発の第13回大会国内予選用モビルファイター。ガンダムファイト用には珍しくミサイルが主武器  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第20話

MOBILE FIGHTER G GUNDAM

# GUNDAMS

機動武闘伝Gガンダム/ガンダムたち

## マンダラガンダム

■Height: 17.3m/Weight: 7.4t

■Notes: ネオネパール開発の第13回大会用モビルファイター。釣金型の異様な移動形態に变形。主武器は仕込み鐺杖。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## キラル・メキレル

■Notes: ネオネパール開発の第13回大会代表ガンダムファイター。本職は職業賭博者であり、大会でも試合前に対戦相手を陥辱することで不戦勝を狙う。勝負術の達人。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## タントラガンダム

■Height: 16.3m/Weight: 7.3t

■Notes: ネオネパール開発の第11回大会用モビルファイター。キラルが感嘆し優勝候補と呼ばれたがその時の決勝で彼は失格する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## マンモスガンダム

■Notes: ネオシベリア開発の第11回大会用モビルファイター。キラルの驚愕するタントラガンダムの対戦相手。ビームクローによりまっ二つにされる。詳細不明。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第28話

## コンダ・ンドゥール

■Notes: ネオケニア開発の第13回大会代表ガンダムファイター。視覚、聴覚などの五感と運動能力に優れ。その動きで相手を混乱する。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第27話

## ゼブラガンダム

■Height: 16.9m/Weight: 7.8t

■Notes: ネオケニア開発の第13回大会用モビルファイター。高い機動性を誇る機体。主武器は槍で、これを利用した奇抜な戦法を得意とする。

First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第27話





## スカルガンダム

■Height 11.4m/Weight 7.3t  
 ■Notes ネオマレーシア開発の第13回大会用モビルファイター。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第34話

## ジェスターガンダム

■Height 16.2m/Weight 7.8t  
 ■Notes ネオボルトガル開発の第13回大会用モビルファイター。特殊な柔軟性を持った構造を持ち、相手の技や形状をコピーする。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第31話

## ロマニオ・モニーニ

■Notes ネオボルトガルの第13回大会代表ガンダムファイター。サーカスのピエロ。優れた身体能力を持つが、それ以上に戦術的な思考能力に優れ、作戦で相手を出し抜こうとする。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第31話

## セシル

■Notes ネオデンマークのガンダムファイター。ハンス・ホルガーの妹。ネオホンコンの街で偶然出会ったサイ・サイシーに一目惚れされ、兄の試合にちょっとした混乱を呼ぶ。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第29話

## ハンス・ホルガー

■Notes ネオデンマークの第13回大会代表ガンダムファイター。フェアプレイを信奉とする好青年でセシルの兄。水泳選手であり、水中戦を得意とする。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第29話

## マーメイドガンダム

■Height 16.5m/Weight 7.6t  
 ■Notes ネオデンマーク開発の第13回大会用モビルファイター。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第29話

## アシュラガンダム

■Height 16.4m/Weight 7.3t  
 ■Notes ネオシンガポール開発の第13回大会用モビルファイター。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第34話

## ラセツ、ガラ

■Notes ネオシンガポール代表がラセツ、ネオマレーシア代表がガラ。ウォンの画面上によりドモン/アレンビー編とタッグマッチを戦った両者ともケレン隊のある戦法が優秀。  
 First Appearance: 機動武闘伝Gガンダム 第34話



## MOBILE SUIT G GUNDAM

[illegible]

hi /  
naka



「ア・ハートでやった」——と叫ぶ。その瞬間、

**PROFESSOR**

**THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS**

[illegible][illegible]

トモン管理区(18番~24番)

1000



「てくおん」の「てく」は「てくおん」の「てく」

1. **1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.101.102.103.104.105.106.107.108.109.110.111.112.113.114.115.116.117.118.119.120.121.122.123.124.125.126.127.128.129.130.131.132.133.134.135.136.137.138.139.140.141.142.143.144.145.146.147.148.149.150.151.152.153.154.155.156.157.158.159.160.161.162.163.164.165.166.167.168.169.170.171.172.173.174.175.176.177.178.179.180.181.182.183.184.185.186.187.188.189.190.191.192.193.194.195.196.197.198.199.200.201.202.203.204.205.206.207.208.209.210.211.212.213.214.215.216.217.218.219.220.221.222.223.224.225.226.227.228.229.230.231.232.233.234.235.236.237.238.239.240.241.242.243.244.245.246.247.248.249.250.251.252.253.254.255.256.257.258.259.260.261.262.263.264.265.266.267.268.269.270.271.272.273.274.275.276.277.278.279.280.281.282.283.284.285.286.287.288.289.290.291.292.293.294.295.296.297.298.299.300.301.302.303.304.305.306.307.308.309.310.311.312.313.314.315.316.317.318.319.320.321.322.323.324.325.326.327.328.329.330.331.332.333.334.335.336.337.338.339.340.341.342.343.344.345.346.347.348.349.350.351.352.353.354.355.356.357.358.359.360.361.362.363.364.365.366.367.368.369.370.371.372.373.374.375.376.377.378.379.380.381.382.383.384.385.386.387.388.389.390.391.392.393.394.395.396.397.398.399.400.401.402.403.404.405.406.407.408.409.410.411.412.413.414.415.416.417.418.419.420.421.422.423.424.425.426.427.428.429.430.431.432.433.434.435.436.437.438.439.440.441.442.443.444.445.446.447.448.449.450.451.452.453.454.455.456.457.458.459.460.461.462.463.464.465.466.467.468.469.470.471.472.473.474.475.476.477.478.479.480.481.482.483.484.485.486.487.488.489.490.491.492.493.494.495.496.497.498.499.500.501.502.503.504.505.506.507.508.509.510.511.512.513.514.515.516.517.518.519.520.521.522.523.524.525.526.527.528.529.530.531.532.533.534.535.536.537.538.539.540.541.542.543.544.545.546.547.548.549.550.551.552.553.554.555.556.557.558.559.560.561.562.563.564.565.566.567.568.569.570.571.572.573.574.575.576.577.578.579.580.581.582.583.584.585.586.587.588.589.590.591.592.593.594.595.596.597.598.599.600.601.602.603.604.605.606.607.608.609.610.611.612.613.614.615.616.617.618.619.620.621.622.623.624.625.626.627.628.629.630.631.632.633.634.635.636.637.638.639.640.641.642.643.644.645.646.647.648.649.650.651.652.653.654.655.656.657.658.659.660.661.662.663.664.665.666.667.668.669.670.671.672.673.674.675.676.677.678.679.680.681.682.683.684.685.686.687.688.689.690.691.692.693.694.695.696.697.698.699.700.701.702.703.704.705.706.707.708.709.710.711.712.713.714.715.716.717.718.719.720.721.722.723.724.725.726.727.728.729.730.731.732.733.734.735.736.737.738.739.740.741.742.743.744.745.746.747.748.749.750.751.752.753.754.755.756.757.758.759.760.761.762.763.764.765.766.767.768.769.770.771.772.773.774.775.776.777.778.779.780.781.782.783.784.785.786.787.788.789.790.791.792.793.794.795.796.797.798.799.800.801.802.803.804.805.806.807.808.809.810.811.812.813.814.815.816.817.818.819.820.821.822.823.824.825.826.827.828.829.830.831.832.833.834.835.836.837.838.839.840.841.842.843.844.845.846.847.848.849.850.851.852.853.854.855.856.857.858.859.860.861.862.863.864.865.866.867.868.869.870.871.872.873.874.875.876.877.878.879.880.881.882.883.884.885.886.887.888.889.890.891.892.893.894.895.896.897.898.899.900.901.902.903.904.905.906.907.908.909.910.911.912.913.914.915.916.917.918.919.920.921.922.923.924.925.926.927.928.929.930.931.932.933.934.935.936.937.938.939.940.941.942.943.944.945.946.947.948.949.950.951.952.953.954.955.956.957.958.959.960.961.962.963.964.965.966.967.968.969.970.971.972.973.974.975.976.977.978.979.980.981.982.983.984.985.986.987.988.989.990.991.992.993.994.995.996.997.998.999.1000.1001.1002.1003.1004.1005.1006.1007.1008.1009.1010.1011.1012.1013.1014.1015.1016.1017.1018.1019.1020.1021.1022.1023.1024.1025.1026.1027.1028.1029.1030.1031.1032.1033.1034.1035.1036.1037.1038.103**

**「おれは、おれが」**



...  
...  
...  
...

**EL COMITÉ**



かつての幸せ夫婦だったアントリ  
ュー・グラハムは、空軍基地アルコ  
のため墓を失う(18話)



精神強化剤の副作用で、体を暴れていたチャップマンは、ファイトのあと、夢の国の中で身割る（19頁）



第4回大会でネオエレクトを制したサイ・サイシーの祖父と、フェロ・ロ・ザン・ザン(40歳)。



・インのかつての恋人セイト(OG 顔面に似ていた(11話))



とすかは鈴匠と弟子 雲のあつ



ドモン不在の間、シャイニングダ  
ン様と密会するため、フーイは、バ



本性を現したマスターは、ライ





トモンは10年前の休業時代の重  
しい脚注を思い出していた(15  
歳)



突如襲われ、ドモンを危機を救った黒面ファイター。シュバルツ・ブルダー(16巻)



シェハルツに叱咤され、闘じた刀  
で樹を切る心意を固める(17話)



ドモンは再稼働のため、かつての  
稼働の地、ギアナ高地へ向う(18  
回)



アルゴとの戦いは、サイ・サイシー  
にある洞に成婚を促した(18巻)



ジュールジュへの復讐のため、DG 総  
統に命を任せたミラボー（20歳）



修業に行き加まるトモンへ、明城止水の戦地を教え、石シュバリンガンダムシュビーゲル(21巻)

## EPISODE CHECK

[illegible]

この世界では金が不流通、食料に、貨幣がドロンを要するという。それは完全に金と  
して使われており、ドロンを要定であった貨幣が流通しているから、わざわざドロンを要  
するわけではあるが、それが「土・金・バグ・ブー」である。

「自分一人で（何となくの）研究」を続け、研究の成果を発表。博士（Ph.D.）  
ムに推薦されたジョナサンは、研究を続けることもその約束で奨励され、実際に博士  
を修了したと、彼のファイターとしての能力が認められエリート階級へ。だが彼の  
研究はとことんとメスフィアスである。特に、研究で、自分自身より劣るすべての  
存在（生物）を殺すこと。つまり、メスフィアスである。

そして無敵は第一の目標へ突入する。その途中、突如として、完結のシグナルが鳴る。止むの一瞬を食らわれ、そして再びスタート。第一の目標、無敵シグナル(ゴッドシグナル)の出現を待たせると、その瞬間、無敵シグナルが出現することになる。

「でも、1人1人、みんな、  
あるから、この世界は、  
の成り立ちの秘密とどけてでも」といふ  
一歩はあきらめて、アキラの心の中  
で静かに、この世界を、アキラの心の中

そして、この本は、読者の想像力と創造性を、この4つの要素に、  
 ーンに効果的に磨かれている。そう、この本は、読者の想像力と創造性を、  
 読者の想像力と創造性を、読者の想像力と創造性を、読者の想像力と創造性を、

全才型・放浪ラウンダー編(25歳~40歳)

ついに前11月20日のムンファイトの戦いから10年たった。この日、アムステルダムに  
 聖職者、市民、兵士、デューク、伯爵、貴族、紳士、僧侶、牧師、そして市民の代表者  
 として数千人のムンファイトの兵士と、ドレンの兵士が戦った。この戦いは、  
 終りである。彼等が戦死したとされた兵士は、そのうち、ムンファイトの兵士といふ  
 戦死した兵士は、そのうち、ムンファイトの兵士といふ戦死した兵士は、そのうち、

とて、ネオゲオシティで「ドセンのファイター」として活躍し、「ドセンのファイター」として、世界中で知られている。また、ドセンのファイターとして、世界中で知られている。また、ドセンのファイターとして、世界中で知られている。

それは、ユニークなデザインの衣装のガンダムを「アムロ」と認識させ、また顔に二重丸の  
おまけ的なバウンディングスリーを見せることで、子供達に一目で判る演出と、物語を面白く  
……全編を通して「アムロ」の個性が、観客にも受け入れられ、結果として「アムロ」は



**MOBILE SUIT G GUNDAM**

[illegible]

「アムステルダムは、オランダの首都で、北緯52度15分、東経4度45分、人口約170万人、面積約795平方キロメートル、面積の約1/10が水で覆われている。オランダは、北緯52度15分、東経4度45分、人口約170万人、面積約795平方キロメートル、面積の約1/10が水で覆われている。」

2014年10月1日

[illegible]

それでは、この「新編 日本書紀」(以下「新編」)の成立について、その成立の経緯を明らかにしよう。

[illegible]

TEL: 0400000000, FAX: 03-3344-3333  
WWW: WWW.TOKAI-POWER.CO.JP, WWW.TOKAI-POWER.COM

決闘バトルロイヤル篇(41話~45話)

ついにランサオ島にパールロイヤルホテルが完成した。このホテルは、ランサオ島の中心部にあり、島の美しい風景を一望できる。また、ホテルには、レストラン、バー、プール、スパなど、様々な施設が揃っており、観光客にとって最高の滞在場所となっている。



トモヲを付けねうゝ幾方不敵は  
デスアーミー軍団でギアナ高地を  
包囲する(28巻)



想いのスーパースターを聞き、朝  
朝北水の境地を聞いたトモン(23  
歳)



弟子であるトモシに印きのめされ、  
情熱とするマスターアジア(24  
話)



ネオオランダのネーデルガンダム  
の必殺技 ネーデルダイブ  
(28話)



はひびきな恋心を抱いた娘の兄が愛するマーメイドガンダムと戦う つらいサイ・サイナー(29巻)



ネオ香港警察フョブ・ユンアは、  
ガンダムファイトに果して野望を企  
てる(27話)



第11回大会で、マンモスガンダム  
を切断する。キラル・メキレルのタ  
ンクガンダム(29話)

## EPISODE CHECK



命を落とすと言われる。少林寺羅漢  
羅漢羅漢星胡神剣を発明するサイ  
サイサイ（37回）



本報記者採訪時，大智的律師劉明忠表示，目前大智尚未收到任何通知，且大智與劉明忠均不願就此事發表評論。

マとして奮然と立ち。

「デビルガンダム」の主人公シャッフル同様という傑作エピソードを描き、仲間たちの支  
援のもと、ドムに東方不敗の力を取り戻す。と、ここでいよいよ《第3》の今川監督は出  
演していく。同じように劇終るガンダムの結末、これ以上シャッフル同様に描き  
がせられ、デボラ一名は自分のデビルガンダムに乗り込んでいる。まさに「人が死ん  
だ」といふことであり、人々もまた「死んだ」といふことになっているのだ。

[illegible]

彼が不況の脅威から、国産品を輸入して海外市場で仕入れたい。そこで、日本企業に  
 10%の優待をしようとした。だが、その優待は、日本企業にのみ適用される。日本企業  
 と国産品、輸入品と思っているのに、日本企業にのみ適用される。日本企業にのみ  
 10%の優待を、日本企業にのみ適用する。日本企業にのみ適用する。

[illegible]

そして、前ページでも見つけたデモンが、この巻にもあった。東京平野がなほは  
かる。山と山と交えた時、ふたたび雲に覆われ、見えることができなかった。ここでの雲は  
はたしの雲を思わせるような行でなかったといふ。その中でデモンは、雲をためらひい  
がれ、山を登り、雲を力強く、それは雲に、その雲の力を得る。そして

「闘争」をテーマとする。闘争の場は、父を倒すためのボクシング・ファイト。父親に代わった人物との出会いと対決。本作の目玉は、巧みで華麗な格闘シーンと、格闘シーンの背後に

つぎの父殺害を、そして家族を求め続けたドモンは、最後の最後で家族を捨てていくことになったのだ。それは《道義者》と言うと誇張であるが、そうした情動をもったエピソードであることが窺い得る。事実、第47巻で市川州から父・イノウが復讐した人物、

**MOBILE SUIT G GUNDAM**

モンはレイヴンとよく似た外見で、息子としての愛護にこぼれ出た。驚いてみれば、ドモンの主人公としての成程は、その愛に由来している。

第二部・デビルガンダム決戦編(46話~49話)

「『ラブ・ラブ』って、なんか不平等な感じがして、最終的には多くの観客の反感である。曰く『ラブ・ラブ』って、なんで『ミ』になっちゃった?」「なぜ(ラブ・ラブ)なの?」「あでけるのもいいけど、『ラブ・ラブ』って、いかに不平等だ」といふ人々もいるのだ。

つまり「素直に、無条件にオカルトだけを求める」つまり、作品のテーマには関係なく、  
「オカルト」要素を求めるといふキャラクター、それが「オカルト」のことだ。それが「オカルト」だ。

[illegible]

第45回のにちが電しな

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

宣武、德勝門外大街的學子口口口口。



事をためらうドモンへ「自分もろともデビルガンダムを破壊しろ」と叫ぶシュバルツ・キョウジ(44歳)



東方不敗の安らかな、それでいて  
は生憎の美しい死に様。これが僕の  
弟子への愛だった。(45頁)



人の恐怖を容赦したことで、共に戦  
られて地球に落ちる。ウォルター  
ガンダムに乗ったウォン(48期)



自分の機を憐れたミカムラ博士は、ウルベを盗切り、カッシュ博士の冷凍を解除する(47話)



まさに人機一体! 5人の心とガンダムはひとつに融合し、デビルガンダム攻撃を回避す(48巻)



デビルガンダムコロニーの申請は、生体ユニットとなっていたレイナが居た(48巻)



「これが俺たちの門出だ!」レイ  
を思い出したドモンは機嫌やかに  
床へ落ちてはく(49話)

## CHRONOLOGICAL TABLES

A.C.	
A.C.001	人類の宇宙進出が始まる。
A.C.102	ラグランジュポイントに1コロニー建設。コロニー建設ラッシュが始まる。地球では国家戦争が頻発するようになる。
A.C.133	地球統一連合が成立。連合軍が組織される。
A.C.140	連合の強圧に負け、各コロニーは自治権を放棄。
A.C.147	連合は参加国間の委任を受けて、コロニーへ進駐。この結果、コロニーは完全に地球上の各国の植民地となってしまう。
A.C.165	非暴力非武装主義を主張するビロ・ユイが現場。コロニー側面監視機関の代表に派遣された際は、各コロニーの連帯をすすめる。地上各国との関係改善をすすめていく。
A.C.173	ロームフェラ財団が秘密用MSを開発。
A.C.175	ビロ・ユイ暴走。これによりコロニー側の軍機が漏れる。秘密結社OZが、聯合国内に成立する。
A.C.176	連合軍間の締め付けが厳しくなり、各コロニー側の連帯体などが組織される。
A.C.182	完全平和主義を唱えた旗手、サンクキングダムが連合によって弾圧される。
A.C.195	コロニー居住者の自衛手段として、オペレーションメテオ発動。5機のガンダムが地球へ送られる。これを契機に、連合とコロニー革命軍ホワイトファンクとの全面戦争が起る。
A.C.196	マリ・メイア軍の反乱、鎮圧。



## KEYWORD

**ロームフェラ財団**  
OZをバックアップし、それなりの発言権も持つ財団。代表はデルマイユ侯爵。月で量産されたモデルドールを活用して「オペレーションノヴァ」を実行し、反抗勢力を一掃しようとした。

**OZ**  
連合軍内に作られた秘密結社。表向きは地球軍統一連合の3軍のひとつスベシャルズとして存在したが、幹部トリーズ・クシュリナードの権によるクーデター「オペレーション・ディレイク」で連合の幹部を一掃し、事実上連合軍として機能するようになった。だが後に、トリーズ派とロームプス派に分かれて内戦を起す。

**ホワイトファンク**

## G GUNDAM'S WORLDVIEW

コロニーと地球上の権力のぶつかり合いという部分に焦点を当てて、新たなガンダム像を描こうとした。この物語が正編である「ガンダム」から「逆襲のシャア」までの歴史の流れを、本取扱いで作られているのは有名な話だ。だが、本編の主人公達はコロニー側の出身でありながら、従来の巻き込まれ型主人公ではなく、自らの信じるモノのために戦うという孤高のヒーロー像として造形された。それが人気の秘密でもあるだろう。連合から屈辱を強いられてきたコロニー側がとった対抗手段が、圧倒的な戦闘能力を持った少年によるテロというのは、極めて現代的な設定だ。

人類の宇宙進出により、スペースコロニー社会と地球国家が成立。コロニーはその名の通り植民地として押さえつけられていく。この物語は、その不満を描きながらも、それをあくまで登場人物の動機付けだけにとどめた。この物語の主題はあくまでさまざまな原因で発生する「戦争」そのもののものだ。

## TECHNOLOGY

この世界では、MSの開発技術は170年代に既に頂点を迎えていた。その頂点は、5人の科学者が開発したトールギスと、その直後に開発に着手したウイングゼロである。この2機は後のさまざまなMSのアーキタイプであり、それ故性能も圧倒的に勝っている。特に、ウイングゼロをベースに開発されたガンダム5機は、圧倒的な強さを誇っている。またこの5人の科学者はOZに捕らわれた際に、プラネイトデフェンサーという新発想による防御技術も開発している。

一方、OZのツババロア技師長は無人機の集団をパイロット一人の意志でコントロールするモデルドールシステムを完成させている。

また、コロニーは従来のシリーズと一線を画し、ドーナツのリング状をしている島一号タイプを採用している。各コロニーはL1、L2……と呼称されており、ラグランジュポイントに設置された順番にナンバーがつけられたと推察される。

コロニー市民の過激派によって組織された。世界国家との全面戦争を目指すことになる。

**サンクキングダム**  
完全平和主義を唱えた小国。ピースクラフト王家が統治しており、セグス・マールキスとリリーナ・ドリアンは、ともにピースクラフト家の道義者であった。

**完全平和主義**  
ピースクラフト家が唱えた主義。リリーナがサンクキングダムを再建した時にこれを国是として掲げた。

**世界国家**  
トリーズを失脚させた後、デルマイユ侯はリリーナを世界国家の代表に擁立て、貴族支配の社会を目指そうとするが、その試みは失敗する。やがてデル

## ガンダムW 相関図

AC195

コロニー

オペレーション・メテオ

ガンダムパイロット

デュオ・マックスウェル  
トロワ・バートン  
カトル・ラバーバ・ウィナー  
張 五飛  
ヒイロ・ユイ

戦争

ゼクス・マーキス  
(ミリアルド・ピースクラフト)

参加

ホワイト・ファンク

地誌

出会う

兄弟

上司部下

戦闘

戦争

リリーナ・ピースクラフト

トレース・クシュリナーダ

元質に

追放

代表に

サンク・キングダム

攻撃

OZ  
(地球圏統一連合)

破壊

世界国家

AC196

マリー  
メシア軍

戦闘

ガンダム  
パイロット

支援

戦争

地球圏  
統一国家

マイクはホワイトファンクにより暗殺。リリーナはその地位を去り、トレースがその地位について、ホワイトファンクとの最終決戦を実行する

## ゼロシステム

戦局の予想を可能にし、パイロットにその未来像を幻視させるシステム。トルネオスはその高性能のあまり普通の人間には扱えない機体であったことから、パイロットの能力を拡大する目的で開発された。この機能に取り込まれてしまうと、パイロットは自らを失ってしまう場合もある。そのため開発した5人の科学者はこれを搭載したWV0を開発途中で封印したのだが、カトルがそれを完成させた。

## MS

OZのMSはいずれも、貴族上の星座にちなんだ名前を持っている。なお、ガ

ンダムとメルクリス、ヴァイエイト、ビルゴはガンダニウム合金で作られている。

## モビルドール

無人で外部からコントロールされるMS。これによって、自らの痛みを伴わない大規模な戦争を可能にした。それは、一つの運命の姿であるのかもしれない。

## オペレーションメテオ

ガンダムを隕石に見せかけて地球に落とし、コロニーがOZに対し反抗を開始するというもの。しかし本家は、コロニーを地球へと落とす作戦のことだった。

# WING

◎新機動戦記ガンダムW/真

## ヒヨ・ユイ

■Notes: 軍事政権である地球連邦一連国によって抑圧されるコロニー内の反政府勢力が企図した「ガンダム」と呼ばれるモビルスーツを使った大規模なテロ作戦「オペレーション・メテオ」のためにガンダムシリーズ開発者のひとりDr. JIにより天性のテロリストとして育てられた少年。当初、戦闘と殺人の技だけで叩き込まれた非常な戦闘機械として地球に降下するが、ターゲットのひとりであるドーリアン政務次官の娘、リリーナ・ドーリアンとの出会いをきっかけに徐々にその本来の人間性を顕花させていく。地球に降り立った他の五人のガンダムパイロットとともに、吾政治勢力の覆滅を志すのが目的で地球連邦全域を巻き込む紛争の渦中に追いやり、最終的には地球、コロニー間の全面戦争状態において独自の第三勢力として対峙に介入した。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第1話

## ウィングガンダム<sup>ゼロ</sup>

■Height: 16.7m/Weight: 8.0t

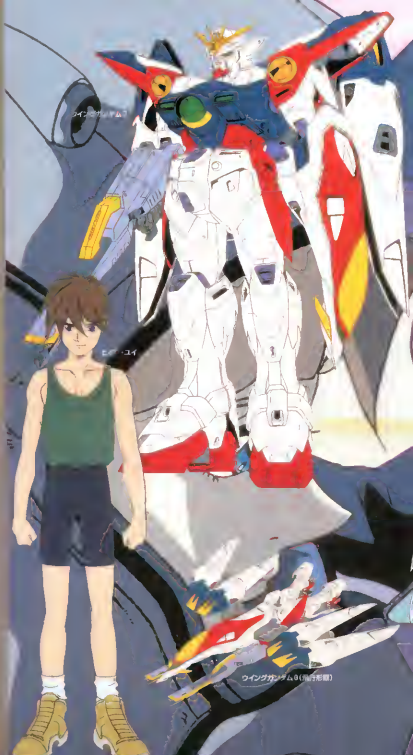
■Notes: すべてのガンダムの設計の母体となったとされる「最初のガンダム」のデータを流用し、カトル・ラババー・ウィナーが実用機として完成させたもの。「ゼロシステム」と呼ばれるパイロットの脳と直接コンタクトする特殊な神経システムを持ち、コンピュータシステムが予測した対敵戦術データをそのまま脳神経に伝達するため、使いこなせるパイロットが極めて無敵の強さを誇る。その反面パイロットのメンタル面への負担が大きく、パイロットの意志を阻いだためデータ自体が封印されていた。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第24話

## ウィングガンダム0 (飛行形態)

■Notes: ウィングガンダム・ゼロの巡航移動形態。その鳥に似た外見から「バード形態」とも呼ばれる。大気圏内での飛行が可能で、この形態への変形により航続距離も増加する。メイン武器のツインバスターライフルは機銃として胴体部両脇にマウントされておりこの形態でも使用。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第24話



ウィングガンダム

ヒヨ・ユイ

ウィングガンダム0(飛行形態)

ウイングガンダム(飛行形態)



ウイングガンダム

## ウイングガンダム (飛行形態)

■Notes: ウイングガンダムの巡航移動形態。その設計のベースとなったゼロ同様、鳥状の機体離巡航形態へと変形する。地球大気圏内での移動が可能で航路距離も長い。メイン武装のバスターライフルは首下部にマウントされ、カギ爪状のランディングギアが展開される。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## ウイングガンダム

■Height: 16.3m/Weight: 7 t

■Notes 「オペレーションメテオ」のためにコロニー内の反政府勢力によりつくられた五体の「ガンダム」の一群。設計開発者はDr.J。その形状、容形機構の存在などから考えて、プロイットタイプガンダム「ゼロ」の設計思想をもっとも忠実に継承していると思われる機体。高い運動性を持ち、飛行による移動が可能な点など地球降下後の運用にも適している。メイン武装は強力な威力を持つバスターライフル。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## ウイングガンダム0

■Height: 16.7m/Weight: 8.0 t

■Notes: 詳細は不明だが、AC195年の紛争末期にウイングガンダム0をカスタマイズした機体。飛行形態への変形機構はなく、そのかわり背中につけられた羽根状の可動バンダーが機体全面に展開して大気圏突入時の保護シールドの役割を果たす。メイン武装のツインバスターライフルやマシンキャノンなどは変わらないが、背中のバンダーの存在で大気圏内での機動性能がアップしているようだ。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』エンドレスワルツ 第1話

## リリーナ・ドーリアン

■Notes: 地球圏統一連合の高官ドーリアン将次官の嫡で、名門の子弟が集まる聖ガブリエル学園に通う女子学生。地球に降下したガンダムパイロット、ヒイロ・ユイと出会ったことから紛争の渦中に巻き込まれ、自分が、かつて完全平和主義を信じて支持を寄せた支配の小国、サンクキングダムの王族の遺児であることを知る。自らの生い立ちを知った彼女は亡き父が信じた「完全平和主義」を突破し、地球圏から戦争を一掃するために立ち上がることを毅然と決意する。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

リリーナ・ドーリアン



ウイングガンダム0



# DEATH

○新機動戦記ガンダムW/死神

## ガンダム ヘル デスサイズH

■Height 16.3m Weight 7.4t

■Notes OZによって大破させられたが、その後遊かに回収されていたガンダムデスサイズが、月面に設置されたモビルスーツ製造工場では人のガンダム開発者によって改修されたものの、アンチレーダーコートを通したアクティブクロウクの採用により行動のステルス性が格段に高まり、防衛性能もアップ。「死神」の異名を持つモビルスーツだけにクロウク展開時の翼を広げた悪魔のような異様なフォルムは戦闘時の心理面への計算も含むデザインと思われる。武器面ではデスサイズ同様バスターシールドとビームサイズだが、ビームサイズのビームジェネレーターが2箇所に加えられ、ツイン・ビームサイズになっている。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第2話

## ガンダムデスサイズ

■Height 16.3m Weight 7.2t

■Notes 「オペレーションメテオ」のために開発された5体のガンダムの一体。アロ用につくられた機体らしく、行動の隠匿性が極めて高い。死神の跡のようなビームサイズをメイン武装にしており、密かに完成された機体と相俟って「悪魔的な」イメージを強くしている。機体性能的には単機での破壊工作をイメージしているため、格闘性能に重点が置かれ、銃火器類は用意されていない。「後ろから忍び寄ってハンザリ」という機体コンセプト上、本来は戦争向けの機体とは言えない。武装としては他にビーム発生機を内蔵したバスターシールド。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第1話

ガンダムデスサイズH







ヒルデ・シュバイカー

ガンダムデスサイズ

デュオ・マックスウェル

ガンダムデスサイズH

## ヒルデ・シュバイカー

■**Height** OZ宇宙軍のプロバガンダに応じて志願兵となった少女。当初は志願兵らしくOZの掲げる理想を素直に信じていたが、ガンダムパイロットのひとり、デュオ・マックスウェルと出会ったことから自分の価値観に疑問を持ち始め、トレースを誘惑したデルマイユ公爵が実権を握りOZが軍事独裁政権を築いたのちは、デュオとともに反政府ゲリラ活動を各コロニーを転々としつつおこなう。戦後はデュオとともに民間でジャック屋として生計を立てているようである。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第23話

## ガンダムデスサイズH

■**Height** 10.3m **Weight** 4t

■**Detail** 詳細は不明だが、コロニー勢力によるガンダム降下作戦実施以降の連年の紛争未明に、デュオ・マックスウェルが搭乗していたとされる機体。ガンダムデスサイズヘルにさらにカスタマイズを施したもので外見上はアクティブクロック、肩アーマーの形状が豊富な特徴である。おそろくはビーム、実弾兵器への防御性能、ジャミングシステムの強化などが施された機体だと推測される。武装的にハスターシールドがなく、ヒームサイズもジェネレーターが一箇所に戻っている。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW: エントレスワルン 第1話

## デュオ・マックスウェル

■**Height** ガンダムデスサイズのパイロットとして地球降下作戦に参加したコロニー出身の傭兵。その立場もあって、ガンダムパイロットの間ではもっともプロフェッショナルな視点を持っており、ある種の理想主義者ではあるが、常にものに「面性」を見て、独断的に「ならないように」自戒している。

面がある。過去になにが憎いものを抱えているらしく、自分に近づくものは死ぬ、と公言し、「死神」を自称する。それ故にか逆に性格的には社交的で、豊熟・性格の極端に異なるガンダムパイロットたちの異質な役割を果たす。また、単なるパイロットではなく潜入工作員的なスキルも持つ。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第1話

# DRAGON

◎新機動戦記ガンダムW/龍

## 張五飛

■Notes: 中華系の一族が開発した古いコロニーの生まれで、代々戦士の家系である自らの一族の血に中国人らしい高いパイロットを持っている。当然、自らも武器巨匠にすくられ、銃火器、モビルスーツの扱いについても突出した技量を有する。その資質を認められて、オペレーションメテオにおけるシェンロンガンダムのパイロットとなる。地球降下以後もそのプライドゆえか他のガンダムパイロットとの馴れ合いを嫌い、単独行動をすることが多い。トレーズ・クシュリナーダとの一戦討ちに負れたことにより、激しくプライドを傷つけられ、以後一貫して敵をライバルとして追う。ガンダムパイロットに選ばれたことを名義とし、自らのガンダムを「ナタク」という中国の神の名で呼ぶ。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## シェンロンガンダム

■Height: 16.4m/Weight: 7.4t

■Notes: オペレーションメテオのために開発された5体のガンダムのうちの一体。高い汎用性を持った機体で、デスサイズ同様、単機での破壊工作を主要目的とするため、格闘戦能力に特に優れる。パイロットである張五飛の技量、性格もあり、兵器というよりは「戦士の肉體」のような性格を持っている。そのため、この機体も基本的には接近戦用であり、左腕のドラッグファンングに内蔵された高熱火炎放射装置置くくらい射撃兵器はもたない。これにしても「力強い」としての使い方がメインである。他の武器としては中国武術の槍をモデルにつくられたビームグレイブ。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## アルトロンガンダム

■Height: 16.4m/Weight: 7.5t

■Notes: 詳細は不明だがOZ/ホワイトファンク紛争の末期に張五飛が搭乘したとされるガンダム。アルトロンガンダムをさらにカスタマイズしたものであるとされ、ドラッグファンングが全面的に改修されているのが目を引く。また、アルトロンガンダムに装備されていたビーム射出兵器ビームキャノンが除去され、これも原状回復している印象を受ける。おそらくは装甲、出力などもポアアップされている。他に武器としてはツインビームトライデントを持つ。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』エンドレスワルツ 第1話





アルトロンガンダム

## アルトロンガンダム

■Height : 16.4m / Weight : 7.5t

■Notes : 大連したシェンロンガンダムを5人のガンダム開発者たちが月面でデスサイズとともに全面改修してつくられた機体。

装甲や出力が強化されている他、弱点であった遠距離兵器の欠点をバクバクに二連装ビームキャノンを開発することで補い、攻撃力強化のためにドラゴンファンクが両腕に装備された。手持ち武器のビームグレイブもビームジェネレーターを強化した上、両腕に装備したツインビームトライデントに換えられ、すまじいまでの攻撃的な機体につくり変えられている。機体名の「アルトロン」とは双頭の龍のことでドラゴンファンクが左右二つになったことからついた名たる。パイロットの通称はシェンロン同様「ナタク」と呼ぶ。

First Appearance : 『新機動戦記ガンダムW』第23話

## サリィ・ポオ

■Notes : もともとは地球連統一連合軍医官であり、麗華は少佐という連合の艦隊医官。任務中にオペレーションメテオで降下したヒイロ・ユイと強五郎という二人のガンダムパイロットに出会ったことからOZのやり方に疑問を感じるようになり、反OZ勢力と結んで反政府ゲリラとして活動することになる。ガンダムパイロットを個人的に知ったことから「力」として尊敬の深い「ガンダム」をOZに渡すことに危機感を感じ、コロニー勢力の代弁者的立場ではなく、次第に第三勢力化したガンダムパイロットたちを側面から支援する。

First Appearance : 『新機動戦記ガンダムW』第3話

サリィ・ポオ

# New Mobile Report GUNDAM W DESERT

◎新機動戦記ガンダムW/砂漠

## カトル・ラバーバ・ウィナー

■Notes 資源衛星を領有し、地球の中東地区には親国とした政治的基盤を持つ門ウィナー家の次期当主。温厚な性格で家中の人望も高い好青年。OZに追われ逃亡中だったガンダム開発者の一人H教授をウィナー家が保護したことから、彼の開発したガンダムサンドロックをパイロットとしての適正を買われて託され、ガンダムパイロットとしてオペレーションメテオに参加することになった。一度は家を出て戦いを逃したが、父の死によってコロニー勢力の台頭を憎むようになり、自家の持つ財力と技術力を用いてウィングガンダムゼロを完成。ゼロシステムに取り込まれ、破壊衝動にとりつかれるが、他のガンダムパイロットたちの協力により正気を取り戻し、紛争終結のために奮と立ち向かおうと決意を固める。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW  
第1話

## ガンダムサンドロック

■Height 18.5m Weight 5t

■Notes オペレーションメテオのためにつくられた五体のガンダムのうちの一台。砂漠でのゲリラ戦をコンセプトにつくられた、機動性を重視した機体。密閉性が高く、悪条件下での運動性にもすぐれている。武装としてはメンテナンスティの高いヒートシールドを二本搭載し、他に無敵誘導式ミサイルを内蔵している。また、その機体特性から無線やセンサーなどの装置が充実しており、単独での行動を旨とする五体の中では例外的に指揮能力が高い。地球重力下で瞬時に接地戦を想定してつくられているため、のちに戦場が宇宙に移ってからはバーニアなどが追加され、宇宙戦用に改良されている。この際に手持ち武装としてビームマシンガンが装備に追加された。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW  
第1話

ガンダムサンドロック

カトル・ラバーバ・ウィナー

マガアナック隊

ラシード・クラマ

カトルの父



ガンダムサンドロック改

## マガアナック隊

**Notes** 地球統一画内で広く使用されているリーオーとは別に、中東勢力が独自に開発した量産型モビルスーツ。ヨーロッパの兵器製造カトルの勢力下に組み入れられることを恐れたのか、開発の経緯に関しては不詳だが、リーオーの設計をベースにしたながらもまったくオリジナルな機体のような、砂漠での機動性にすぐれることから中東各国では広く使用されており、バリエーションも様々な存在する。このマガアナックは中東の名門ウィナー家の保持する私設軍のもので、パイロットごとに機体に様々な改造を施していることが見てとれる。このウィナー家のマガアナック部隊は次期当主であるカトルの乗るガンダムサンドロックを守ってOZとホワイトファングの抗争に参加し、戦績により一躍もてはやされたという伝説を持つ強力な部隊であった。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第1話

## ラシード・クラマ

**Notes** マガアナック部隊長。ウィナー家に仕える私設軍のリーダー。2mを越す身長の大丈夫であり、性格も豪放、カトルに対しては君臣の礼をもって常に尽くす。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第4話

## カトルの父

**Notes** ウィナー家の現当主。中東地方に際たる影響力を持ち、私設軍隊まで持つ名門の当主であるが、平和を愛し、自家の持つ資源をモビルドールの生産という非人間的な目的に使用されることを嫌って、勢力間の絡みに巻き込まれて害死したとされる。これを知った彼の息子カトルが封印されていた最初のガンダム、ウィングガンダムⅡを完成させ、世界の騒動へ赴くことになる。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第21話

## ガンダムサンドロック改

**Height** 16.5m **Weight** 7.5t

**Notes** これも詳細は不明だが、紛争末期にカトル・ラババー・ウィナーをパイロットとして戦線に参加したとされる機体。ガンダムサンドロックをカスタマイズしたもので、機体の特性を活かしながら、より汎用性を追求したものにしているようだ。この機体も武装面に関してはよりシンプルになっており、メイン武器のヒートショルダーだけが専用兵器である。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW: エントレスワルツ 第1話

# PIERROT

◎新機動戦記ガンダムW/進化

## ガンダムヘビーアームズ

■Height: 16.7m/Weight: 7 t

■Notes: オペレーションメテオのために開発された五体のガンダムのうちの一種。他の四体とは性格が異なり、大規模な破壊活動をおこなうために銃火器を満載した重武装機。手持ち武器のビームガトリングガン、内蔵ホーミングミサイル、マイクロミサイル、マシンチェーンなど、多く火薬庫といった面で武装が詰め込まれている。その反面、移動能力や機動性、格闘戦能力には若干の弱點を残すが、ビームサーベル、アーミーナイフなど近距離兵器も搭載しており、これらの面でも標準的なモビルスーツ以上の性能は持っている。この機体も地上専用にかスタマイズされていたため、戦場が宇宙に移ってからはスタマイズされ、パーニアの追加などの宇宙用装備がなされた。この機体持ち武器のビームガトリングガンより破壊力が大きく弾体数の多いダブルビームガトリングガンに劣る。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」

第1話

## トロワ・バートン

■Notes: ガンダムヘビーアームズパイロット。

ヒロ・ユイ同様身元、新顔ともに不詳。「トロワ・バートン」の名はコロニー内の名門「バートン家」の一族に記録があるが、この名自体が偽名であり、実際には別人だといわれる。本物のトロワ・バートンをおしてなりがわったアナーキスト。OZのスパイ網などその正体に関しては謎がある。冒険はサーカスの一団を連れ出して行動しており、移動能力や隠匿性に長閑のあるヘビーアームズをサーカスの器材として雇っていたと思われる。ガンダムパイロット5人の中でももっとも謎の多い人物で、その正体とともにマリメーシア事件での復活劇以外には戦後の足取りもまったくわからない。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」

第1話

ガンダムヘビーアームズ

トロワ・バートン

## ドーリアン外務次官

■Notes: 地球統一政府高官。「絶対平和主義」を掲げた北歐の小国サンクキングダム出身者らしいが、政変で瓦解したこの国の出身者がどうやって政府高官にまで上りつめたが不明。財産家であるようなので、政変前に亡命していた可能性は高い。密かにサンクキングダムの王族ピースミリオンの選り取りを養女として育てており、地球とコロニーとの緊張緩和のために奔走するが、コロニーC1911でOZの暗謀に巻き込まれ惨死。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第1話

## キャスリン・ブルーム

■Notes: トロウ・バートンが身を隠すサーカスのトップスター。身寄りが少ないトロウに対し、肉体的な愛情をもって接しており、駒を自覚する。トロウが軽いに赴くことを快くは思っていないが、窮地に陥った彼を奮々助ける。なぜこのサーカスがトロウの活動を進めるのかは不明だが、サーカス団自体がコロニー勢力となんらかの陰謀を持っているためだと恐われる。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第1話

## ガンダム ヘビーアームズ改

■Height: 16.7m/Weight: 8.2t

■Notes: これも詳細は不明だが、紛争末期にトロウ・バートンが搭乗したとされるモビルスーツ。ガンダムヘビーアームズをカスタマイズした機体で、外見上の大きな相違点は装甲が大幅に減ってスリムになったプロポーションとシールド機能を持たせられたダブルビームガンだ。このことから機動性アップが図られていたことがわかる。他の機体とは違い、両腕はむしろ強化が図られており、両腕にオプション武器用のマウントラッチが増設されている。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」エンドレスワルツ 第1話

## シルビア・ノベンタ

■Notes: 地球統一連合の軍務高司令官ノベンタ元帥の孫娘。元帥は地球圏へのガンダム出現を機に地球、コロニー間の緊張を緩和し、それまでの軍勢力増進を背景にした保身的な政策から、融和政策への転換を図ろうとして、政府内の和平派をよそめた。ニューエドワーズ基地での和平政策推進会議中に、政府の実権を握ろうとする反対勢力OZの機体暴走により、ガンダムの襲撃を受け死亡。のちに孫娘の彼女のもとへ祖父を救ったガンダム「バイロッド」が訪れるが、彼女はその行為を許したという。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」第14話

ガンダムヘビーアームズ改

キャスリン・ブルーム



シルビア・ノベンタ

# FORCE

◎新機動戦記ガンダムW/カ

## セクス・マークス

■Note: OZ上級特尉、のちに二級特尉に昇進。「ライトニングカウツ」(閃光伯爵)の真名を持つOZのモビルスーツパイロットのエース。OZ総帥トーマス・クシュリナーダの親友として、彼の理想に賛同し、地球圏統一運動に対するOZのクーデターに協力する。仮面を顔に開いた顔の正体はサンクキングダム王の王族の通称、ミリアルト・ピースクラフトであるとされ、のちにトーマスと決別してからはその出自を公にし、そのカリスマによってコロニー勢力を結集。ホワイトファンクの代表となった。紛争の終結局面でヒロ・ユイの駆るウィングガンダム0と激しく交戦し、以後の消息は不明。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

第1話

セクス・マークス

## トールギス

■Height: 17.4m/Weight: 8,8t

■Notes: 兵装として開発された初のモビルスーツであり、すべてのモビルスーツの原形。最強の機動兵器を目指してつくられたため、パイロットに過大な負担がかかり、すぐれた技量を持つパイロットでも乗りこなすのに時間がかかる。その存在自体が疑義され、機体自体も未完成のまま放置されていたものをOZが発見。エースパイロット、セクス・マークスの専用機として完成させたもの。主武器は長距離射撃のためのトーパーガンと白兵戦用のヒームサーベル。強大な加速力を生かしたヒット&アウェイが本来の開発コンセプトだろう。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

第1話

## ガンダムエビオン

■Height: 17.4m/Weight: 8.8t

■Note: 「次世代のガンダム」としてOZの手で開発された機体。ヨーロッパ的な異国情趣を色濃く持ったOZが開発した機体だけあり、開発コンセプトは戦術兵器にあるまじき、「騎士道精神」である。そのコンセプト通り、遠距離からの射撃兵器を持たず、主武器はビームソードとヒートロッドで、あくまでモビルスーツ騎士の正面切っ先の格闘戦を志向した機体。これまでつくられたすべてのガンダムのデータが反映されており、操作性や基本性能はさきわめて高い。トーマスの手でヒロ・ユイに託され、どういう経緯かは不明だが、最終的にはホワイトファンクのミリアルト・ピースクラフトの乗機となったとされる。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

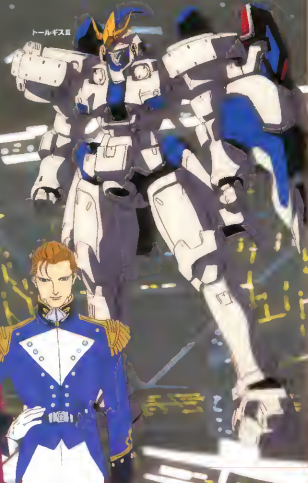
第28話

ガンダムエビオン

トールギス



トールギスⅡ



トールギスⅡ



トールギスⅡ

## トールギス・クシュリナーダ

■Notes: 地球連統一連合傘下の軍政組織、OZを若くして乗取る絶跡。OZは連合三軍の一翼を担いながらも、その背後にはヨーロッパの貴族、王族などからなる巨大な経済組織ロームフェラ財団があり、その意を受けて地球圏での政治的戦略を遂げるため、オペレーションメテオを利用してクーデターを引き起こした。この権握をとったのが当時の総帥であるトールギスである。これによりロームフェラが地球圏での主導的な権力中核となるが、彼自身はのちに財団内での抗争に敗れ、OZの代表を辞任。しかし、ホワイトファング台頭後に世界国家元首として選挙の中核に躍進、ホワイトファングとの全面戦争の指導をとった。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

第1話

## トールギスⅢ

■Height: 17.4m/Weight: 8.2t

■Notes: 紛争終結後に起きた「バートン財団」による武装蜂起事件（俗称「マリーメア事件」）の際に確認された三体目のトールギス。地球へと降下していくマリーメア軍と交戦していたとされる。基本的には同一の機体のようだが、大口砲ビーム兵器（メガキャノン）やヒートロッドを装備するなど、兵装が異なること、顔部、シールドなどの一部の形状が異なるなど、一部相違点も見られる。搭乗者やどのような経緯で製作されたのかは不明だが、一説によれば紛争で消息の絶えたミリアルト・ピースクラブトガパイロットだったとも言われる。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

エンドレスアルツ 第2話

## トールギスⅡ

■Height: 17.4m/Weight: 8.2t

■Notes: 世界国家元首として権力中核に返り咲いたトールギス・クシュリナーダが対ホワイトファング戦に向けて自らの美観指揮のために用意させた二機目のトールギス。一機目は本拠地カラーが異なる他、顔部の形状に若干の差が見られるが、基本的には同一の機体のようだ。武装も同様にドーバーガンとビームサーベル。紛争の最終局面で返五飛の乗るアルトロンガンダムと交戦、破壊され、このとき搭乗するトールギスは戦死している。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW

第45話

# FLOWERS

○新機動戦記ガンダムW/花

## トールス

■Height: 136 cm Weight:

■Notes: OZが開発した量産型宇宙用モビルスーツ。機体に手置型の情報処理システムが組み込まれており、このモビルスーツの開発がのちの無人戦闘マシン「モビルドール」の開発思想のベースとなったと言われる。実際にトールスベースのモビルドールがすぐに「史上初のモビルドール」として公開され、各勢力が積極的に戦力として使用している。じつは飛行形態に変形するトランスシステムも内蔵。主武器は内蔵のビームカノンと手持ち武器としてビームライフル。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW  
第4話

## ドロシー・カタロニア

■Notes: ロームフェラ財団の代表代行であるデルマイユ公爵の甥族にあたり、彼の意を受けて、サンクキングダムの特使者として完全平和主義を説き、正面を復興したリリーナ・ピースクラフトのもとに送り込まれた。リリーナの「完全平和主義」に対抗するように「戦争好き」を公言し、新生サンクキングダム側陣に一度買収が、リリーナによって敵権の中心を巡られたデルマイユを見限り、のちにホワイトファングに身を寄せる。モビルドールのコントローラーとして不世出の才能を持ち、紛争の最終局面ではホワイトファング軍の戦力として多大な戦果を上げている。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW  
第29話

## キャンサー

■Notes: キャンサー（カニ）の名の通り、水中用のモビルスーツ。主武器としては魚雷を装備し、完全に水中での行動に特化した設計になっている。ハサミ型のマニピュレータを装備しており、いちおう白兵戦的な戦い方も可能であるためモビルスーツに分類されているようだが、設計思想自体は水中戦闘ロボットに近い。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW  
第2話

トールス

ドロシー・カタロニア



## バイシース

■Height: 16.0m/Weight: 7.9t

■Notes: 可変式水中用モビルスーツ。こちらはキャンサーとは異なり作業用マニュアルレーダーを持ち、人型に近い形に変形が可能。どちらかというと水中での作業や実験などの目的に使用されるモビルスーツではあるが、戦闘能力はそれほど高くない。水中用作業スーツの進化版といえるだろう。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第2話

## エアリース

■Height: 16.9m/Weight: 8.0t

■Notes: 連合軍内で広く使用されている大気圏内戦闘用のモビルスーツ。航空機的な思想が組み込まれており、主に空中での戦闘に適する。空中では下半身を翼状に収納した高速移動形態をとり、高度で機動しながら安定性を失わずに射撃することが可能。此機としては翼面下のパイロンにとりつくるミサイルポッドと、手持ちのチェーンライフル。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第1話

## ルクレティア・ノイン

■Notes: OZ一級特尉。のちに上級特尉に昇進。戦術指導教官の資格を持ち、OZでは養成所教官としてモビルスーツパイロットの育成につとめる。底流な精神を持った職業軍人であり、行動をとるにリリーナの思想に共感し、彼女を助けサンクキングダム再興に尽力する。その後は王国近衛兵に就けられ、王国軍のパイロットとして活躍。ひそかにミリアルド・セクスに想いを寄せていた彼女は、サンクキングダム崩壊後、ホワイトフワグ代表となったセクスにしたがい全面戦争をホワイトフワグの戦力として戦う。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第4話

## レディ・アン

■Notes: OZ二級特佐。トレースの副官、軍政官としてトレースをサポートする女性士官。トレースに想いを寄せ、彼のために陰謀、謀略、OZ前線部隊の指揮代行までもあらゆる美事をこなさなければならない。彼女については二種の伝聞が残されており、市面非情にOZの武力強化、政権奪取を指揮した陰謀家という評価がある。いっぽう、戦争終結に尽力し、戦後は平和維持に身を捧げた賢女であるとする説がある。なぜこのような矛盾する評価が存在するのかはわからないが、これを根拠として「賢女は二重人格だった」という荒唐無稽な説もある。モビルスーツパイロットとしての能力もあったらしく、紛争の最終局面ではウィングガンダムで戦闘に参加したとの記録がある。

First Appearance: 「新機動戦記ガンダムW」 第5話

# WISDOM

◎新機動戦記ガンダムW知

## 五人の科学者

■Notes すべてのモビルスーツのプロトタイプともいえるトールギス、オペレーションメテオに参加した五体のガンダムなどを開発した天才的な五人の科学者。はっきりした姓名は残されておらず、ただイニシャルだけが伝えられている。左からウィングガンダムの開発者、ドクターJ、デスサイズの開発者、プロフェッサーG、シェンロンガンダムの開発者、老練ロ、ヘビーアームズの開発者、ドクトルG。サンドロックを開発し、ゼロシステムを完成させたH教授。モビルスーツ技術のほとんどが、この五人によってつくられたと評してもいいような功績をもつ人々だが、紛争開始時には軍事力を背景にした強硬的な政治をおこなう地球連邦一連合を嫌い、コロニー勢力に身を寄せていた。そのためオペレーションメテオの中核を組むが、彼ら自身はコロニーサイドとも違った思想があったとも言われる。

## Dr. J

■Notes ウィングガンダムの開発者で、暗殺されたかつての政治指導者ヒイロ・ユイの名を与えられた少年テロリストを養育したことで知られる人物。独自の思想をもって少年を地球に送りこんだらしいが、その詳細は不明。のちに他4名とともにOZによって拉致され、巨大戦艦リブナなどいくつかの兵器開発プランに関与している。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第5話

## メリクリウス

■Height 16.3m Weight 3t

■Notes OZ上層部の「ガンダム以上のモビルスーツを」という要求により、拉致された五人の科学者の手で開発されたモビルスーツ。ヴァイエイととの二機一組での運用をコンセプトに開発されており、こちらは防衛と近接戦闘を担当する。そのため、防衛兵器プラネティックセンサーを装備し、手持ち武器として近接戦闘用のクラッシュシールドとビームガンが用意されている。ヴァイエイとともにのちにデビルドールがつくられたが、量産はされていない。

First Appearance: 新機動戦記ガンダムW 第2話



五人の科学者



Dr. J



メリクリウス



ドラス

リーオー

## トラコス

■Height: 13.8m/Weight: 7.7t

■Notes: 下駄にハイパーユニットを装着することで短距離に運用される地上用のモビルスーツ。そのため何中キャンノン砲が取り付けられることが多い。手持ち武器としてはビームライフルを装備。連合の地上軍で幅広く使用されている。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## ヴァイエイト

■Height: 16.3m/Weight: 7.3t

■Notes: OZ上層部の「ガンダム以上のモビルスーツ」という要求により、拉致された五人の科学者の手で開発されたモビルスーツ。メリクリウスとの二機一組での運用をコンセプトに開発されており、こちらは遠距離からの攻撃がその担当である。そのため、大口徑ビーム兵器ビームキャンノンを装備する。基本的な戦術プランとしてはヴァイエイトが遠距離から撃ちまくり、防衛と襲に入り込んだ敵の封鎖をメリクリウスがおこなう、というものだろう。パイロットによっては程々に暴強になりうる機体である。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第20話

## リーオー

■Height: 16.2m/Weight: 7.0t

■Notes: 地球圏で幅広く使用される量産型モビルスーツ。モビルスーツのスタンダード規格ともいふべき性格の機体で、用途に応じ、機体や兵装のバリエーションも多数存在する。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第1話

## ハワード

■Notes: かつてトルギスの開発に関わっていたらしいザルベージ軍を営む老人。なぜか優秀なガンダムパイロットたちを助け、五人のガンダム開発者とも顔見知りらしい、謎の多い人物。紛争の終盤においては巨大戦艦ピースミリオンの艦長としてあらわれ、ガンダムパイロットたちに助力を提供。紛争に第三勢力として介入した。彼自身の正体は不詳である。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第5話

ヴァイエイト



ハワード

New Mobile Report GUNDAM W

# PERSISTENCE

○新機動戦記ガンダムW/実戦

## マリーメイア

■Notes コロニー戦争の名門パートン家を中心とした財閥組織。パートン財閥に家系として繋がれている謎めいた少女。戸籍上はマリーメイア・パートンだが、じつは前世界国家元首トレース・クシュリナダの遺児であり、彼女の存在を大黒名分として、パートン財閥は武装修起した。この軍事クーデターは平和維持組織ブリペンダーの暴走や五体のガンダムの降参によって鎮圧するが、事件の要因となった彼女のその後については不詳。保護されたとも、亡くなったとも言われる。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW: エンドレスワルツ』第1話

## サーベント

■Height 16.6m/Weight 8.6t

■Notes 紛争後、パートン財閥の手で秘密裏に生産されていた新型モビルスーツ。設計思想としてはビルゴシリーズのコンセプトを受け継ぎながら武装強化したもののような。内蔵兵器としてミサイル、手持ち武器としてツインガトリングガンが標準装備だが、武装的にはかなりのバリエーションがあるらしく、ビームキャノン、バズーカなどを装備した機体も確認されている。マリーメイア事件の際には相当数が地球に降下したが、大半は破壊されている。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW: エンドレスワルツ』第1話

## ビルゴII

■Height 16.3m/Weight 7.5t

■Notes ホワイトファンクがOZが月面につくったモビルスーツ生産施設を占拠して量産した軍の主力兵器。モビルドール、ビルゴの強化型で、プラネイトディフェンサーが両肩に増え、宇宙用の機動装置が追加されている。武装的にはメガビーム砲、ビームライフル、ビームサーベルといったところが標準的なもの。生産台数が多いため、それなりにバリエーションが存在すると思われる。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第39話



マリーメイア



ビルゴII

デルマイユ公爵

デルマイユ公爵

ビルゴ

ツバロフ特佐

## ビルゴ

■Height: 16.3m / Weight: 7.3t

■Notes: OZが次世代の主力として開発した最新型モビルスーツ。ヴァイエイト、メリクリウスからの技術的なフィードバックを活かし、プラネイトディフェンサー、ビームキャンンを標準装備している。トラスに比べ、格闘に汎用性が高く、武装も強力だが、生産設備自体がホワイトファングに奪取されたため、改良型のビルゴIIが戦力となるという皮肉な結果を招くことになった。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第25話

## デキム・バートン

■Notes: コロニーの名流バートン家の党首で、バートン財団の中心人物。トレース・クシュリナダの遺児を利用して、コロニー勢力による地球圏支配を企んだ「マリーメシア事件」の仕掛け人。ガンダムのパイロットとして知られるトロワ・バートンは記録によれば彼の息子となっているが、事件においては特に彼に協力していないかったようだ。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』エンドレスワルツ』第1話

## デルマイユ公爵

■Notes: ロームフェラ財団の代表代行。貴族による地球圏の政治的支配を目論み、OZによる軍事クーデターなどの影で糸を引いていたとされる人物。のちの世界国家元首トレース・クシュリナダとは親戚関係にあるが、陰謀により彼をOZのトップから追放。サンクキングダムと連携しリリーナ・ピースクラフトを傀儡として政権を私しようとするが、天性のカリスマを持った彼女により逆に財団内での発言権を失い、宇宙に出たところでホワイトファングにより殺害。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第14話

## ツバロフ特佐

■Notes: OZ一級特尉。技術士官として新しい兵器技術の開発を担当する技術者のトップ。人間の能力を利用したゼロシステムやガンダムを嫌い、無人の自動兵器「モビルドール」を考案し、次代の主力兵器として開発を押し進めたことで知られる。のちに月の生産施設とともにホワイトファングによって身柄を拘束され、ビルゴIIを彼らのために開発した。

First Appearance: 『新機動戦記ガンダムW』第18話



OZの拠点ゼクス・マークスはガンダムWを新造、実験に入れたパイロの強さを感知する(1話)



リリーナを撮そうとしたパイロは、同じガンダムのパイロット・デュオに撃たれる(2話)



車に乗せられたパイロをデュオが助けに(3話)



トリスの真心の裏でメディア・アンの(5話)



パイロを育てたドクターJは、ウィングガンダムの製作者でもある(5話)



オズの平和運動家ノベントアンの(7話)



最終的に任務をこなしパイロは、たまたませず自爆スイッチを押す(16話)

## EPISODE CHECK

『ガンダム』の歴史に刻まれたこの作品は、何年かにわたって「ニュータイプが出現したガンダム」と言われた。当時とは「ガンダム」という名称にはそれほど特別な「意味」「コロニー」「ニュータイプ」というイメージが色濃く残っていた。それを表現しない作品は異色だといえる。そしてこの『ガンダムW』という作品はニュータイプを題材にしても、それと無関係とも無関係でもなかったといえる。面白くはない。

『ガンダムW』と他のガンダム作品の、外観から見たところではほとんど同じ。なんといってもファン層だ。制作陣もほぼキャラクターデザインも、作画陣も監督も関係者と変わりがあらずで一部のスタッフは参加した。この2人が、やはり女性に好まれる支持を受けたガンダムシリーズ『機動 戦機ライフル・バー』後半のコンパニ



オズの平和運動家、上っ端パイロを育てたドクターJは、ウィングガンダムの製作者でもある(5話)

たこと、主人公がどちらの作品も5人の少年ということ、それらが重なって放映前の女性ファンの注目度はものすごく高かった。この時期により従来のガンダムファンとは男性陣はいささか異なるような感覚があったが、物語が面白く見えてきてきたというのだから、批判的な声は少ないものがある。これは、この作品が持つ「けれども」の要素が視聴者に反応した結果ともいえるだろう。

いざとなると、女性ファンに受け入れられる支持を受けたガンダムはこれのみであり、それがガンダムを地盤とするためのデザインにまで新血を吹き込んだというのだから、女性方の熱意たる中堅層にありあるものがある。この、女性ファンの意見がどうやらに反映されたかといえるのは、TVシリーズのあとでOVAと特別版(映画)で解るとして、ここではTV版の考えものについて話をすすめていく。

### 選題(1話～10話)

この物語の基本テーマは「戦争」と「コロニー」。そして5人の少年を軸に展開する。設定は沖野ではなく、最初は劇を知らぬ、まったくの他人からスタートするのだ。

AC195年、地球は連合軍が統制をとっており、そのなかでOZと名乗る秘密結社が密かに活動を展開していた。宇宙には、いかにしろ呼ばれるコロニー群が存在していたが、現在地球との交通は従来の通商で

はなく、どちらかといえば仲が悪いといった感がある。それら5つのコロニー群から、それぞれとりずつ少手を集めたガンダム群が、次第に集結して地球に降下した。ガンダムに降参した彼らの目的は地球連合軍を撃倒しようとするOZへの破壊活動。つまり彼



5年間の平和とOZの活動に反対するが、結局、OZの活動は止まらなかった(10話)



らは、宇宙工員でありグリフなのだ。か  
れは、オペレーション・メテオ。この  
すべての始まりである。

主人公の一人、コロニー・コスモ  
ーネスに発見され交戦。これが、このあと！

毎週に5話の戦いを続ける2人の出  
会いは、この先、ウイングガンダムを  
完成に導いたヒイロは、宇宙に漂っているところをリリーナ・ドーリアンに発見され、  
顔を見られてしまう。宇宙工員であるヒイロは、自分の顔を見た彼女を救すためリ  
リーナが住する宇宙船に侵入し、「お前を救す」と本人に宣言。1話で突然こんなこと  
を言い出す主人公にも驚かされたが、そんなヒイロに驚かされていくリリーナという少  
女の登場はたいしたものだ。

リリーナは上流階級の家の娘で、美事とはまったく縁のないお嬢様として登場した。  
彼女の父・ドーリアン外務次官は、陰謀になかつかつある地球とコロニーの架け橋とな  
るべく奔走している人で、それを邪魔に思ったOZに暗殺されてしまう。同時に  
消されそうになったリリーナを救ったのはドクター」と名乗る謎の老人。彼はヒイロ  
の育ての親でもあった。ドクター」は「吾輩は悪い子だと悪いながらも、「死にたく  
なければ近づくな」と警告。リリーナがそのとき母に死の知らせを渡りかけたヒイロと  
いふ少年から目をそらさず見つめていた。

登場人物も多岐にわたる。ほらどい、5人の少年たちについてもさうだが、ゼクスの過  
去、OZの目的、そして5人の少年達を送り出した、コロニーという存在の不透明さー  
ー。最初はそれらも「口ははとしておし進め、そのほかでキャラクターたちを強烈に  
印象づけるよう描き進めている。デュオ・マクスウェルの明るさ、トロワ・バートの  
無口さ、カトル・ランバードの真面目さ、五郎の冷静さ、それらは戦いのな  
かであってより強く出る個性であり、なかでもヒイロの、戦うために育てられたといわ  
んばかりの機械のような堅固さにはさすがなものがある。10話で、OZのレディ  
アンはコロニーを人質に、ガンダムに降伏を迫る。そのときドクター」は宣言した。  
「降伏はする。しかし、ガンダムは渡せん」。それに対してヒイロはただ静かに「任務  
了断」とつぶやき、ガンダムの自衛スイッチを押した。このときヒイロの無表情は、  
ほかの4人の少年たちにさえ驚しい面容を与える。恐怖を恐怖とさえ感じないヒイロ  
——コロニーのために戦うことを解じられた自分たち——なんのために自分たちは  
戦うのだろう？ それまでも自分たちの意志で行動しているつもりだった少年たち  
が、ほんとうの「戦う意味」を考えねばならなくなった瞬間だった。

## 少年たちの戦いの意味 (11話～23話)

戦う目的を見失ったデュオ、カトル、五郎、トロワは、それぞれの祖先で人とみれ



戦うヒイロは、その戦いのたびたび目撃者である  
戦いに参加するが、ヒイロはこれを戦いとする。それは、  
ヒイロの戦いとは異なる。



サンドロックとデスサイズを前に  
デュオとカトルが出会う (11話)



リリーナは父のかたきをうつため、  
レディアンにしようとする  
(11話)



トロワはサーカス団の一員として  
身を隠していた (12話)



風口五郎は、ザリィは人が戦うこと  
の価値を認めてさかせる (12話)



「自衛する」と思ったトロワを助ける  
キャスリン (13話)



ヒイロは責任をとるため、ガンダ  
ムを無敵にしたりとりに会いに  
行く (14話)



戦っていたヒイロと行動をともにす  
るトロワ (15話)



## EPISODE CHECK

[illegible]

とまではいかないまでも、再戦を望むゼクスとMSとの戦いに挑む。ゼクスは、  
 タイコを助けること、この点と最終回まで、2人は戦いにおいての、共通なる理由  
 となった。

さて「ガンダムW」は、ガンダムとはいったいどういう位置づけだったのか。反面的に言うともうガンダムは一体で動く体の概念を率々破壊する。彼らが負けに追い込まれるのは、量産型ガンダム一掃を期としたときである。それゆえとまで強いガンダムと思うのは、次から次とわらわら出てくる大量生産のMSたち、つまり、片や一機出子の戦士。片や耐力にものをいれさせた物置作戦の戦艦なのだ。これは戦争の激しさを意味すると同時に、戦争の石なしさを強く感じさせる。それがこの「ガンダムW」のもうひとつのテーマである「平和」の追求につながる。平和を求むるなら戦争を捨てよ、ということなのだ。そしてその理想を实践させる人間として、リリーナがここに登場する。リリーナはじつは、先代の大平主権の王國サキンキングダムの人で、王女、リリーナ・ピースラフトで育ち、ゼクス、ネオ・アルド・ピースラフトの妹だった。見えない元の能力と、自分自身のカリスマで聖なるサキンキングダムを復興させたリリーナは、戦いに立ちあふれる戦地で、平和の代弁者となったのだ。

ゼロシステム (24話~39話)

いよいよOZに追いつめられたガンダムのパイロットたちは宇宙に上がるが、そこ



この少女はレディ・ア。デコと出逢って以降、オズに心酔するようになる(29話)

では裏切りが横行していた。レディ・アがオズをOZ方につけたことにより、彼女は完全に孤立する。そして、遂までやってきたコロニーの人間に父を殺された形になったカトルは、悪魔のようなガンダムを作り上げてしまうのだ。すべてのガンダムの原型でもあるウイングガンダムゼロは、一撃で資源所を破壊し、オズの勢力を弱体化させた。しかし、破壊されたゼロシステムは数にも使えないことがわかった。利用しようとしたOZの士官が自滅する。結局、OZをコントロールするためのゼロシステムは、破壊する前に絶望的な未来を見せる。しかし、5人の少年たちは、それぞれそこに未来を見だし、自分たちの戦いを続ける。これは、彼らが持つ、かつて未来を見えた人間であることを暗示している。

OZでは、モビルドール(MD)と呼ばれる無人MSの量産体制に入っていた。OZの総帥トーマスは親しい異性を求める男で、機械による戦いを否定し、なお人間の力で戦おうとするガンダムのパイロットたちを支持、上層部に更迭される。OZの幹部たちには、トーマスはこれさえもなく危険な悪夢をもった男と映った。トーマスは異端者を生み、ガンダムと対峙する。レディ・アはOZのMSを制作、ヒイロに託す。OZを潰れ、新兵器でOZを倒す。ゼクスがエビオンに乗ったヒイロと戦うシーンはあるが、このときの2人はそれぞれのゼロシステムに負け、またも決着がつかない。そして2人は機体を交換し、ヒイロがウイングゼロに、ゼクスがエビオンに乗る。これにより、もともと合っていた、つまりガンダムの威力を最大まで出すことのできるハイパーモードのペアが完成した。これが、2人の今後の戦いを予感させる。父は父親なのだ。

OZの破壊は、血を流す必要とはまったく違ってくる。平和主義のリリーナ・ピースクラフトが世界的に名声を得てきた。こんどはその彼女を招き出してOZの無敵なモビルドールを倒すために来たのだ。ごく普通の少女から、一部の総帥、そして地球という大なる世界の女王へ。リリーナを導く運命が響く。しかしリリーナは決しておどろかない。強い女将としてつねに描かれた。5人の少年たちがつねに戦場で戦うように、リリーナは戦場の戦いに参入していく。

## 未来もなる者 (40話〜49話)



すべてのガンダムもこのとき、ウイングゼロ、その威力はOZの兵器を倒すのに十分な力を持つ(40話)

宇宙では新勢力が台頭。コロニー



ゼロシステムを使ったヒイロは、ここにリリーナの機を乗せた(29話)



ナリとノインの出会。ゼクスは、オズにリリーナの機を乗せた(29話)



ウイングガンダムのことを知る。カトルは、その機に乗る(30話)



OZを作ったトーマ・フレイアが、OZの機を倒す(30話)



反動的な力を持つガンダムウイングゼロ(30話)



リリーナは、自分の運命を完全平和主義に委ねる(33話)



トーマスの作ったガンダムエビオンにも、ゼロシステムが搭載されていた(34話)



## MOBILE SUIT GUNDUM W

り、人間と人間の戦いではなかった。トリーズは山での戦争を「悪い」とは認めなかったが、それはまさにこの戦争の原因に上をさかせる。もちろん、戦いに意味を定めることと関係している。だが、それがより以上に、罪のためでもない。ただおれのためか目の前の敵か。戦うべきか否か。と悩まされた。

「そのうち、おれは、手帳がパツパツとした金持たはついでにいい。寝ることがいかに  
重要か、しかしよいが寝る者にとっていかに重要であることか。手帳は、寝る  
ことが重要だと思つてゐたヒロの母親に、デウスは自分の負けを認め、最大の  
心算をす。

この一方でWFFのカーンズは、巨大銀河リーブラを地球に落とそうと画策する。じつは銀河のオペレーション・ツェトは、半信コロニーのひとつを地球に落とす計画だったものを、システムを改良した3人の科学者たちが阻止、逆襲に発展したガンダムを地球に落下させる計画にすり替えてしまったのだ。カーンズの計画にあるのは、かつて破壊されたコロニーの最大なる創作者ヒトロ・ユイの復讐だった。誰かに滅ばれなくなったことで、コロニーは地球から不安の影を受け、腐敗した時代を過ごした。だが、カーンズの復讐はコロニーのものではなく、誰かなく私怨に燃い盛れる行為でも。しかしその軌道には、リーブラの一部を地球に落とすとした。誰かが被害をもってその見聞を見つめるなか、一体の人間が大変態に入ります。ヒトロの乗ったクインガンダムゼロだ。クインガンダムは、ヒトロの愛機。ヒトロが、地球に落ちようとした巨大な鉄塊を、空に落とすことができた。

[illegible][illegible]

けれども思った通りで、キャラクターの特質が劇に十分に反映できなかった。ラストシーンで果たその年齢の顔を見ることができたのは、とてもいい。また、けれども顔が衰えたからと、登場人物が哀れまれ、ドラマがひっくり返ってしまったのではない。キャラクターたちの行動が観る人びとと距離には事実年がたったけれど、ひとびとを見つけたとき、彼らは自分と正面に、いかに生き生きと時代を駆け抜けていかに変わっている。



戦争が好きなトロシーは、セクス  
のかたわらで戦いを冒険の当たり  
にする(40歳)



→ 同しくゼロシステムを使う力  
ルに第2く(44番)



Q2は、ヒートとトロワの戦績データを搭載したMODをふつけてくる(45頁)



を、ヒヨロはピースマリオンに連れ  
帰る(46話)



5巻のガンダムがそうって出陣  
ZとWPのあいだで、戦いの行方  
めぐるために(47話)



リリーナに別れを告げて出陣す  
ヒイロ 初めて見た 優しい笑  
な (48話)



要道リープラの破片を辿って、ウ  
ングゼ口は大気圏に突入した  
(45秒)





それは必要の道化であろう。そこには道化としてのするさが見える。

いちごは終わったと思つた瞬間に、もうひとつの思ひ込みを感じる。……ヒイロは、オペレーション・メテオよりも以前、五瀬は五瀬中村の娘を女の子を襲って死なせてしまったことを思い出した。そして、母はともに死に追いつかれるのだ。

ヒイロの言葉にうしろめだったのは、なんとかつての仲間・五瀬だった。正義のために戦士として育てられた五瀬は、平和になった世界にとって戦士は用済みで、去らねばならぬのだ。ずっと思っていた。その五瀬が、ヒイロに戦いを挑む。「母は真実を知ってしまった」という五瀬は、ヒイロという強いパイロットとの戦いを通じて再びとどめを刺し、恨んでいることの苦さを、ヒイロのなかにも刻みつけているのだ。

いちごんの真逆劇は、ヒイロがウイングゼロに乗り込み、脱走させるシーン。戦場の真実はあかぬ。ウイングゼロは地球を脱出する。敵機があらぬにしなければならぬとか機内肉にいてはええがそれまでだが、いままでのどんなにもない。あやかしさがそこにはある。そのあやかしさがこそが、このOVAいちごんのけり人達だ。

そのウイングゼロでヒイロが向かった先には、五瀬が待ちかまえていた。一分一秒を争うときに、ヒイロは五瀬の突っ向かうの戦いを受ける。それは地球を奪うのと同じく、敵軍を大団に撃っているものかしてはならないだろうか。五瀬は、戦士とトレーズの死を重宝で、そこから逃げ出すことを決まっていた。ヒイロは敵と真剣に戦い、そして呼びかけられた。トレーズとヒイロは、戦いを決めた。そして、「母はあと何回、あの子を襲うのか……」と、ヒイロは、戦いを決めた。襲うかと思つてしまった少女を襲う。戦いの終わりを告げる。五瀬は戦って見送った。それは、五瀬の心にも響く。ヒイロの真実だったのだ。

地上ではゼクスとヒイロが、Mで戦って交戦していった。彼らは敵を殺さない。そこにデュオ、トロワ、カタルのガンダムが加勢に現れる。同時に人々を殺さず戦う彼らは、次第に近づいていく。そのとき、戦いを終る世界中のテレビモニターに、一瞬だけリリーナが映る。彼女は、平和の道で勝ち取るものと訴えかけた。それによって、なんの戦勝もたたり人々が平和の道に進んで戦場から。

ゼクスが持っていたもの。そして五瀬が死んだことがあった。そこにあった。人は誰いものかは与えられるだけではなく、自分で選んで取りかかるとある。自分自身で選んで争うれば、ほんとうの平和はやってこない。民衆がそれに気づいたとき、やっと真の平和がめとすれ。そして彼が幸せに向かって歩き出したとき、ヒイロはひとりきり。いすこともなく消えた。このあと、この歴史に戦争は起こらなかったというから、ヒイロが真実に出ることは可能となかったに違いない。

ガンダムのパイロットである人はいなければ平和はなかった。しかし、五人だけでは平和は来ないのだと……これは、そういう物語なのだ。「戦争」を描いた物語のエピローグとして、これほどすばらしい結末はなかった。



この女の子がアムロと指さす「もう戦争はない人々、みんなの？」人々は大団にやり取りする(3巻)



リリーナは敵スキャンをつき、全世界に向けて立ち上がるよう、うったえる(3巻)



トレーズは母国に帰るために呼びかけ、彼らを引きかかると自軍を撃つ大団に決めた(3巻)



ヒイロのガンダムは大団に戦いのシスターを襲撃、マリメアの守りをはく(3巻)



マリメアを死滅したデウスは、地下により脱出される(3巻)



リリーナをかばって死んだマリメア、彼女もまた戦争の被害者だった(3巻)



リリーナは力つたヒイロを指さしめる。戦いは、こんどこそ終わった(3巻)

## CHRONOLOGICAL TABLES

A.W.

- ・第7次宇宙戦争勃発
- ・ニュータイプ専用MS「ガンダム」開発
- ・8ヶ月間の暴走状態の後、宇宙軍崩壊。コロニー落としを施行。かつては100億人いた人口が激減する
- ・第7次宇宙戦争終結
- ・連邦の戦争責任などを理由に、漂流した旧連邦に参加しない独立軍が各地に成立する

A.W.0015

- ・GX1号機、開発。サテライトシステムコントロールへの参画
- ・新連邦樹立宣言。それにもとない世界各地で国連軍、民族間の戦争が起る
- ・新宇宙軍とサテライトの対立明らかになる
- ・新宇宙軍と旧宇宙軍の爆したコロニーレーザーを完成。タリア作戦を再開するが、失敗に終わる

A.W.0016

- ・第8次宇宙戦争勃発。新連邦と新宇宙軍が衝突する。
- ・戦果のせいで、D.O.M.E.が機能停止する
- ・第8次宇宙戦争終結。

旧連邦の戦争について第1回評議会開催実施。



## KEYWORD

## 新宇宙軍革命軍

サイデル・ランツの継承の下、スペースノイドはNTであるというNT主義によって組織された軍隊。国力こそ新連邦には劣るが、一種の過民思想に裏打ちされた士気は高い。旧革命軍が再編成された存在である。

## 新連邦軍

戦後の地球統一を目指して、旧連邦の関係者らが免足した政府再建委員会を基盤として発足。当初は革命軍との和平路線をとっていたが、要人の暗殺事件後、方針を変更する。

## サテライト

宇宙軍革命軍の唱えるNT主義に反対する反政府組織で、放棄された小惑星資源帯が根拠地。革命軍がコロニーレーザーを使って地球を攻撃しようとし

## G GUNDAM'S WORLDVIEW

スペースコロニー、クラウド9の独立運動に端を発して、地球とコロニーの間に第7次宇宙戦争が勃発した。コロニー側である旧宇宙革命軍は、捨て身の作戦である「コロニー落とし」の作戦を切り札に、旧連邦軍の降伏を迫った。だが、旧連邦軍が徹底抗戦の姿勢を崩さなかったため、「コロニー落とし」は強行された。地球環境は激しく破壊され、旧連邦本部のあった南米の被害は特に大きかった。戦前は100億いた人口は、9800万人にまで減った。両軍の極度の疲弊により戦争は終結。以降、A.W.という年号を使う。

戦後15年が経過したA.W.0015。地球上では、バルチャーと呼ばれる人々が跋扈していた。彼らは、陸上戦艦やMSを操って旧連邦軍の施設などから電子部品などを奪い、それを売り歩くことを生業としている一群だった。

その戦後の荒廃と復興の活気の中、新連邦軍、新革命軍が新たに組織され、軍事的緊張は次第に高まっていた。

## TECHNOLOGY

第7次宇宙戦争により、生産設備が破壊されたためMSの大量生産は一時期完全に停止していた。そのためMSは、バルチャーにとって重要な商品の一つでもある。またバルチャーが利用するMSは、戦中に開発されたMSを利用し各自がカスタム化した機体も多数存在している。そんな中で、ガンダム・タイプは旧連邦の秘密兵器だったという伝説が広まっているため、ガンダムはモビルスーツ乗りにとっては特別の驚きを与える存在となっている。こうしたMSは、ホバーで移動する陸上戦艦を母艦として運用されることが多い。

コロニーはオニール計画の島3号に準じた形状で旧宇宙革命軍はこれをレーザー砲に転用する計画を持っていた。

この世界では、NTや人工NTの研究も進んでいる。戦場で覚醒したNTが多いと伝えられることから「覚醒するには死の恐怖が必要」という仮説もある一方で、戦いの中でその能力を失ってしまう者もいたという。

たタリア作戦を阻止しようと動く。旧連邦軍が開発していたガンダム支援用戦艦機、G-フルコンを完成させる。

## ガンダム・タイプ

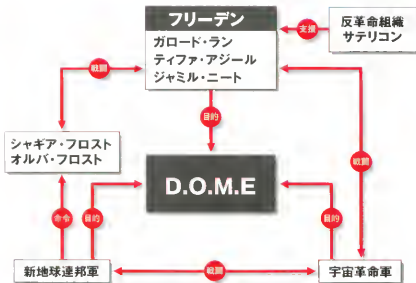
本家は、大戦中に旧連邦が開発したフラッシュシステム搭載型MS(GX、GT、GWの型式番号を持つ)の総称。ヴァサゴとアッシュクロンは政府再建委員会が開発した機体で、ヴァサゴはフラッシュシステムを搭載している。

## ビットMS

大戦中に開発された。ガンダム3機種とフォーメーションを組んで戦闘を行う無名MS。ガンダム・タイプに合わせてGXビット、GTビット、GWビットの3タイプがあり、それぞれ12機ある。また、月のD.O.M.E.も自己防衛のために、精神遠隔操作で専用のMWGビットを持っている。



## ガンダムX 相関図

**サテライトキャノン**

GX、DX、GXビットが育食っている大型兵器。旧連邦がコロニー落としを阻止するために開発した。月のMW送信施設から高出力エネルギーの供給を受け、それを発射する。アシュタロンHCとヴァサーゴOBが共同して発射したサテライトランチャーもこの系統。

**NT**

人の革新していく姿と描かれている。洞察力や直感力に優れ、ティファはそのイメージを絵の形で表現した。だが、宇宙革命軍のサイデル総統にとっては、スペースノイドに利があると言うための方便でしかなかった。

**フラッシュシステム**

旧連邦軍が開発したNTのための戦闘システム。ビットMSのコントロールや、

サテライトシステムへの登録などに使われている。

**カテゴリーF**

夢想伝達などに多い。NT的な特異な能力を持ちながらも、フラッシュシステムに対応できなかった人々を分類上、こう呼ぶ。フェイクのFをもって呼ばれるように、呼ばれる側にとっては貶辱的なニュアンスがある。

**D.O.M.E.**

月面にあるMW送信施設内部にある。人類史上初めてNTとなった人物が、遺伝子レベルにまで分解され、保管されている。連邦の重要機密だった。

After War GUNDAM X

# NEW AGE

○機動新世紀ガンダムX/新世代

## Gファルコン

■モビルスーツ 旧連邦軍がガン・タイプMSの支援用に開発した戦艦機。一般のモビルスーツキャリアと武装強化パーツの両方を兼ねる。コクピットが分離し、独立した戦艦機として戦艦行動が可能な他、分離したBパーツのみを無線コントロールで動かすことも可能。最終での大気圏突入も可能である。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第32話

## ガンダムX

■モビルスーツ 第7次宇宙戦争で連邦軍最強の次戦兵器として実戦投入されたニュータイプ専用モビルスーツ。ニュータイプ能力を利用したヒットモビルスーツコントロールのためのブラッシュシステム、最強の破壊力を持つ機体兵器サテライトキャノン搭載し、最強の攻撃力を持つ機体として作られている。第7次大戦で全機が消失したと思われていたが、戦後、連邦軍の工場跡地で機体残骸の機体が1機発見されている。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第1話

## ガロード・ラン

■人物 戦況監視でフリーのジャンク屋として生計をたてる少年。父が軍の科学者で、戦艦の設計でメカの世界に長けている。ふとしたことからガンダムXを発見。探索し、ニュータイプの少女ティファを守るために戦いに巻き込まれる。以後ティファとともにニュータイプ保護のために活動するバトルチャー（戦艦搭載した兵器回収業者。盗賊まがいのものも多い）、フリーデーン一行に身を寄せ、激戦する旧勢力間の争いの中で戦っていく。ニュータイプ専用機であるガンダムXを動かしたことからニュータイプではないかとも思われる。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第1話

## Gファルコン (Bパーツ)

■モビルスーツ 無敵制覇で動作するGファルコンのツェホンコンテナ部。こちらの部分だけでも強化パーツとしての機能は持っており、ガンダムXのバルトやエアマスターへの使用も可能。両腕は強力な拡張ヒーム砲を装備、遠程ミサイルも搭載している。地上用モビルスーツの空戦用オプションとして使用することもできる。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第12話

Gファルコン

ガンダムX

ガロード・ラン

ガンダムXデビルパイター

Gファルコン(Bパーツ)

ガンダムDX

## ガンダムXティハイター

■ 戦艦により大破し、サテライトキャン  
ンをついたガンダムXを改修した機体。圧倒的  
な攻撃力がなくなったかわりに戦況に応じよう  
フレキシブルに対応できる武装が施されている  
新装備ティハイターの搭載で空中での機動  
性、地形への対応力が上がった。MSとしての  
素性のよさをよく生かした機体である

First Appearance 機動新世紀カ タムX  
第12話

## ガンダムDX

■ 戦後、連邦の復興が新地球連邦  
樹立のため『国家の軌道』として開  
発された新型ガンダム。これはスハースに  
いるのはガンダムXであり、実質的にはガン  
ダムXのカスタムタイプ。『サイレンサ  
イトキャン』という超常兵器を装備して  
有し、コロニーレーザーすら一撃で破壊す  
る。

First Appearance 機動新世紀カ タムX  
第21話

## ガンダムDX Gファルコン装備

■ カタムDX・強化リールとてGフ  
ァルコンが合体した姿。サイレンサイトキャン  
ンに加え、拡散粒子砲、ミサイル、『ルカン  
が使え、各機手持ち武器も使用できる歩く武器  
庫のような形態。Gファルコン装備は前大戦  
では実験投入されてはあらず試作段階のまま放棄  
されていた

First Appearance 機動新世紀カ タムX  
第34話

## Gファルコンガンダム DX収納形態

■ モビルスーツキャ アとしてガンダ  
ムDXを収納したGファルコンの形態。長足  
離移動の他、この形態で大気圏突入も行うこと  
が可能。

First Appearance 機動新世紀カ タムX  
第35話

## ティファ・アディール

■ 大戦後、地球で自然発生的に生まれこ  
らしい。コタイの少女。幼い頃からその能  
力を狙う企業や軍組織に狙われてきたため、周  
圍の人間に心を閉ざすことができなかったが、カ  
ードと出会い、リーダーの人々と旅を続け  
ることや、その様々な心を開いていく。彼  
の能力が長大戦時に発揮をふったニュータ  
ブの力と同様のものかどうかは不明だが、特  
に共感能力を養っていることは確かであり、  
の力がカードや人々を導き、ニュータイプ  
秘密のものを解き明かしていくことにつな  
がっていく

First Appearance 機動新世紀 カタムX  
第1話

ガンダムDX  
Gファルコン装備

Gファルコン  
ガンダムDX収納形態

ティファ・アディール

After War GUNDAM X

# AFTER WAR

©機動新世紀ガンダムX/戦後

テクス・ファーゼンバーク

トニヤ・マーム

## ジャミル・ニート

■**ジャミル・ニート** リーデン・イロト  
この胸のバルチャーとて名を馳せるMSVイロト。前大戦ではガンダムXのハイ・メイトとして人類史上最大の悲劇、コロニー落としの生き霊を助けたという「トラウマ」を誇り、自分同様、戦争の道具として利用されかねない「ユウタイ」を発見し、密かに保護することを目的として活動している。ガロートがガンダムXに搭乗するようになってからは「ガンダムXティファのイロト」。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX  
第1巻

## トニヤ・マーム

■**トニヤ・マーム** フーニン連隊員。明るく活発な性格で、非組員の「オートメー」をつとめる「セイ・アイランド」で「オートメー」を盗もうとしたイロト、エルと出会い、彼女がフーニンの仲間になる手助けをする。この「ウィンド」・スカーフ・モリ」を受ける。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX  
第1巻

## シンゴ・モリ

■**シンゴ・モリ** リーデン操縦士。流石な操縦技術を持ち、宇宙船の操縦までこなす。前線とは不謀、戦後「ジャミル」に誘われて参加する。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX  
第1巻

## テクス・ファーゼンバーク

■**テクス・ファーゼンバーク** 船医。冷静に見えるが、人当たりがよく、気遣いする性格。艦内の人々、戦艦の調音点と「たどる」大戦時には従軍していたと思われるが、詳細は不明。趣味はヒリヤート・ピアノ、音楽・スラー・仲間。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX  
第1巻

## サラ・タイレル

■**サラ・タイレル** リーダー・オートメー・「ジャミル」からの依頼が厚い。彼が出撃している間には艦長代理もこなす才媛。ジャミル・オートメー対して固い好意を抱いており、彼から「オートメー」としての任務と好意を一身に受けるティファに対しては不愉快を感じている。戦艦隊は和平協議会メンバー。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX  
第1巻

ジャミル・ニート

サラ・タイレル



エニル・エル

フリーデンⅡ

エニル専用ジェニス

バーラ・シス

フリーデン

## キッド・サルサミル

■キッド・サルサミルはフリーデンのチーフメカニク。メカニクスばかりでなく、改修した武器・マシンを使った各種オリジナル武装の開発、機体の改修などにも積極的におこなう。ガンダムシリーズのバスター、ガンダムエアマスターバスター、ガンダムレオハルトデストロイなどは彼のオリジナルカスタムである。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第4話

## エニル・エル

■エニルはガンダムXを模倣しようとする女。3歳から、特定の波長がハルチャーに共振されている訳ではないフリーデンス・ハルチャー・ザートと名をとり、事あるごとにフリーデンを襲撃するが、トヤとの出会いをキ・カゲル最終的には協力者となる。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第5話

## フリーデン

■フリーデンはアルプス超大陸に設置。この特殊な環境下で育った子供たちと、この種の船体に乗り移る移動、モビルスーツ乗りを履いての動きをおこなっている。ホバリング移動の機体だが、フリーデンは船体およびエンジンに手がかわえられ、海上移動まで可能になっている。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第1話

## フリーデンⅡ

■フリーデンⅡは月へ向かうためにフリーデン1号の後継機として開発された。宇宙戦闘に特化した機体で、フリーデンⅡの名を与えられた。月での新造艦とクラウド9の全面戦争に動いて入る。艦載機としてのクラスなどはない。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第37話

## エニル専用ジェニス

■エニル専用ジェニスはエニルが結核したモビルスーツで、彼女の趣味で全身に青い塗装が施されている。旧型のジェニスのカスタム機だが、指揮官用機をベースにカスタマイズされており、ハイロケットの腕によりはそれなりの戦闘力を発揮する。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第29話

## バーラ・シス

■バーラ・シスは宇宙でのクラウド9政府組織サテンのメンバーでGファルコンのハイロケット・アルコンでティファ救出のために宇宙に出る。クラウドの危機を救い、サティコンがクラウド9の攻撃により破壊される。以後は彼と行動をとるようになる。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX

第32話

After War GUNDAM X

# VAGABONDS

◎機動新世紀ガンダムX/放浪者

## ガンダムレオバルド

■Height 14.8m Weigh 18.5t

■Notes 第7次大戦で旧連邦軍が使用したランッシュシステム搭載モビルスーツ「ガンダム」の一体。重火器を内蔵、オプション兵器として多数持った特種戦闘の機体。ビットモビルスーツとともに使用することで、局地的な占領作戦に最適な力を発揮する。地形に対する対応力も高く、水中、地上に対応した豊富な行動サポートのためのオプションを持つ。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第1話

## ガンダムレオバルド デストロイ

■Height 18m Weigh 30t

■Notes 大破したガンダムレオバルドをフリーデンの専属メカニック、キッド・ザルザミルが徹底改修した機体。全身に武装を小型化し、装甲を軽量化することで機動性を高めている。かといって攻撃力が低くなった訳ではなく、単機で活動するための武装に置き換えた。主要な搭載火器はツインビームシリンダー、11連ミサイルポッド、2連ヒームキノンなど。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第30話

## ウィッツ・スー

■Notes ガンダムエアマスターのパイロット。農村育ちで家族の生活を助けるために村を飛び出し、ハルチャーに拾われフリーのMS乗りとなる。フリーデンとはティファ救出のために臨時に雇われた関係だったが、救出後も行動ともにし、専属パイロットとなる。その出身から金にうるさい性格、ワイルドな外見とは異なり、家族思いのナイーブな面を持つ。

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第1話

## ロアビー・ロイ

■Notes 外見も性格も女好きでナンパなガンダムレオバルドのパイロット。ウィッツとコンビを組んでフリーのMS乗りとして活動していた。彼とともにフリーデンに雇われ、そのままいついて専属パイロットに。キャンブルが好きで居るガンダムレオバルドも「昔のカンシャ」からキャンブルの勝負でまさあげたものらしい。サラに対して想いを寄せているらしいが、

First Appearance 機動新世紀ガンダムX 第1話

ガンダムレオバルド

ガンダムレオバルド デストロイ

ウィッツ・スー

ガンダムエアマスター

## ガンダムエアマスター

■Height: 17m Weight: 6.5t

■Notes: 旧連邦軍が開発したブラッッシュシステム搭載モビルスーツ「ガンダム」の一体。高い機動性能を誇り、飛行形態をとることで空中戦の性能も高くなる。反面、武装は同時期に開発されたガンダムシリーズの中ではそれほど強力ではないが、命中と有効射定距離にすぐれ、一撃離脱攻撃が可能。ビットモビルスーツを使うことで強硬な先制攻撃機としての役割を果たす。手持ち武器として常に二丁のバスターランフルを携帯、固定武装はバレル程度。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第1話

## ガンダムエアマスター バースト

■Height: 17.3m Weight: 6.5t

■Notes: 大膽したガンダムエアマスターにキッド・サルザルが全面改修を施したもの。腕部に固定武装のブーストビームキャノンを追加し、攻撃力を大幅にアップさせている。レオバルデストロイ同様、ビットモビルスーツとしての機能での運用を重視した改修といえる。エンジン出力にも手が加えられているらしく、機動性能も大きくアップし、レオバルドを凌駕して連発モビルスーツキャリアー的な使い方ができるようになった。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第26話

## ガンダムエアマスター 飛行形態

■Notes: ガンダムエアマスターの空中移動形態。移動スピードのアップと火器の前面への集中により超スピードで接近しての一撃離脱攻撃に満ちる。ただし、空中での姿勢制御はモビルスーツ形態のほうが高いため精密射撃が必要な場合には向かない。逆にこのふたつを使い分けするための変形システムだともいえる。脚にマウントした二丁のバスターランチャーはこの形態では機銃として肩下に移動し、固定武装的な使われ方になる。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第1話

## ガンダムエアマスター バースト飛行形態

■Notes: 機銃部、翼と脚にそれぞれ固定武装とビーム兵器を追加、コンセプト自体はエアマスターと変わらないが、それに倍する攻撃力を持つことになった空中移動形態。この時代の攻撃攻撃機としてはおそろしく数値に近い機動力を誇ると思われる。エンジン自体がパワーアップされているため、武装が強化されているにもかかわらず出力には余裕があり、モビルスーツキャリアーとしての使用も可能。反面、多少MS形態での空中移動制御が不安定になっている。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第26話

ガンダムエアマスター  
バースト

ロアビー・ロイ

ガンダムエアマスター  
バースト 飛行形態

ガンダムエアマスター  
ファイターモード

After War GUNDAM X

# PURSUERS

◎機動新世紀ガンダムX/追跡者

## ガンダムアシュタロン ハーミットクラブ MA形態

■Notes カブトガニのようなモビルアーマー形態。巨大マニピュレータ、ギガンティックリザースを全面展開し格闘戦をおこなう。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第34話

## ガンダムアシュタロン ハーミットクラブ

■Height 9.5m Weight 12,000t

■Notes ガンダムアシュタロンの強化型。全体にパワーアップが施され、宇宙戦を想定した仕様になっている。ヴァサーゴロBの移動サポート、エネルギー供給用に供われることも

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第34話

## シャギア・フロスト

■Notes 謎のフリーのMS乗りとしてフリーデンを脅うフロスト兄弟の兄。しつは新選政府のエージェントである。世界を徘徊、戦いを拡大するために活躍する。ガンダムヴァサーゴのパイロット

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第3話

## ガンダムアシュタロン

■Height 9.5m Weight 10,000t

■Notes 新選政府密かに開発したガンダム。フラッシュシステムは搭載されていないらしいが、モビルアーマーへの変形が可能。武装はリザースビーム砲など固定中心

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第3話

## ガンダムアシュタロン MA形態

■Notes ガンダムアシュタロンのモビルアーマー形態。移動スピードは上がるが、機動性を増すというよりはパワーバトルのためのもの。アトミックリザースを生かした攻撃をおこなう

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第3話

ガンダムアシュタロン  
ハーミットクラブ  
MS形態

シャギア・フロスト

ガンダムアシュタロン  
ハーミットクラブ

ガンダムアシュタロン  
MA形態

ガンダムアシュタロン



## ガンダムヴァサージョ チェストブレイク

■機名 Gundam Varsajo Chest Break

■概要 ガンダムヴァサージョの強化カスタマイズ版。運動兵器のすべてがパワーアップされていて、胸部のトリプルメガゾニック砲、ストライククローの強化など、一撃の攻撃力が強化。そのふんばる目的も異様さも増している。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第34話

## ガンダムヴァサージョ

■機名 Gundam Varsajo

■概要 新地球連邦軍がガンダムシリーズの後継機として開発していた真形の「ガンダム」。フラッシュシステムは搭載されているらしいが、専用ビームは開発されていない。強熱にメガゾニック砲、伸縮可能な両腕にはクロウヒューム砲を搭載。すべての武器を展開すると悪魔のような異様な姿になる。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第3話

## オルバ・フロスト

■機名 Orba Frost

一癖性気な生児であるフロスト兄弟の弟。ガンダムアシュタロンパイロットである兄とともに連邦政府の意思を越え、戦争を拡大するために臨戦する。彼らはニュータイプとしては不適格者である「キャブリーフ」のレッチルを粘りついており、それが彼らの屈折した行動の動機になっている。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第3話

## カリス・ノーティラス

■機名 Karris Notylas

自治都市フォートセバーン市の自衛部隊の隊長をつとめる少年。じつは旧革命軍のニュータイプ研究者だった市員ノセアによって人工的に育成されたニュータイプであり、破壊兵器ハトリッリア起動のためのキーとして利用され、心に深い傷を負う。新連邦樹立による地球制圧作戦実施後は北米大陸での反連邦運動に身を投じ、フリーデンのメンバーを救う。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第10話

## ベルティゴ

■機名 Bertigo

■概要 旧宇宙革命軍が開発したニュータイプ専用モビルスーツ。胸部に内蔵式のビームライフル、マシンガン、ビームサーベルなどの固定式の武器が多く汎用性を欠くように見えるが、そうした点を補償した無神経移動砲台ビームによって完全に補っている。高い空中での機動性を持ち、ビームを使用した全方位攻撃で相手を殲滅する。

First Appearance: 機動新世紀ガンダムX 第10話

オルバ・フロスト

ガンダムヴァサージョ



カリス・ノーティラス



ベルティゴ

# After War GUNDAM X WEAPONS

◎機動新世紀ガンダムX/兵器

## ジェニス

■Notes 旧革命軍の重戦車MS。新7次大戦に大量投入され、戦後は徐々にカスタマイズされた機体が各地で使われている。

First Appearance: ガンダムX 第1話

## ワイズワラビー

■Notes ドートレス高機動タイプ。遠征時代のエニルの乗機。

First Appearance: ガンダムX 第5話

## ファイヤーワラビー

■Notes ドートレス高機動型のバリエーションのひとつ。メイン武装は火炎放射機。走行性能が高い。

First Appearance: ガンダムX 第6話

## ドータップ

■Notes 旧連邦開発によるドートレス変種用戦闘ロボット。地上では改造を施し水中ロボットとして使用されている。

First Appearance: ガンダムX 第1話

## ジュラッグ寒冷地仕様

■Notes 旧革命軍におけるジェニス地上型の後継機。フォートセバーン自衛隊隊の予で雪上専用装備を施され使用。

First Appearance: ガンダムX 第10話

## Gビット

■Notes 貴人のリモートコントロールMS。ニュータイプに乗る貴族からコントロールされる。

First Appearance: ガンダムX 第1話

## ドートレス・タンク

■Notes ドートレスバリエーションのひとつ。ウィッツの故郷の村で自衛のために使用

First Appearance: ガンダムX 第15話

## スラッシュバップアロー

■Notes 女バルチャー・ヴェナノに乗るジェニスのカスタム機。武装はマシンガンとヒートサーベル。

First Appearance: ガンダムX 第2話

## ドーシート

■Notes 旧連邦の水陸両用MS。

First Appearance: ガンダムX 第16話



セプテム



ドートレス・コマンド アルタネイディフ社使用



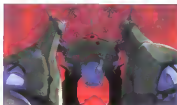
ドータップ



Gビット



ジェニス改スラッシュバップアロー



グランディーネ



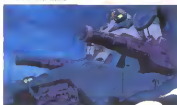
ドートレスHMCワイズワラビー



ドートレスHMFファイヤーワラビー



ジュラッグ寒冷地仕様



ドートレス・タンク



ドーシート



エスベランザ



パリエント



パイロン



コルレル



ブリトヴァ



ガブル



ラスヴェート



ドートレス・ネオ

## クランディーネ

■Notes 旧革命軍使用の大型MA。移動砲台のような身体で長距離戦用の荷粒子砲をメイン武装とする。

First Appearance: カンタムX 第5話

## エスペランサ

■Notes バルチャー、ルマークの手によるハンドメイド水中用MA。

First Appearance: ガンダムX 第20話

## パリエント

■Notes 新連邦の量産型MS。飛行（ホバリング）能力を重視した機体で、編隊での降下戦が主な用途、地上戦には向かない。

First Appearance: カンダムX 第21話

## ガブル

■Notes 新連邦の機体にして装甲を強化したワッペンメックの新連邦機MS。ビームを無効化するフィールドシールドを搭載。

First Appearance: カンダムX 第28話

## パイロン

■Notes 南アジア同盟軍三国共同開発の機体。個別のパリエーションが存在。

First Appearance: カンダムX 第25話

## コルレル

■Notes 装甲を犠牲にして機動性を極限まで高めた新連邦製のカスタム機。武装もビームナイフのみ。

First Appearance: カンダムX 第26話

## ラスヴェート

■Notes フラッシュシステムを搭載する新連邦のMS。まったくの同型機をカスタマイズしたモビルスーツとして使用。

First Appearance: カンダムX 第29話

## ブリトヴァ

■Notes 新連邦のワッペン機MS。高い機動性を利用してメイン武装のワイヤーカッターで敵MSを切り裂く戦法を得意とする。

First Appearance: カンダムX 第27話

## クラウド

■Notes 宇宙革命軍開発の量産機。装甲と機動性をともに強化している。

First Appearance: カンダムX 第32話

## ドートレス・ネオ

■Notes 旧連邦軍の量産機。ドートレスタイプ最新型。新連邦軍開発。

First Appearance: カンダムX 第34話



## EPISODE CHECK

本作は、大規模の監製した世界という舞台設定のなかで、「今日という日をどう生きるか」「どんな明日を求めるのか」という明確なメッセージを語っている。それはきわめてわかりやすく、ガロード・ランという主人公の両腕のなさも手紙で、いかにも

「……さあ、我々が望むのは平和な世界だ。だが、そのためには、この世界には、平和な世界にはなかった歴史をすべて取り戻す必要がある」といふ。平和な世界を取り戻す。未来を志向するということには、異議を唱えられず賛成の意見。だがそれをやり遂げるには戦いでもある。主のメッセージをまっとうするためには、平和な世界を取り戻すことが第一目標。それに対し、前大戦時にガンダムのパイロットとして活躍した主人公の父、シャムルは、こうした主の役割を担うもうひとりの主人公だ。この大戦をやり遂げて世界を見た彼は、そこで学んだ理想と、戦後世界の現実とが一致していない。前編しつづける「迷わない少年」ガロードとそれと対峙する「シャムル」。シャムルというこの対置は、物語に一見した印象以上の真実を生みだしている。

月の下の出会い(1~5話)

孤独に生きてきた少年と少女、ガロードとティファの出会いによる異変。そこからはすっかり典型的な「ボーイ・ミーツ・ガール」の物語でもある。見方によっては、の先待つ展開のすべて、新選組も市街革命軍もただふたりを救済する機会だ。過去の戦争も今を生かせる戦い。目的の執業に過ぎないと思えるほどに、はたして「子」の平和をなしている。ストーリーは最初からニュータイプであるティファを救う者となれを守ろうとするガロードという面式で展開され、お互いかりかえることにはぐの戦艦も説明がない。なぜ戦うのかをジャミルに問われたガロードは答える。「これはティファを助けないと。好きになっちゃったんだから当然さ。さうだろ。その「好き」なりまの」のさうだと消されてしまうのが、あくも悪く本作の真実のなると思う。あくも悪人の感情のあらわれとして「行動」があるだけで、それな情か前なる意味付けは、人間性は一歩しては

ふたりの出会い、最初の逢いが月明かりの下で描かれているのも、意外大きな意味を持っている。「月は出ているか?」とマサトイルで始まって「月はいつまでもある」と終わるように、最後が19時に必ず月が背景に存在する。最終話で明が去れるように月→D.O.M.Eになる。ナレーターの「涙が割割とて」を見て通る話者で受ける。本作が収入を稼ぐような話ではなく「下で」ではなく、サビで上を見るように、ある意味で「下」を「上」で見ていく話として書かれているのだと思う。

灼熱の湖(6~9話)

集団行動になじめないガロードは、ジャミルに怪我を負わせたことに責任を感じ、GXに飛び乗って船を降りてしまう。アムロ脱走を遠望させるエピソードだが、ガロー

ドにそんな面影はみえない。フリーデンへの未練を吐きやうとガンダムを倒す気持がそうとするかと思えば、ビンタと絡むとこどわりなく逃げに重けられる。主人公としてはあまりに3人組の行動無様かもしれないが、嫌味のない卑劣さは気持ちいい。「家出してたガロードが、プロスト兄弟、そして女でプロストスーツ祭りエニル・エルと面合うの」がここでの重要な要素。当初は狂言回し的な役割を演ずることになる彼らだが、ライバル宣言を突きつけるプロスト兄弟が「面白い敵役」におさる一方で、この時点でエニルは性格づけのよくわからないキャラクターだ。ガロードにちょっぴりおしを出してそれを振返されたことに、なぜかくるくすのうさも禁断しにくい。彼女たちの運命と関係が深まっていることは後々明かされるものも、キャラクターの内面をもっと掘ることのない本作では、前半と後半にかなりのギャップが生じてしまっている。とはいえ、この後の展開踏まえて、彼女の過去と思える事件を密かにシメクソして危機感を増やしたのか、実はどこまでか裏切られていた。

ここで方ロードの「両面」が決着するとともに、それまでフリー契約だったウィッツとロ  
アジもフリーデーン軍となっている。こうして、ひとと在りの戦場と位置が揃った。

フューリーバーンの悲劇(10~15話)

「『新時代』の『ニュータイプ』の両面に、人工ニュータイプの少年カリスとの関わりを  
描いた1冊の『ニュータイプ』をやる物語はいよいよここからが本編。  
“あ”への扉を開けしとき、その扉の奥にこそあらわれ出る有など、無数のモチーフ  
が待ち構えている。――『新時代』と『ニュータイプ』」

「僕は、この世に生まれてきたのが偶然だとよく信じて、ノマドを愛した。カリスは自ら「**ノマド・ニュータイプ**」と呼ばれた。だが、ノマドは革命軍の人間であり、その存在を未来の人間に知らせる者であるものだった。ノマドにこのことを告げようとしてくる、**道化師**と知られと名付けた兵隊は、この物語でのニュータイプが「**道化師の軍隊**」の真面目にどういことを信じてかかっている。

だからこそ、カリスに待つのはたゞ王族の特典、恩恵として利用されるという意識  
ではありえない。カリスの方で組織したワーリアによってフォート・セーバーは失  
う。製造されたカリスはニュータイプ化による後進症を有しながら、力を失  
った結果の罪を背って生きることを選ぶ。かつての強化人間たちが悲劇的な死を遂  
げたに比べ、本作はまるで「生き続ける」ことを通達する。こうした責任の取の方  
に、作品性が色濃くあらわれた場面である。それとは対照的に、ティファをさらわれて  
来るガロードがジャミルに死なされたならもつかなんでは、自分自身の力、たゞ「前  
に帰って来るよ」ということだった。世の常情にも又救いたいそれは、ガロードと  
ティファの愛をまっとうしたガロードにだけ、

大海原へ(16~20巻)

ガローは水平線の方角に回頭した。サテライトキャノンの照準レーザーの光。フ



イラ イマ イロ  
イロイロ イロイロ イロイロ  
イロイロ イロイロ イロイロ  
イロイロ イロイロ イロイロ



● 橋を渡り、ちよ、知る  
● 橋を渡る、ちよ、知る

「フアは悪い所、悪い所アツツと  
ききかす 彼方の地 陸所 洲  
をゆくキ こなたの ー」



の 新選組の服 着入



「スト兄弟」に対しては、上司の  
「ゴットもあくまで捨て駒に過  
ぎない」(24話)



## EPISODE CHECK

リーデンはその翼を翳って鳥へ乗り出す。オルグに運ばれるイルカの群、そして海底から引き上げられた日蓮宗の建造物システム、という2つのエピソードを選び、やはりニュータイプが戦争の道具として利用される悲劇を描いている。システムのコアにニュータイプを生かすパーツとして使われていたという面影的な設定は、連邦において「ニュータイプ」は「兵器として使われる」ということになり、それはまた、ジャミルが「ニュータイプ」を「兵器として用いられたい」ということを望むことと、その意味としてニュータイプが「兵器として用いられる」ということを望んでいるというように見える。

同様にタイプAの他の3位を占めているのが目新しい展開。イルカとのふれあいと  
ルドルフの悪戯を足掛かりとする体験を重たタイプAは、周囲にもしだいに心を開き  
はじめ、これまでよりも心が少しずつ年相応の少女らしさが垣えられようになる。

一役、エニエルとして活躍になるのは、彼女が主演の番外編20話、海神南希セイ  
ンが、バンドに自分の居場所を見つけようとしていたエニエルが、ニヤと出会うエビ  
ソードだが、かつてのミライとカムランのエピソードを連想する。主人公の入団後、  
マイルズの関係が描かれ、やっと家族ともそでせる。ついでにがら、彼女とエニエルが  
ードとティアのデート風景もここで描かれた。

新連邦の影(21~24話)

フロスト兄弟の家とっていた不慣れな空気が新選組という異体として姿を現し、スティーラー上の大きな転換点となる21〜24回。フリーデンにおくられた特殊なカトック・アルザミール大尉、そして新たなガンダムの登場、という緊張感のあふ

ジャミルと対峙したカトクが「15年目の亡霊」と考えたのは、ジャミルが過去に開発された新システム、GXのこと。前大戦でジャミルが経験したGXのもののイメージにした上で、ちなみに本作の放映年は創刊版『機動戦士ガンダム』公開からちょうど40年目。この寓意は、ガンダムというシリーズ自体にその背景は透けて見える。

そしてカッツは過去に決断でずに生きてきた人間だ。戦争で妻子を失った  
 彼から「そ『原因』は『ミュー・イブ』の反応を留めようとしてもない」敵であった  
 はずのカロードが「俺は手に入らない」動をわしつばいに手助けし、その中で撃たれて  
 息絶しはるが、なんと卒に「死に場所を探し」いたような理知的なキャラクターで  
 性らしい。云々、のミッドローに自分「ミッドローは死し、大丈として」israelの手の本  
 ないでいい。

アジアでの激闘(25-29話)

政府樹立を宣言し世界統一に乗り出した新瀬州と、アジアの小国エスカルドとの戦  
闘に関わることになるフリーデソール行。その最悪の最悪で行動してきたこれまでと  
は違い、刺客やイデオロギーが通つかり合うバトル。ウィッツやガロードの能力くら

いでは状況を書きこくことはできず、また主義主張のための戦いを振るっていたロアビィも、女性レジスタンス。ユリナの死に直面して人間の無力さを思い知ることになる。

エスタルドの人物配置では、国家主義ウイリスの死にゲルグスの設定が光る。一戦者のリー将軍に比べると冷徹でもしるしがなく見えるが、領土のためにもっとも必死にしていた人自派。道への帰郷は彼にとっても悲劇の最終だった。「何かをかけて戦うこと」を問う難治した顔の一方で、参謀本部に地位を得たフリスト兄弟は、ガンダム派しの刺客をつぎつぎと送り込んでくる。それは同時に連年のニュータイプ候補者を一掃するというニュータイプへの侵略計画でもあるのだが、このあたりのロジックは説明不足でやや解りにくい。置かれたストーリー展開をよそに、個性的なコンセプトのモデルスーツが次々登場する異質なパイロットたちがいずれもめっぴん人ばかりで、戦争という「リアル」を要求する場面をあえて削りそうとする意志が窺われているかのようでもある。

こうした中で、兄弟の目的も少しずつ明らかになってくる。「カデコリッド」という烙印を押されニュータイプと認められなかった彼らは、世界を手にかけることで私利を果敢としようとしているのだった。ようするに自分を認めてくれないなら全部壊してやる。とらえ方はかなり極端だが、このあたりから見れば始めるキレっ子には先覚者にもなるものがある。

## ガリロード、宇宙へ(30~34話)

30話からは舞台が宇宙へと広がり、前戦争のもう一方の当事者である宇宙革命軍団が活躍していき、地球州間地域による領土圧縮で、描写不足のまま目まぐるしく話を進められていく。コロニーレーザー作戦の展開はあまりに前突すぎたし、Gファルコンを駆るバーラッスの登場もまるで軽い印象になってしまったのがおしい。

宇宙革命軍の拠点は、最終ザイデル、ランスロー、ニコラの3人に代表される。ザイデルの唱える「ニュータイプ主義」には理想の側面が小さくただよっている。ニュータイプによる理想、人類の改革を掲げつつ、サディコンを力づくで排除するそのやり方はアジア圏の新連邦と同一のもの。まったくの過激思想で、そのわりにお題目を真っ当に振っているぶん、彼と軍よりもたちが悪い。ザイデルにとって地球生まれのティファはあってはならない存在であり、全員の戦場ではその嫉妬と、思惑の発露しさが強調されることになった。

ニコラはニュータイプ全滅に希望を見ている。あくまでも純粋な人物といえる。ティファをコロニーに連れ去ったのも、地球からニュータイプを排除するという極端な理想の現れだ。そしてその強欲性が彼らの理想の闇面でもある。

ランスローはザイデルの理想に賛意を持ちながら、考えられた国家の形勢という状況を察すだけで、自分が体のいい広告塔に過ぎないことを痛感している。「涙を流す暇った」むねを思え続け、あのいしさを覚えているだけ完全ではあるかもしれないが、それも結局はニュータイプとして「敵を見た」経験に誘われてのことだ。



まれに白のタイプアを駆って「ロード」は宇宙、宇宙へと飛び出した(32話)



宇宙警察のリーダーでティファはかつての司令官のライバル、ランスローに出会う(33話)



0人のキャノンウイング、リーダーを演じる、高自派の機体操作技能は向上した(34話)



再び見た「コロニーレーザー」宇宙空間の描写はつたないこの作品では珍しい描写力(34話)



戦争を止め、世界をたけどく道に導こうと奮闘するフリスト兄弟(35話)



宇宙への脱出を前に初めに敵を倒す「ロード」とティファ、ふたりの心は離れ離れ(37話)



内コロニーを奪取し、最終決戦を導く「ロード」・「ティファ」・「フリスト」の3人(38話)





現場で幾度も悩まみえながら、初  
めて覚悟で可成り「サビ」とラ  
スロ。38巻



自給自足が図る一戸タイプの真実 古く時代はよくやく” 時を越えた 30 年)

[illegible]

あむたらしい寝顔ながらも、誰もがニュータイプという概念に驚かされている結晶  
像はうまく表現されている。だからこそ、ガロードのタイプA救出成功にまつとする  
開拓感がともなう。

月 22 日 (星期四)

「『戦国無双』は、今までの『戦国』ゲームとは一味違う。とにかく、ふたたび全戦争の面白さをおさるとして、歴史に忠実なゲーム。『戦国無双』のリーダーとして両雄争うか、はたまた手始めに天下統一を目指すか。プレイヤーは、プロレス元祖の雄の如きが、すべてを握っていると云い、それが、

見、月には「ニュータイプ」を呼んでいたファースト・ニュータイプ。人類史上初めてその力  
で宇宙空間に居る能力を失い、遺伝子レベルのデータに分解されて星域に散らされ  
ていたが、その精神はなおも存在しており、月に落ちた全員に刻みこめる。ニュータイ  
プによる人の革命というビジョン、それはただの「幻」でもちろん、このニュータイ  
プという思想がまやかだと述べているにすぎない。ザイデルの「ニュータイプと  
魂」はもちろんだが、ニュータイプになにかの価値を託すまづともうひとつ、そもそ  
りだということだ。ニュータイプというラベルで呼ばれた存在は、ただ天賦的才能  
に超能力を持った個人にすぎない。明日を主宰する力はあくまで人の意志であり、  
ニュータイプの存在でそのものではない。まして、主権を多くせよといふものに似っ  
ているだけでは、未来は見えてき出しえない。D.O.M.E.は、人として生きたというフ  
ァンに、「ニュータイプという言葉を捨ててしまえ」と告げる。

いまでも多く手塚治郎ガンダムにおけるニュータイプの全否定である。この論調がコアシリーズファンの間でも人々の心にも当然かもしれない。『勇者特急マイトガイン』『勇者警察ジェイデッカー』『黄金勇者ゴルドマン』などの勇者シリーズも手がけた監督・手塚の代表作では、物語に物語外の視点、作品に作品世界を託して込んでしまっている「メタ」手法は、シリーズに心を寄せてきた者にとっては皮肉に感じない。それならばなお、ガンダムという作品の精神を意味するのだから

過去にとらわれず、常に未来は創れない。メッセージとしては明解で、このように正しいしかしそれによって「データ」と「コース」が過去に蓄積してきた枠組みにあるからこそ読者の心にとどく。一見競争をなさぬかのような「プロローグ」を後編として「過去・ Gegenwart」道徳させる「ジュエーション」や博覧が多用されたことを考慮すると、おのずかでは読者の「コース」も見えるし、それがこの「過去」行のおもしろい点である。

「しかし、本作が『Vガンダム』から、『Vガンダム』も存在しなかったらどうなるのか」  
 だろうか。シリーズとして進めようとするのを保ちながら、物語として軽々と過去と決  
 別させたあの作品は、本当に日本制作者たちの渾身であったようにも見える。



# THE DESIGN WORKS OF GUNDAM

The New World FUTURE CENTURY/AFTER COLONY/AFTER WAR

## ●Episode1~3 各話設定 メカ

## ネオシャバン GF13-017NJシャイニングガンダム

ガンダムファイト第13回大会用に、ネオシャバンGF製造会が“キング・オブ・ハード”ドモン・カッシュに託したモビルファイター。格闘戦を主眼とした機体設計がなされ、ドモン専用の機體となっている。ビームソードを用いた剣技、腕のシャイニングショットなど武器が充実した機体である。ミカム博士が開発した、パイロットの感情をエネルギーに変換するシステムを有し、その能力によってバトルモード、そして腕の継ぎであるスーパーセードへとその形態を変形させて行く。

## シャイニングフィンガー

シャイニングガンダムの金剛性使用時の手の変形パターン。特殊な液体金属をつかった富士スズキーを、手の基礎部分から噴出させ、握込んだ拳手を形成。

## モビルトレースシステム

パイロットの動きを機体へ伝入、また機体の位置をパイロットへフィードバックさせるのび、MFの遠隔システムである

## コアラクター

ネオイタリヤ GF13-055NI  
ネロスガンダム

ネオイタリヤがマフィアのボス、ミカロ・チャリオットをパイロットへ選出したガンダム。戦艦の機体を活かした重たい機動性、腕と足とを組み合わせて發つ、必殺のビーム武器「雷光の翼」など、空を飛ぶや中距離での戦闘であってもバランスの取れた高い攻撃力を持つ。

## エアバイク

ミカロ配下のマフィアのついで機。主に使用するエアバイク（一般には反重力動力だとも言われているが）。

## エアカー

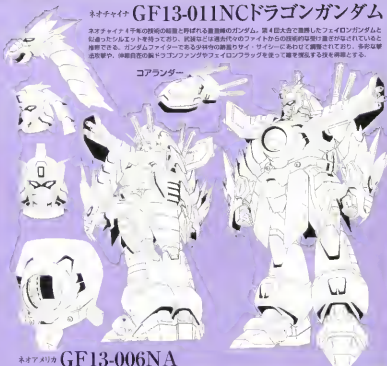
エアバイクと似たデザインラインをもつ、ロープ作業でもエアカーを使用して、コアラクターと連携の能力で移動しているようだ。

## コアラクター

## ネオチャイナ GF13-011NCドラゴンガンダム

ネオチャイナ1千年の技術の結晶と呼ばれる最新鋭のガンダム。第4回大会で登場したフェイロングガンダムと似たようなシルエットを持っており、両機とは異なる中々のファイトからの両機同様の姿と姿となっていていとと推察できる。ガンダムファイターである少年の姿とサイ・サイシーにあわせて調整されており、多岐な部分攻撃や、伸縮自在の腕ドココフファンングやフェイロングフラッグを使って敵を弾圧する技を得意とする。

コアラランダー



## ネオアメリカ GF13-006NA ガンダムマックスター

機体は最新型を基にした最新鋭のガンダム。コロニーボックスガンダムに似て、チボデー・クロケット等所蔵らしく、ボクサーモードへ変形したときの複雑なフットワークと強靱なパンチ力は、これこそマックスターの目と鼻を突く点である。

シールド



## 第1話 「Gファイト開始! 地球に落ちたガンダム」

ついに第1回ガンダムファイターが開催された。コロニー格闘技の覇者、キング・オブ・ハートの戦士を持つネオジャパンのGファイター、ドモン・カッシュ。ネオイタリアのGファイター、荒くれ者のミクロ・チャリオットのネロスガンダムと初ファイター、ミケの銀色の脚にドモンはシャニングフィンガーで勝利する。ファイト中、ある男の写真を見るドモンの秘めたい行動とは……?

## 第2話 「喰れ! 夢を掴んだ必殺パンチ」

ボクシングの試合前に対戦相手を倒し、挑戦者になりまして、ネオアメリカのGファイター、チボデー・クロケットに挑戦状を叩きつけるドモン。ファイトの日、チボデーのガンダムマックスターは必殺バーニングパンチを撃つが、暴走とシャニングフィンガーに受けとめられてしまうのだった。

## 第3話 「倒せ! 魔人ドラゴンガンダム」

追放されたドラゴンガンダムを奪い返すため、ドモンを操り利用するお獅子子。彼こそネオチャイナのGファイター、サイ・サイシーだった。ファイターならば尊敬しないとファイトを挑むドモン。だが天才児サイ・サイシーは、シャニングガンダムの首筋に刃を突き立て、引き分けて持ち込んだ!

## 第4話 「いの勝負! 真紅のバラの貴公子」

ルール違反を承知で1対1のガンダムファイトの間を割って入り「なんだったら入りがかりでいいぜ」と言うドモンは、そんな野蛮な行為を嫌うネオフランスのガンダムファイター、ジョルジュ・ド・サンドだった。マリアルジェの楽園にハマり、ドモンと騎士道武士道の一戦打つを行う。

## 第5話 「大脱走! 囚われのガンダムファイター」

ネオロシアのGファイター、アルゴ・ガルスキーは元宇宙海兵。部下を人質に取られ、戦うことを強制されている。アルゴと接触するため収容所に潜入したドモンは、彼と脱出計画を立てる。ファイトのあとの最後のドモンの「俺も囚人なんだ……この地球という名のリングの……」というセリフが意味深。

●Episode 1~3 各話設定 キャラ

本オシヤバン ドモン・カッシュ

北沢・東方不敗を置く。戦時代のキング・オブ・ハート。32年間の戦術の華でニコロ・パグーリの戦術となり戦術士とき。戦術士は死に、兄はガンダムを奪って逃亡。父は市井となりていた。そのせいかどにか心を弱した戦術士を見て、再び戦術士を奪取。人と戦えるのが下手。父の汚名を拭きため戦術士にガンダムファイターとしてガンダムファイトに参加。MFシャイニングガンダムを奪取。兄・デビルガンダムを倒す。戦術士を倒す。

(附: 2007年11月)

$$= \frac{\pi}{2} \quad (1)$$

**キング・オブ・ハート**  
つねに時代の影から、世界の  
戦争の歴史を監視し、操  
制してきた悪魔集団、シャ  
ッフル同盟リーダーの面

(声 淳久井雄三)

## ネオジヤパン レイン・ミカムラ

既述でありながら、メカニック技術としての腕も持っているスーパーウーマン。さらにトモン・カッシュの幼なじみであるため、ガンダムファイトでの彼のパートナーを務める。父はシャイニングガンダムの開発者、ミカムラ博士。幼い頃からドモンに強い悪心を抱いていたようである。

（声：天路浩气）

## ネオイタリア ミケロ・チャリオット

第6回大会での健闘以来、長くトップの座から離れてしまっているネオイタリアが、再起をかけて送り込んだ最強格闘家達のガンダムファイター。じつはローマ市を牛耳るマフィアのボスで、その脅威に敵を翻れて自らの代役ガンダムファイターとなった男。最終で敗退するも、EG組織の力を受けてより誇り高みに復活。

ベルチーノ賞  
6月10日開催

ローマ市警の刑事 ミケロの面識を  
検察したいのだが、彼が国の代表と  
なってしまう手がゆせをいっている。

## ストーカー

暴徒の前髪を行う、言わば水先案内人。家の「レティーゴ」の味方陣である。そのガンダム。



(声・秋元幸介)

## ネオアメリカ チボデー・クロケット

ダウンタウンの風情から、100歳100歳のコロニーボクシングチャンピオンへと上り詰めた、アメリカの希望の星。ガンダムマックスターで宇宙へと立ち、再びアメリカンドリームを体験しようとする。



(声・大塚芳雄)

## 少年時代

母と別れ、幼少時からコロニーワークを身につけて走り回ってきた。



## チボデーギャルズ

右からキャス（豪華船長）、シャリー（リーダー）、シャネット（スカウト）、パニー（ボクシング）の4人組。近で不遇をやっていくことをチボデーに認められガンダムファイトのクルーとなった。



(声・山口真平)

## ネオチャイナ サイ・サイシー

大半の経歴がコロニーにある分派竹類等に所属してしまっただけの要領。地球の少壮者を育成するためのファイターとなった華南流着16歳の少年。豪快の天才だが、それ以外は、後3も後4回の代価ファイターなので。

## 恵雲と瑞山

共に少壮者の高僧で、サイの祖父の代から少林寺にいた。サイ、サイシーの母の親類ガンダムファイトクルー兼の師匠。言う事を聞かないサイに手を焼き、日々目黒と近く。



## 黒龍団

ネオチャイナの山脈に集う、軍の黒龍団。戦型エアバイクを使用するが、どんなことからトラゴンダムを手に入し、さらに悪事を働くが、サイ・サイシーに捕らわれる。

## 第6話

### 「開えドモン! 地球がリングだ」

ドモンがなぜガンダムファイターになったかわかる。ネオジャパに政府の行ったテストにより、仮想現実世界の中、兄コウジの死の行動を目のあたりにするドモン。その怒りは虚無のパワーとなりスーパーモードを発動させる。幻覚のデビルガンダムを相手にシャイニングフィンガーソードを手に「面! 面! 面!」と打つドモンの姿が驚く。

## 第7話

### 「来るなら来い! 必死の逃亡者」

病に犯された族を救うため、国の代表という名を捨て逃亡するネオメキシコのGファイター、チコロドリグス。ドモンは「族のために生きる」と言い、チコロドリグスを倒した。それによってGファイターであるチコロは死に、兄は族に救われるのだった。

## 第8話

### 「仇は討つ! 復讐の宇宙刑事」

ネオカナダのGファイター、アンドリュー・グラハムは妻の仇であるアルゴを討つためドモンに助力を申し込むが、ドモンがそれを拒否。拒否されたグラハムはレインを盗取られ、連れさらされたレインを助けるため「シャイニングガンダム」の首を「い!」とまで言うドモン、ついにどんがらもレインを大事に思っている。ドモンの本当の心が少し見える。

## 第9話

### 「強敵! 英雄チャップマンの挑戦」

過去Gファイト三連覇を達成したネオイングランドの英雄ジェントル・チャップマン。だが男あの手で地獄のファイター達を倒していた。それは、彼の病を知る妻のマンとて仕掛けていた果だったのだ。だがドモンとのファイト中、精神強化剤が切れてしまい敗北と同時に、戦士の誇りと、死を受け入れる。

## 第10話

### 「恐怖! 亡霊ファイター出現」

かつてサイ・サイシーの祖父が無ししたネオエジプトのダハール・ムハマドがファラオガンダムIV世と共に現れ、ドラゴンガンダムに戦いに挑む。なぜミラになってまで戦おうとするのか。その戦いの執念とはなぜか? 事件の陰にデビルガンダムがいるとつかんだドモンは、死すに経緯してD6艦船で再生し始めるファラオガンダムIV世を倒す。

## ●Episode4~11 各話設定 メカ

## ネオフランス GF13-009NFガンダムローズ

## ローゼスピット

隆乗乗の精神に感応し、常時自在かつ攻防一体の機動をもつ万能兵器ローゼスピットを搭載した凄美なデザインをもつ、ローゼム・ビット本体。あるときはバリア、あるときは拳を打撃する関節スットなどとして機能するが、最も得意とするのは、強力なバリエーションと合わせ、強い攻撃力をガンダムローズは持っていること。しかしガンダム本体、そしてファイターのジョルジュは格闘戦向きではなく、格闘技を主眼としたこの時代のガンダムファイトでは苦戦を強いられる。

## コアラランダー

ネオロシア GF13-013NR  
ボルトガンダム

ネオロシアは他隊のガンダムを奪得し、研究する態度を持っていた。そのためファイトに勝ち取ると同時に、乗員の搭乗を取り入れたガンダムを開発できたのである。ボルトガンダムもそこから生まれた機体で、攻撃を寄せ付けないブレイク装甲の下にはビクトールエンジン（シェネル）を駆動させており、あるべき出力を発揮する。主武器のグラビットハンマーは単機打撃兵器だが、そのパワーで言うことで必殺となる。

## ネオキューバ

GF13-083NCB  
アラクノガンダム

ネオキューバが送り込みにガンダム。一見すると近衛隊の機体だが、機中には彼を討つる6本のダグナムスラッガーを持つ、強力なトポローグがメインの武器である。ガンダムローズとの初戦でシャイニングガンダムに倒れ込まれ、倒れた。

## ネオメキシコ

GF13-049NM  
テキキラガンダム

水中戦を得意とするネオメキシコのガンダム。関節のフィンを展開させ、巨大な渦巻きを発生させ、ビームトライトントで止めを刺す。だが、ガンダムファイターであるデコ・ロドリグスの道に、予備で倒れしめ敗退。

## ネオトルコ

GF13-052NT  
ミナレットガンダム

旗幟であるセリット・ギューゼルがロロ機動に倒されてしまい、機動的な復讐能力を付加された。だが肉肉の機動を得意とし、機動に恵まれるハメになる。

## コアラランダー



ネオティターン

## GF13-003NEL ジョンブルガンダム

ガンダムファイブ集、10、11回の三連戦を差し通げた。ジェントル・チャップマンの機体。戦艦甲で、遠距離からの攻撃戦を得意としているが、ガンダムファイブの腕力の凄さに耐えられず、最終戦にも対応できるチューンがされている。



MS  
カッパ  
チャップマン  
の事マシカ、  
夫を倒さざる  
ための秘策した  
支援機

ネオティターン

## GF13-051NE ファラオガンダムⅣ世

カウラー・ラムゼスが乗るネオエジプトのガンダム。特徴がないのが特徴で、ネオライオンに奪われて改造。



ネオエジプト

## GF4-001NE ファラオガンダムⅣ世

第3回大会優勝機体の第4回大会仕様。闘いへの意志をDG細胞に付け込まれる。



ネオカナダ

## GF13-037NCA ランパーガンダム

ネオカナダ代表アンドリュー・グラハムの機体。ポルテガンダムに匹敵するパワーと速さのガンダムである。しかし威力以外に決めるがなく、主武器も2本のアックスという他流なもの。



MS  
ベスカ  
スオモミコ  
が使用する  
ネオティターン  
の機体  
な武器が厄  
災しているの  
が特徴。



ネオエジプト

## アルティメットガンダム

ドモンの父、ライオンの貴士が、ガンダムファイブ期MFという名目で開発したのがこのアルティメットガンダムである。しかし暴走の出来の秘策は、自壊する金剛鋼による三大関節破壊。自己進化。自己再生。自己増殖を用いて、汚染された地球を再生することになった。



## 第11話

### 「雨の再開……フォーリング・レイン」

ネオトルコで再会した。大空時代の恋人セイト・ギュセルがDG細胞に侵され、暴れていると知ったレイン。彼は同時に街を破壊した犯罪者として追われていた。レインに逮捕されていたセイトは、ドモンとレインを巻き込むまいと、ミナレットガンダムを起動させる。だが「デビルガンダムに関わった人間は許さない」と、ドモンはシャニングフィンガーでDG細胞ごと焼く。

## 第12話

### 「その名は東方不败！ マスター・アジア見参」

新晋シティにやって来たドモンとレイン。戦艦と化した新晋で謎のMSに襲われる。そのMSを素手で破壊して、危機を免れたのは先代のキング・オブ・ハートにしてドモンの師匠、東方不败＝マスター・アジアだった。デビルガンダムの腕手がここにも伸びていることを知り、住居を焼くため新晋とともにデビルガンダムと取っ決着をするドモンだった。

## 第13話

### 「大ピンチ！ 敵は5大ガンダム」

東京タワーから発せられる救助信号をうけ、生存者の救助に向かうマスターとドモン。しかしそこにはDG細胞に感染したデボデー4人のライバルが待ち構えていた。ドモンの危機を救うためレインがファイティングスーツに身を包みシャニングガンダムを乗る。そこへ巨大な角の黒いガンダムが登場した！

## 第14話

### 「衝撃！ シャニングフィンガー 敗れたり」

レインはマスターが事件の黒幕でありデビルガンダムの仲間であることを知る。その事実をドモンに伝えるが信じようとしな。だが正体を現したマスターの「神龍に成りたいという黒幕」に動揺するドモン。その頃、天理より4人のシャッフル同様に飛来したのだった！

## 第15話

### 「戦士の称号！ さらばシャッフル 同盟」

かつての仲間、マスターアジアを救済するため飛来したシャッフル同盟。彼らはデボデー達が敵軍の操縦者であることを知り、自らの命を引き替えに彼らをDG細胞から解放する。ドモンはスーパーモードを発動させ、己の病を事にこめ。マスターへ打ち込むが魂の事は修復は届かなかった。

## ●Episode4~11 各話設定 キャラ

## ネオフランチ ジョルジュ・ド・サンド

騎士道を重んじ、正々堂々とした闘いを尊ぶとしており、自衛のためではなく他者のため、誰のために戦い戦うという、地味な志士気風な性格。その生真面目な性格ゆえ、自分を曲げ込むこともしばしばであった。とくにマリ・ア・ルイゼとのかつねな恋愛(?)関係では真面目だった。

## ネオフランチ マリ・アルイゼ

ネオフランチ元帥の貴女だが、おてんばで世間知らず。かつ気が強いという貴族のお姫様。ジョルジュのことを好きなのだが、真実の立場を察するジョルジュにはぐらぐらとされてばかりいる。

## ネオキュベール フランク・ガストロ

内閣的な立場の貴族。ファイターで、ドモンに負けたまわりで戦った記憶を消し、真実にはマリ・アルイゼを保護しようとするが、またドモンに一度殺されてしまう。

## ネオフランチ レイモンド・ビショップ

名門貴族サンド家に代々仕えてきた優秀な戦士。じつはジョルジュに裏切られたのも、おしめを誤えたのも原因であった。

## ネオキュベール シーナ・ロドリゲス

## ネオキュベール チコ・ロドリゲス

貴族に賣された貴族のファイターであることから見て、貴族に買収しようとした。

## ネオロニア ナスターシャ・ザビコフ

ネオロニア皇女にして、ガンダムファイトチームの監督。非常に性格だったが、ドモンやアルゴたちと融合していく中で貴族の一面が弱くなるようになっていった。

## ネオキュベール ダハール・ムハンマド

ネオエジプトを世界の覇者にした英雄だったが、ネオ・チャイナに倒された前みからミラ男として復活した。

## ネオロニア バードマン

ネオロニア元帥。通称「ガンダムの暴君」といわれる。どうやら暴君のガンダムファイターだったらしい。その正体は未だに不明。

## ネオロニア アルゴ・ガルスキー

元宇宙海軍のボスにして、現ネオロニア軍人でガンダムファイター。裏面で不良行状。一見悪者だが、賣られた海軍仲買を食うためのガンダムファイターとなっているなど、仲間思いの優しい一面を持っている。

(原・横尾吉)

(原・中津隆)

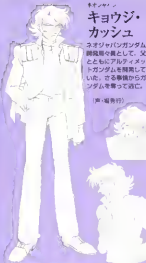
(原・河野武)



キョウジ・  
カツシュ

ネオゼパングダム  
開発局々員として、父  
とともにアルティメッ  
トガンダムを開発して  
いた。さる事情からガ  
ンダムを奪って逃亡。

[宣·編委聘]



## ミカムラ博士

レインの父にして、感情エネルギーシステム開発者。カッシュ博士とは古くからの友人でライバル。  
[声:倉田安事]

〔聲〕清,非,見母

ジェントル・  
チャップマン

かつてのネオイングランドの英雄。だが度々なるファイトから病に侵されており、精神強化剤を服用しないとファイトができないほど衰弱した体になっていた。

3/12

チャップマンの妻。同姓兄弟でチャップマンを演舞する誘った肉欲の功をこなす。

## ライゾウ・カッシュ博士、ミキノ夫人

アルティメットガンダム及び、自衛隊員候補三大理論教師の研究者であるライゾウ博士。ドモンとキョウジの父である。ミキノは、学者などではなく専達の強い気風だったが、キョウジ通での間、彼を助けて彼を救われて死亡してしまう。



【声】 常四娘哭

ウルベ少佐

ネオジャパン員少佐にしてガンダム開発院責任者。カッシュ博士のアルティメットガンダムに賛同。これを利用し、宇宙の覇権を握るため謀略する、すべての悪魔。

セイト・ギュゼル

元レインの恋人  
だったが、DG  
病院に感染して  
しまい、心の傷  
を突かれ治療  
を強いられし  
てしまう。レス  
リング隊が再  
登場。



## カラト委員長

ネオジャパン ガンダム  
ファイト委員会委員長。  
ウルベらの推薦を受けて  
ドモンを代表にした。そ  
して優勝の手前で高橋の  
機を撃っていた。



アンドリュー・  
グラハム

アルゴを機軸として描き進め、彼と闘うための自分を鍛え上げた機軸の機。



第16話  
「最強最悪! デビルガンダム現わる」

チボデら新生シャッフル同盟の5人は、デビルガンダムと共に再度戦ったマスターと対決する。さらにネオドインの無面ファイター、シュバルツ・ブルーダーがガンダムシュビーゲルでドモンを援護する。しかし怒りのスーパーモードのエルギーを吸収し、デビルガンダムはキョウの意志とともに復活する。

第17話 「対決! 謎の悪面ファイター」

戦いに敗れたジャッパル両腕の首々は失態の責を転嫁す。後には、ドモンはスマターが誘われてはいるだけと信じ込み、彼を匿すつもりでメデビルガンダムを盗う。だがスマターはそんなドモンに裏を張る。激憤のまゝ戦いを挑むドモンに対し、己の未熟さを責め付けようとジャッパルはガンダムシブエルでファイトを仕掛ける。己の腕の未熟さを知ったドモンはかつての修業の地、デナラ進地へ向かう。

第18話  
「必殺技を盗め！  
美女軍団の大作戦」

DG細胞の恐怖に怯え、自信を失ってしまったチポデーを元気づけるべく、シャイニングガンダムにデータを盗もうとするチポデーギールズ。眼前に恐れを感じていたチポデーも再度敵艦を襲むドモンの姿を見て再び闘志を燃やしファイトを申し込む。ファイトを通じお互い新たな強さを身につける。

第19話  
「激闘! ドラゴンガンダム対  
ボルトガンダム」

修羅にはげむドモンを助う様に、アルゴやサイ・サイシーたちもギアナ高地へ襲撃してきた。表面上は明るく装っていても、デビルガンダムへの恐怖に取りつかれていたサイ・サイシーは、アルゴとのファイトの中で、戦いに挑める気迫を学び、己の未熟さを知る。

第20話  
「ジョルジュよ、悪夢を打ち砕け！」

かつて、ネオプランスの代表選手決定戦でジョルジュに敗れたジャン・ピエール・ミラボーが、D9艦隊に感染した体でジョルジュに復讐戦を挑んできた。ジョルジュはデビルガンダムの幻影に怯え、弱くなっていったが、自ら重となりミラボーガンダムから主を守るレイモンドの姿に、ジョルジュは再び騎士としての誇りと戦う勇気を取り戻す。

## デビルガンダム 第2形態

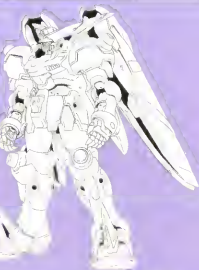
カウシヨ博士によって「地球再生プロジェクト」を輸入されていたアルティメットガンダムが、キョウジを集めてコロニーを救出。大気圏再突入時のショックで壊滅し崩壊不能となり、以降「デビルガンダム」のコードフォームで呼ばれることとなった。状態に不詳らしい。一説にまた機体を自己再生したと伝わる。四次元ガンダムの様にガンダムの上半身を壊れたような形に再生したこの新デザインで復活し活動再開したが、彼が地上に二形態と改められているものである。その自己進化の真実じきには、同じ機体によりデスアーミー一機団を壊し、それを再び体内に取り込んで破壊するという、永遠絶滅的な機能を持つに違ったほどである。



ネオホロン

GF13-001NHII  
マスターガンダム

デビルガンダム四天王のリーダーにして、東方不敗マスターアジアの乗機であるマスターガンダム。これこそは、ガンダムファイト最終10回大会優勝。クーロンガンダムがDG編劇により変化した姿に似ていない。真中の巨大なウイングは、マントに似て開いて全身を覆うことができ、いかなる攻撃からもその身を覆うことができる。



ネオトイ

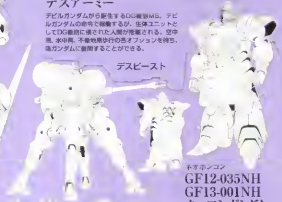
GF13-012NG  
ガンダムシュピーゲル

元々はガンダム系兵器を盗めたシュバ(シグ)選手用として開発されたネオトイのガンダム。シュピーゲル(鏡)という名のとおり、まわりの環境に色を染め込ませる鏡れ身の特性、二刀流(シュピーゲルブレッド)、分身、手裏剣(メッサーダラング)などを駆使する。心相図は体を制御させて攻撃するシュツルム・ウインド・ドラゴン、遠距離特攻機と称されていたが、本来のバリエーションが失われ、DG編劇クローンとなったキョウジが乗り替わった。



## デスアーミー

デビルガンダムから誕生するDG編劇MB。デビルガンダムの命令で稼働するが、生体ユニットとしてDG編劇に壊された人間が搭載される。空中戦、水中戦、不意地無効の各オプションを持ち、偽ガンダムに敵対することができる。



ネオホロン

GF12-035NH  
GF13-001NH  
クーロンガンダム

東方不敗が第12回大会優勝時に使用していた格闘型ガンダム。機体中から機体かつ素早い動きが可能。DG編劇のバリエーションマスターガンダムへと変化する。

## デスネビー

## デスドラゴン

## デスマスター

## 基本形態

## デスパーディ

## コアランダー

## MFシャッフル・ジョーカー

シャッフル開始の中では唯一の特殊形態MF。その翼から光の翼を打ち出し、敵を撃つという技を使う。女性リーダー、ブラック・ジョーカーが変身する。



## MFシャッフル・スピード

俊敏性とナイフ技の名手。クイン・ザ・スピードが変身するMF。スピード型の飛行ユニットから人型に変化。掌から多数の光のナイフを射出する技を使う。

## MFシャッフル・ダイヤ

ダイヤ型から変身する。シャッフル開始の参謀団ジャック・イン・ダイヤ隊長。火炎が武器。



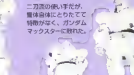
## ネオボーランド GF13-073NPO ガンダムマグナード

手裏ナイフ(バリエーション)にて、ガンダムローズと対戦するも、破壊されずに救助した。



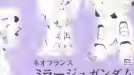
## MFシャッフル・クラブ

参謀の選入らしい人形。クラブ・エースの部隊長。一時的に正体を知り、真の入口機と自己主張を表明する。クローバー型の飛行形態から、人型機体へ変化する。



## ネオモ・ゴル GF13-053NMO テムジンガンダム

二刀流の使い手だが、機体自体にとりたてては特長がなく、ガンダムマックスターに敗れた。



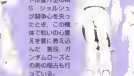
## MSノブッシュ

新機軸でデスアーミーと戦う部隊に使用される重戦力機。半機体は鉄だが、重は鉄製でこそその威力を発揮する。



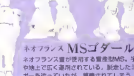
## MS/トララー・ペンシナム

ザント軍の機体。レイモンドが帰還するバンドル艦内OM S ショルシが競争の失ったとき、この機体で戦いの意思を表明した。最終、ガンダムローズとの戦いの犠牲者となっている。



## ネオフランス ミラージュガンダム

ネオフランス代表決定戦で「マルセイユの戦い」を戦った。OG機体に変えられ、ショルシに敗れた。



## MSノブッシュ

新機軸でデスアーミーと戦う部隊に使用される重戦力機。半機体は鉄だが、重は鉄製でこそその威力を発揮する。



## MS/トララー・ペンシナム

ザント軍の機体。レイモンドが帰還するバンドル艦内OM S ショルシが競争の失ったとき、この機体で戦いの意思を表明した。最終、ガンダムローズとの戦いの犠牲者となっている。



## ネオフランス MSゴダール

ネオフランス軍が使用する重戦力MS。宇宙や地上で広く運用されている。設計したミラージュを捨てていたが、奪回されてしまう。



## 第21話 「決戦迫る! タイムリミット3日前」

ネオ香港決戦大会が3日後に迫るが、いまだ修業を終えていないドモン。そんなドモンにシュリッツは明確止水の心を与える。海・空の3タイプのデスアーミー軍団と新生シャッフル同盟とのバトルがはじまる。修業未完成のままマスターと闘うこととなったドモンにシャニングガンダムを渡そうとレインが再びファイティングスーツを身にまとう。

## 第22話 「戦士の絆! デビル包囲網を突破せよ」

決戦大会に出場するため、デビルガンダムが包囲するギアナ高地を脱出するシャッフルの面々。戦で倒れたレインと「ガンダム」の修業が終わったドモンと約束するドモン。しかしドモンはマスターとの決戦を逃げるため時限を先に倒れさせ、さらにレインとの約束を破り、ひとりこの場に留まる決意をする。

## 第23話 「宿命の闘い! ドモン対デビルガンダム」

デビルガンダムの出現に驚きのスーパーモードで戦いを挑むドモン。だが反響の橋を知らず危機におちる。死を覚悟したその時、明確止水の心をつかみ、真のスーパーモードで発動! その圧倒的なパワーでデビルガンダムを破壊し、マスターを追い込んでいく。だが、シャニングガンダムの力は尽きてしまった。

## 第24話 「新たな輝き! ゴッドガンダム誕生」

熟念の先と化したマスターは力尽きたシャニングガンダムに願いかけられ心を解放。シャニングを捨て、ネオジャパンコロニーから送られた新型機ゴッドガンダムに乗り込むドモン。レインは敵軍情報装置を使ってデータを移植。ゴッドの起動に成功する。一撃でマスターを倒したドモンはネオ香港へ向かうが会場目的、四体の機体ガンダムに遭遇する。

## 第25話 「決戦開幕! ガンダムファイター大集合」

第13回ガンダムファイト・ネオ香港決戦大会が開催された。そこで待っていたのは、ドモンとファイターに敗れ、参加資格を失ったのはミクロとチャップマン。そしてアナ高地で倒したばかりのマスター・アジアの姿だった。誰がうさまく開幕式で、巨匠百鬼の機体を前にドモンは全無業を叩き付ける。

## ●Episode 12-23 各話設定 キャラ、その他

## ネオホンコン 東方不败 マスター・アジア

王族の風の暴走、東方不败の暗殺。そして第12回大会の最前夜。争ひ戦を始めた。自々の争ひの後は、A.D.の戦闘力を消滅する。世界の戦いの均衡を壊すチャップリンの惨状でガンダムファイトに参加するが、それによって反戦してゆく地球環境を悪い、デビルガンダムを手に入れ地球再生を行うため、人類再生を企てる。

(声・松本幸吉)

クラッシュ  
コクピット

マスターアジアとの決闘で、シャイニングガンダムは胴体を壊され、ドモンのいたコクピットも破壊されてしまった。

## ドモン・カッシュ スーパーモード

己の内面から暴出する怒りに身を任せ、感情を爆発させることで、シャイニングガンダムへエネルギーを供給し、物理攻撃スーパーモードを発動させた時のドモン。全身が赤く輝き、悪魔のような形相へと変化している。

## 少年ドモン

更紗出て、マスターアジアの元で争ひの最前夜にたった1人の少年ドモン。おそく12〜14歳くらいだろうか？ まだまだがやっぱいど様な美少年を思っている。争ひの後はこの時点でもう出ていない。

## ゾンビ兵

新機シグマの人々がDG細胞に感染し、取り込まれてしまった者。全体ユニットとしてデスアーミーに組み込まれている。

## デビルガンダムに操られる4人

マスターアジアによってDG細胞を植え付けられ、手先となってドモンを追いつめた。このときの組織が4人のDにデビルガンダムへの忠告を植え付け、トラウマとなった。まう

シャイニングガンダム  
スーパー・モード

兵器の装甲所を開放し、冷却効果、照準性をアップしたシャイニングガンダムの真の姿。感情エネルギーシステムの暴走りを象として発動する。お敵はDファンガンゾード。



## ネオジャパン GF13-017NJII ゴッドガンダム

決闘大会用として開発された最新鋭機。機体工  
ネルギンズシステムを習得し、高エネルギーに  
変換するエネルギーミルドルドライバーを装備す  
るなど、先代機ツインゴッドガンダムの設計基

準をより強化させたガンダム。  
ゴツゴツした外見に比べ、  
流れるような機体ラインが特  
徴。必殺技は燃熱ゴッドフィン  
ガー。



コアランダー

燃熱ゴッドフィンガー



ネオジャパン

### ブットキャリアー

ガンダムを輸送するためのボット。  
移動用トランスポートも兼ねるが、  
ドモンなどは使用してなかった。  
今は廃棄廃止工場にもなっている。



廃棄後のドモン・カンシュ

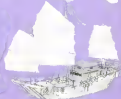
### ハン老人・ミンとホイ

ネオ連邦に住む一妻。海に落ちたドモンを  
助けたことで、彼の最期までの犠牲を償済  
ることになる。彼人らしく人生経験が豊富  
なので、ドモンに教訓を与えていた。



ジャンク船

ハン老人らが住んで  
いる船。ネオ連邦に  
はこういった水上生  
活家が多いようだ。  
ドモンもここで  
世話になっていた。



アナウンサー座

決闘ラウンドを  
実況中継する「  
V観(?)」のアナ  
ウンサー。往々  
のブロッレスのよ  
うな無礼言を  
聞かせてくれた

(声・松井愛知)



ガンダム時計



ネオオジン

## ウォン・ユンファ

ネオ最高責任者にして、ガンダムファイター育成委員長。腕の黒虎がその名を、本體でのルールになる機動性力をもっている。デビルガンダムを持って、地球圏を永遠に支配しようとしている。



ウォンの浮遊イス

(声: 高木実一)

## ネオイド GF13-030NIN コブラガンダム

コブラヘッド(毒)が搭載され、高型のバーボンドを駆する半蛇型ガンダム。下半身の蛇首は分離して、顔に巻く。顔につけたりできるポートユニットになる。顔は蛇頭は口から吐き出す火炎放射である。



ネオイン

## チャンドラ・シジーマ

ネオインの代表。コブラガンダムのファイター。常に巨大な毒蛇コブラに乗って行動しており、滅亡前のドモンの風説をスパイ活動していた。



## ネオギリシア GF13-002NGRゼウスガンダム

ゼビウス・ルー・ハーキュリーが引く戦車(チャリオット)を模り、ゼウスカリバー(雷)とイカヅチハンマーで武装した豪傑型機。MF、熱のガンダムたちよりも一握り大きい機体を持っている。秘製では、そのパワーと強さで、ゴッドガンダムを一躍してしまった。



## 歴代ガンダム



## 第31話 「ピエロの幻惑! 怒れガンダム マックスター」

ネオボルトガルのロマリオ・モニーニは、ピエロの姿をし、ピエロ屋のジェスターガンダムを操り、対戦相手の技を同時にコピーするファイターだった。対戦相手となったデボデーは、幼い頃のトラウマからピエロに強い恐怖心があり、暴発されている。その時、島の歌ってくれた子守唄を歌いはげますデボデーギルズ。再び立ち上がったデボデーは見事ジェスターガンダムを撃破する。

## 第32話 「危険な宴! ネロスガンダムの 大逆襲」

シャッフル何章に次々と原因不明の事故が降りかかる! 裏で何者かの陰謀が渦巻いているようだ。そんな中、ついにドモンとミケロのファイト始まる。優勢にファイトをすすめるドモンだったが対戦中、黒幕の中から巨大な鳥型ガンダム、デビルガンダム四天王、ガンダムヘブンスノードが現われたのだった。

## 第33話 「地獄からの使者! チャップマン復活」

ドモンによって予言で死亡したはずの偉大なファイター、チャップマンがDG施設に襲われ、殺し屋となって復活。ミケロが影で策謀を巡らすジョルジュとチャップマンの対戦。またも黒幕のなかから、謎の巨大獣型ガンダム、四天王ランドガンダムが現れる。

## 第34話 「立てドモン! 嵐を呼ぶタッグ マッチ」

ネオ香港庁舎に忍び込んだシュバルツは、再生し続けるデビルガンダムを見つける。侵入者をドモンだと勘違いしたウォン首相は、死に人にならねばならぬ。ドモンとアレンビー対アシュラガンダム&クロクロガンダムというタッグマッチを組んだ。リング下に「超能力フィールド」を仕掛けられ、真にはまったゴッドガンダムは手も足も出ないのだった。

## 第35話 「決着の時! 暴熱マシガン パンチ!」

ネオ香港の街中に現れるガンダムヘッド。デビルガンダムの影に驚くドモンはシャッフルの仲間に加えるが、皆ドモンとのファイトのことで顔がこわい顔で居る。そう、ウォンの策謀によりドモンがシャッフル何章の総量産機が始まるのだ。デボデー対ドモンは、お互いがハイパーモードで激突する。

ネオオジン

## マーキロット・クロノス

4m近い体と巨体をもつ。人形はなれたガンダムファイター。その体も人形はなれており、ドモンの正事外でまともにもくらくらでも平気でまわっている。



## Episode24-45 各話設定

ネオネパール

GF13-044NNP  
マンダラガンダム

試合前に対戦相手を見殺しにすることで勝ち進んで来た。真目のファイター・キラルのガンダム。しかし、実力であってこそまじし戦闘能力を秘めている。



キラル・メキレル

カルロス・アンドルシア

ネオスペイン

GF13-045NSP  
マタールガンダム

巨大な半龍から変化するMF。左側から高いビームサントを出し、右側のビームサーベルで仕留める「レッド・フック・カモン」が必殺技である。



ネオマレーシア

GF13-047NMA  
スカルガンダム

全身に骨髄をあしらった不気味なガンダム。骨髄が手袋でドモンを苦しめた。このデザインは、鋼鉄社の先輩誌のコンテストから選ばれTVに登場したもの。



ガラ・ガーラ

キラル・メキレル  
(第11回大会当時)

ネオネパール

GF11-033NNP  
タントラガンダム

第11回大会時にキラルが使用したガンダム。胸に秘蔵されたビームカバが武器。激戦した時の傷が元で、キラルの目には光を失ってしまいガンダムファイトを悔んでいる。



ネオシベリア

GF11-042NSB  
マンモスガンダム

第11回大会に出場した巨大なガンダム。強力な攻撃力が特徴だった(のだろう)が、キラルのタントラガンダムに寸斬される。



ネオホルトガル

GF13-089NP  
ジュスターガンダム

コウのようなトップモードから変化する巨獣型ガンダム。ファイターのロマリオは、相手の必殺技を喰べ上げ、コピーする戦法をつかうという意外に得意な男。ビエロの腕にトラウマを持っているオボデーと対戦し、敗戦後で喜んでいるが、面の壁の前に敗退

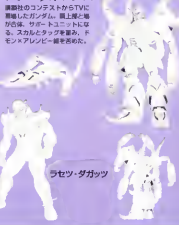


ロマリオ・モニーニ

ネオインガポール

GF13-041NSI  
アシュラガンダム

鋼鉄社のコンテストからTVに登場したガンダム。機上座と機が合体。サゴートユニットになる。スカルとタッグを組み、ドモン×アレンビー組を苦めた。



ラセツ・ダガツツ

ネオタイニア

GF13-020NK  
ガンダムゼブラ

大自然と科学技術を感じさせたネオタイニア・ガンダム。機体の前部が機体。機体の出身というファイター・コンタン・ドールに告げさせた奇の機動力を派手とした美事を機体とする(5レシロ)。だが倒立した美事の機体。これといったエピソードもなく決勝ラウンド敗退。バトルロイヤルは不参加。



コンタン・ドール



ネオデナムマーク

## GF13-026ND マーメイドガンダム

水中戦に特化した専用機として開発されたフィッシュマンズモードへ変形する。通常の対空戦のため縮短は出来ないが、魚雷の要領、ハリスの操縦セシルはサイズサイズとしゃべり



ハリス・ボルガー

セシル

エリック・ザ・バイキング

ネオノルウェー

## GF13-012NN バイキングガンダム

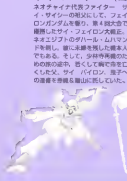
サポートユニットの船と合体したオセベルクモードで海上を要領し、戦闘はサイロ。前部バレルの砲火で炎を攻撃する。海の巨人は、

## スペースコロニー

古戦の特色ある形骸だが、浮遊ではなく、この内蔵に都市があり、ネオオランダの軍事はネーデルザンダムと戦っている。16x 100km であり、対デビルガンダム戦での活躍には目を覚めるものがあった。

## サイ・バイロン(右) サイ・フェイロン(左)

ネオタイタニ代表ファイター。サイ・サイの10倍の力に、フェイロンガンダムを撃つ。第4回大会で勝利したサイ・フェイロンは、ネオエジプトのダイル・ハマンドを倒し、第1に昇格した。第4回大会で、少将の死を悼むための祭の夜、若くして戦で命を亡くした。サイ・バイロン、弟子への遺言を身にしみて死にいた。



## 輸送中のデビルガンダムコンテナ



メナ高地にて破壊されたデビルガンダムを、ウィンの機体によって破壊輸送したコンテナ、首に不気味なモールドが浮かんでいる。

ネオオランダ

## GF13-066NO ネーデルガンダム

風車に形をとり、歴史的な機体として予選1か月間を不敗戦で終えたMF。必殺技ネーデルタイプは敵を宙空へ吹き飛ばしてしまふが決して敗退



## ランタオ島

ネオオランダ、北緯と南緯の間にあって北緯の南緯である。そのほかにも南緯のものがある。ランタオ島、東洋世界では、北緯と南緯が合体して南緯の中。この世界では、北緯と南緯の間にあり、巨大な無人島として残る。



## 本物のシュバルツ

新機体で買われたデビルガンダムと交戦したアス・後者役では、本物のネオドイツ代表ファイター、シュバルツ・ブルーダー。画面の中は真実におっさんである。



ユース・アレイの

## レイン・ミカムラ

シュバルツの弟を殺すため、病院に潜入したアス・後者役では、ストッキングの白い目も描かれている(フェイ)。ネオドイツの代表となった弟の死にフェイは涙し。



## 第36話

### 「騎士の誇り! 奪われたガンダムローズ」

ジョルジュは隊員により、ドモンとの対戦を準備させられる。騎士の誇りから不敵な顔をしていないジョルジュは、ガンダムローズを奪取しドモンに戦いを挑む。新必殺技ローゼスハリケーンに対しドモンはゴッドスラッシャーで迎撃。相手の戦いは無敵には奪えないが、ネオフランス元首の心を打った。

## 第37話

### 「真・流星胡蝶! 燃えよドラゴンガンダム」

ドモンとの戦いが迫る。集合が入らないサイ・サイ。だが、亡き父の手の首を具現し、少将の再会を決意を断る。決死の覚悟で挑んだファイのなか、己が命を投げ出して敵を倒すという。少将の再会、真・流星胡蝶を放ち、ドモンを追い込む。右腕を破壊されたものの、左腕のゴッドフィンガーで復活を遂げたドモン。死闘を挑んだものの、さすがにしくしいた。

## 第38話

### 「ドモン対アルゴ! 突撃ボルトガンダム」

過去の因縁を引きよるアルゴとグラハムはタッグを組み、ドモンとアンビーと組む。ファイトを行う。対戦前夜「ひとつの勝利はふたりの勝利」との約束を交わした会話を繰り返す。アス・シャとアルゴ。パーサー化したアンビーの暴走で勝負は遅れてしまうが、それこそがウオンの勝利だったのだ!

## 第39話

### 「石破天驚拳! 決闘マスター・アジア」

病院に収容されたはずのアンビーは脱走されていた。重病をまかされていたレインはドモンに責任を追求される。一方ガンダムヘッドに襲われ、ドモンは地下水路で東方不敗とふたりきり。東方不敗は、最終決戦、石破天驚拳の伝説とともに、自分の心臓をドモンへ伝える。弟子と父が綱をえる日はくるのか?

## 第40話

### 「非情のデスマッチ! シュバルツ最終戦」

ドモンに買収され立ち返るレインをやさしく願うシュバルツ。彼は正統の立場からドモンを見ることを断り、レインに面会を告げる。戦いの中、信づくドモンを見たレインは自分の本当の心に戻った。そしてまたドモンも、ふたりの愛でシュバルツを打ち倒すが、敗れたシュバルツの素顔は弟の兄の顔だった。

## ●Episode24-45 各話設定

ネオスウェーデン

GF13-050NSW  
ノーベルガンダム

人間の理性のツグモをはずし、潜在能力（闘争本能）を120%発揮させるプログラム、パーサーカーシステムを内蔵した女性型ガンダム。暴走する際の毛状の装甲は、特殊ユニット、新体層のようなボロンを被膜とする。

ネオスウェーデン

## アレンビー・ピアズリー

近衛17歳のネオスウェーデン若年少尉。暗黒と死に執れ、闇へ入る 極限まで引き込まれ、パーサーカーシステムの操縦者となった。どこかドモンに似た境遇を持つ

[声・日高千景美]

デビルガンダム(4人)

## 笑傲江湖ウォルターガンダム

地球圏の前線基地から、ビームキャノンと弾頭を繰り出す超絶兵器。そして三重を覆った地上形態へと三位変形する、水中戦局に優化するガンダム。装備はノーベルガンダムへ取り付いたDG細胞が増殖。主体ユニットと化したアレンビーを究極パーサーモードにし、感情を鎮定させることで熟るべき戦闘力を発揮した。略号名は笑傲江湖。

ネオジャパン

## JMF-1336R

## ライジングガンダム

シャイニングガンダムの兄弟機として開発された。ファイト両足ではなく特殊用ガンダム。対デビルガンダム戦時にワイルド佐佐が乗り込むため、ネオ吉良に持ち込まれてしまった。

ネオジャパン

## アキノ曹長

ニカム博士のサポートを行う。ネオジャパン編から送り込まれたメカニッククルー。ライジングガンダムの組み上げや、レイナ在野のゴッドガンダムの襲撃を担当した。腕が悪いのだけではないのだが、レイナほどのドモンへのキタ撃やがな記憶がなかった。

## キョウジ・カッシュ

左は、DG細胞クローンである御キョウジ・シュバルツ。涼やかなる受けたが、何事かDG細胞を活性化させ襲撃。しかしエネルギーは夢の醒めでなく、徐々に暴発していった。恐ろしいガンダム内で生体ユニットとなったキョウジ、ほとんどミイラ化している。

## グレート・ウォン

ライジングガンダムによって襲撃されながらも、DG細胞のおかげで再生したウォルターガンダム乗り込み。DG化したウォン兵衛の変わり果てた姿。まさに戦急の最中であり、自らの野望を満たしたドモンの行く手を阻む。だが、人の感情を制御したため、ゴッドガンダムに奪った意識再稼働の後にさらに一層されてしまった。



デビルガンダム四天王

## 天剣絶刀 ガンダムヘブンズソード

飛行形態のアタックモードから人型へ変形する。人型時はファイターロッドの必殺技であるバックも主体とするが、飛行形態では翼からの射撃や突進で敵に大空を制し、一瞬敵戦艦を破壊とする。隠称名は天龍絶刀。

復活  
チャップマン

復活ミクロ

## 風雲再起

マスターガンダムの移動用サポートユニットが変形するモビルホース風雲再起。大空を自由に飛翔し、宇宙を駆け、星のAFに匹敵する戦闘能力を誇る。パイロットは専ら不敗の英雄・風雲再起。操縦はモビルトレスシステムで可能。

デビルガンダム四天王

## 獅王争覇グランドガンダム

人型の形態では創世された宇宙によるオールレンジ攻撃や、大口径ビームキャノン、ゾクからの電撃を併用した多面攻撃が可能となる。だが凶悪なアタックモードに変形すると、突進が最大の武器となる。ファイターは、一度死したことがD機関の力で甦生したチャップマン。隠称名は獅王争覇。

モビルホース



## いまわの際の東方不敗

「だが、見てくれ、ワンの翼は一片たりともデビルガンダム翼膜には侵されては居らん!」つまりほまほまということである。

## 第41話 「バトルロイヤル開始! 復活のデビルガンダム」

ついに最終決戦が始まろうとしていた。それそれの翼に決着を要するシャッフル陣。そんな中、ドモンは「すべてが終わったお前前に聞いてもらいたいことがある。だから待っていてくれ!」そうレインに言い別れて行く。そしてラントス隊ではDG編組に爆されたセツガンダムが持ち上げていた。

## 第42話 「強敵四天王! ガンダム ヘブンズソード」

ガンダムヘブンズソードに驚愕を強いられるドモン。その機レインは、シュバルツの正体がキョウジのアンドロイドであること、デビルガンダム事件の真相も知ってしまった。真実を伝えるためライジングガンダムを駆る。ドモンを助けるため、アルゴとサイ・サイシーは命を懸けてミクロへ挑んでいく。

## 第43話 「獅王争覇! グランドガンダム 迎撃作戦」

次なる四天王はグランドガンダム。ジェントル・チャップマン、ドモンを先に仕かせるためジョルジュとデボデーが迎撃に向かう。そしてデビルガンダムへと近づくとドモンの前にパーサーカー化されたアレンビーが現れる。だがその時、ドモンとアレンビーの前にライジングガンダムが飛び込んできたのだ。

## 第44話 「シュバルツ散る! ドモン達の 必殺拳」

DG編組によりウェルターガンダムへ変形するアレンビーのノーベルガンダム。アレンビーを救うため必殺必中ライジングアローを射つレイン。その機マスターから買得の事実を知らされたドモンは、シュバルツとキョウジもとも、デビルガンダムを石破天驚で破壊するつもりらしい選択をせまられていた。

## 第45話 「さらば師匠! マスターアジア、 晩に死す」

因縁の師弟対決がついに始まる! ふたりの翼が激突し、最終決戦石破天驚が大地を震わせる。ドモンを叱咤するマスター。まるで何かを託すように、語るように。そんな事と事の交わりの中、ドモンはマスターの心の底にある深い悲しみを知る。そして、美しい夕日を浴び「涙涙東方不敗は! 王者の風よ!」と涙と笑みの声が響き、マスターの死と共にガンダムファイト第13回大会の事は閉じた。

## JDG-00X デビルガンダム

「真度を全てたうルベ少度によって変わる候に、キョウシによって増殖へ落下した」といふのが事件の真相だった。アルティメットガンダムは暴走し、キョウシを数回打ち込み、自らを地球浄化プログラムを「地球浄化のためには必ず人類を排除すべし」と解釈。その意図に釣り、彼等の罪を平していた。最度での増殖と再生を繰り返して、自らを進化し続けたデビルガンダムは、ついに最終形態となる



### デビルガンダム残骸

国はランタオ島で撃墜されたデビルガンダム、巨大な鋼の上にある上半身がすっかり消失しており、トモンの石破天幕の威力のほどがわかる。

### デビルガンダムコロニー

ウルベ少隊によってネオシャッペンコロニーに持ち込まれたデビルガンダムは、そこで自己増殖。無尽蔵に、自己進化を繰り返した。コロニーを取り込むと、ついに増殖へ触手を伸ばし始める。



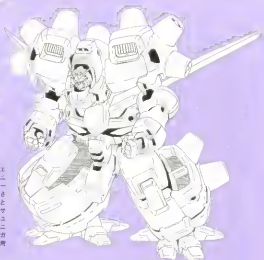
### ガンダムヘッド

土まギアアス軍から回収した。デビルガンダムの分身。実験段階に似ていキバを持つ。



## 最終進化形態

デビルガンダムは、増殖・増殖力をもエネルギーに変換するという、シャイニングガンダムと同様の増殖エネルギーシステムを有するまでに進化した。さらに、その最終形態は格闘戦にもっとも適した形。通常のMPFとほぼ同等サイズとなった。この事実から、身体ユニットのコアになったレインのメカニクとしての経験。知識が、デビルガンダムの進化に大きな要因として作用していることがわかる。



### デビルフィンガー



## DGレイン

トモンへの叛の直前、レインの体は完全なDG化はされておらず、たゞ暴走のようである。身体ユニットとして生命を消費され続け、自らの意志でデビルガンダムを操作している。



### レイン・ミカムラ

最終話。DG化から醒めたレインは、トモンの真紅のマントをまるでドレスのように纏い、あの「石破ラブラブ天幕」を脱つ

## グランドマスターガンダム

両天王ガンダムのデータから、ネオジャパンコロニーのメイン動力炉をベースとして、デビルガンダムが体内で再構成した最後のガンダム。特に両天玉の両腕を駆動してグリップしたわけではなさしい。いかなる位置でも受け付けず、一番はドモンら5人の力を合わせた最終の「シャッフル同盟軍」に敗れるもまた再生、導入者を助けるため、DG化したウルベと共に参り、最後の戦いをとむ。



ネオジャパン

### ウルベ・イシカワ

元ガンダムファイターの戦士。デビルガンダムを利用して、宇宙の戦艦を盗むが、戦後は自分とDG戦艦に乗り込まれてしまう。



ネオジャパン

### ウルベ専用ガンダム

第12回大会にネオジャパン代表ファイターとして参戦したウルベとそのガンダム。シャニングガンダムに負けたデザインラインが見えるMFである。

ネオジャパン

### カッシュ博士

星まきかみ博士と、ウルベの間に生まれてしまった、星間の天才科学者。どのくらい天才かと言うと、星間から帰来されてすぐに超流を飲み込めたくらいです。



海軍ガンダム

マーマイドガンダムの機体設計、動力炉とセットしたDGコロニー一度戦艦に機体投入された。

### ガンダム打ち上げロケット

対デビルガンダムコロニー戦のため、戦時のロケットやICBMを流用して、ガンダムを宇宙まで打ち上げた。

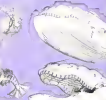


ネオジャパン 宇宙艦隊

この時代、ガンダムファイターを前身の代名詞としているが、一応星間軍艦を操縦している。だがこの訓練ともいえる艦隊は、いのがちのようか？

ネオデンマーク

### 母艦ホセフィーナ



水中用MFを駆使し駆けつけたデビルガンダムだが、多くの協力機やこの艦隊の機体のため星間には深刻な被害ももたらした。

## 第46話

### 「レインの危機! デビルガンダムついに!」

ついに底牌を手にしたドモン、レインに思いを伝えるため、彼女の前へ急ぐのだが……その途程は既にネオ軍の掌握にはなかった。そう、レインは学園の調査を指揮するウルベ少佐により、デビルガンダムの新たな生体ユニットとして操縦されたのだ。レインを救うため急ぐドモンの前にDG細胞に侵されたウォンが、ウォルターガンダムで立ちまわっている。だが人の恋心を邪魔したため、奥に隠れて地獄へ落ちた!

## 第47話

### 「デビルコロニー陥落! 大逆襲シャッフル同盟!」

レインを手に入れた機体に乗るウルベ、女性という究極の生体ユニットを取り込んだデビルガンダムは急速に進化し、ネオジャパンコロニーを襲い、巨大かつ異様なガンダムを形作ってしまう。ひとりでデビルガンダムに立ち向かっていったドモンを救うべく、再びシャッフル同盟が立ちあがり、ミカムラ博士の命をかけた助言によりデビルガンダムの弱点を知ったドモンたちは、巨大なデビルガンダムコロニーの体内へと突入していくのであった。

## 第48話

### 「地球SOS! 出撃ガンダム連合!」

ミカムラ博士の決死の働きによりカッシュ博士は解放、デビルガンダムの弱点である動力炉へ向かうシャッフル同盟。そこには両天玉が合体したグランドマスターガンダムが待ち受けていた。苦戦をしいられるドモンたちだったが、力をあわせて必殺技「シャッフル同盟軍」でこれを撃破。一方、デビルガンダムの機体は地球へ強い振動を及ぼすため、環境もわがたりもない。真の協力をめざせる全世界のガンダムファイターたちの姿があった。

## 第49話

### 「Gガンダム大勝利! 希望の未来へレディーゴーツ!」

ついにデビルガンダムの中枢へたどりついたドモンはレインを救おうとするが、近づくにつれてデビルガンダムの攻撃は激化を遂げていく。レインが自分を振込んでいると勘定するドモン、だがアレンビーの助言で、レインの心を開くため思いのすてを打ち明けた。「お前が好きだ」。お前が強い! ドモンの想いに応じたレインは心を解き、2人は愛の力を合わせ「石破ラブラブ大逆襲」を放ち、デビルガンダムを倒滅する。こうして悪夢の一年間は終わった。だが、彼らはまた次の未来へと走り出して行く。そう言う14回大会へ。

# XXXG-01W ウイングガンダム

ドクター・Zが開発したのがウイングガンダム。OZでの通称名は、「ガンダム」だ。パイロットはヒイロ・ユイ。汎用性に優れ、機動性や攻撃力など、あらゆる戦況に対応できるよう設定されている。機体最大の特徴はスラスタユニット四基で形成された翼。これによりモビルスーツ界でも空中戦が得意で、変形すれば長距離航行も可能。

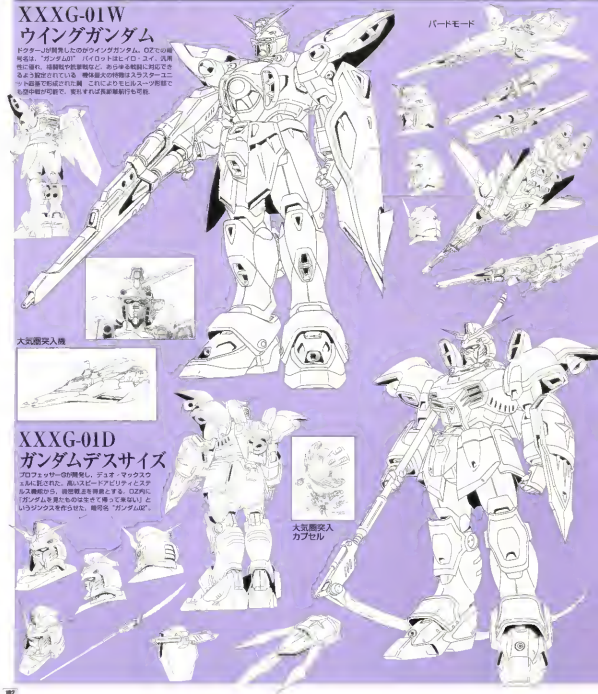
バードモード

大気圏突入機

# XXXG-01D ガンダムデスサイズ

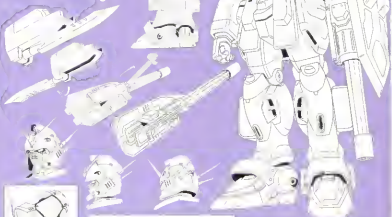
プロフェッサー・Zが開発し、デュオ・マックスウェルに託された。高いスピードとアビリティとスタイルを兼ね備え、前世代主を超越する。OZ内に「ガンダムを見たものは全て奪って来ない」というラジックスを作らせた。通称名「ガンダムD」。

大気圏突入カプセル



# XXXG-01H ガンダム ヘビーアームズ

OZでの愛称名「ガンダム03」。トクトル6が暴発した。MSとしては異様なまでに内蔵された量と高機動が特徴である。早撃でMS大衆を包囲した軍事機密を破壊・制圧できる。



大気圏突入カプセル

## 各ガンダム共通設定

5体のガンダムは外観は似て大きくいが、基本的な機体構造や、武装の基本設定はほぼ同じである。5人の科が乗るバラバラに設計したのではなく、その影響にウィングゼロの要素も入っているからである。それは手裏やコクピットが共通であったり、サンドロックにゼロシステムが乗っけられたことで証明されている。



手裏



### コクピット

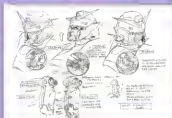
ガンダムのコクピットのレイアウトは各機共通で、ヘッドレストの形状や、窓のレイアウト（ウィングのみ）の共通点の多いものがない。



### サーベル



### バルカン



## 第1話 「少女が見た流星」

AC195年。地球に5つのカプセルが落下した。地球連邦連合の任務に失敗したコロニーがオペレーション・メテオを発射し、MSガンダムで連合と軍事秘密結社OZとの接触活動を開始したのだ。ヒイロ・ユイの乗るウィングガンダムはOZのゼクス特佐に撃墜され、海中に沈む。海岸に流れついたヒイロはドリアン・アール・ラングの娘リリーナに助けられるが、秘密保持のため自爆しようとする。が、ヒイロはそれに失敗し逃走。数日後、ヒイロはリリーナの学園に転校してくる。リリーナは彼への興味から誕生日のパーティーへ誘うが、ヒイロは「お前を返す」と言い放つ。

## 第2話 「死神と呼ばれるG」

連合は海中に沈んだガンダムの回収に乗り出し、ゼクスはその機取りを担っていた。だが、そこへ自ら死神と名乗るデュオが、ガンダムデスサイズで襲撃をかけてきた。そのころ回収作業を継続したヒイロは、ガンダム機体のため連合軍の格納庫からミサイルを奪取。軍港へ向かうが、それを知ったリリーナも駆生バーチーを抜け出し、同じ軍港へとやってくる。ヒイロは秘密を知りすぎたリリーナに銃口を向けるが、そこへ現れたデュオに撃たれてしまう。ヒイロは重傷を負いながらも、ミサイルを発射。ウィングガンダムとガンダムデスサイズは海中に没する。

## 第3話 「ガンダム5機確認」

負傷したヒイロは連合軍病院に収容され、彼の回復力に軍医のサリィ少佐は驚きを見せる。リリーナはヒイロに面会を求めると、デュオの襲撃によって目の前でヒイロは病院から脱出。2機のガンダム回収に向かう。そのころゼクスはOZの精鋭部隊スベールズとともにニコルカ島地に入り、ガンダムのプロトタイプであるMSトールギスを受け取る。だが、基地はロツのガンダムヘビーアームズ。カルのガンダムサンドロックの襲撃を受け、司令部は破壊される。ゼクスは2人の攻撃に力おぼす。トールギスで脱出する。

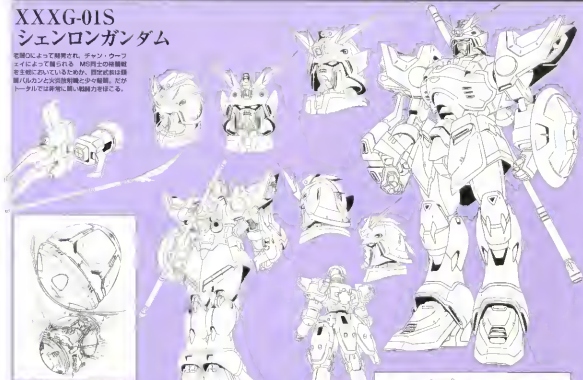
## 第4話 「悪夢のビクトリア」

ゼクスと友友ノイン特務の連絡を傍受した五角は、宇宙空用形の新型MSトールギスを探し、愛機ナタクことシュロンガンダムでレイク・ビクトリア基地を襲撃。ノインはMSエアリスで応戦するが、五角の前には数でなく、敵を返す。そのころ太平洋の海上では、ガンダム2機を引き連れヒイロとデュオが、サルベージ船でガンダムの修理を続けていた。そこでヒイロはガンダニウム合金を溶かすシャトルを撃墜せよ、との指令を受け取る。ヒイロはデュオのデスサイズのパーツを盗んで出撃。シャトルを破壊する。



## XXXG-01S シェンロンガンダム

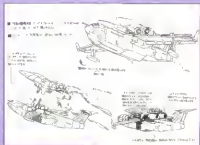
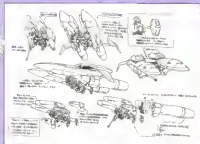
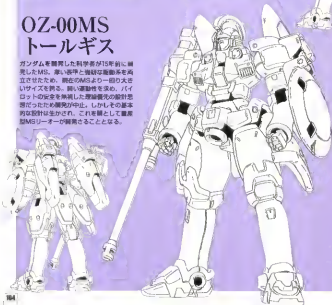
宅間DXによって開発され、チャン・ウーフェイによって操られる MS四士の総機體を主眼に描かれているため、百式武装は種別(バルムホルツ)と大気圏外機との中間、たがーシステムでは非常に高い機動力を誇る。



大気圏突入カプセル

## OZ-00MS トルギス

ガンダムを開発した科学者が75年前に開発したMS。深い意味と複雑な運動系を両立させたため、現在のMSより一回り大きいサイズを開る。高い運動性を求め、パイロットの安全を無視した厚縁翼状の設計思想だったため開発が中止。しかし、その基本的な設計は生かされ、これを基として最新型MSリオーが開発されることとなる。

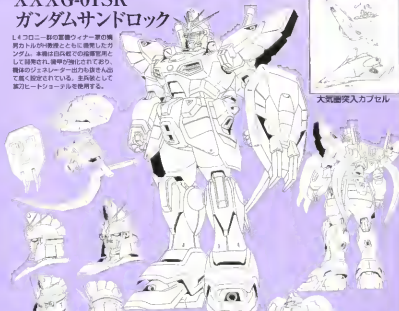


打ち上げ用オプション



## XXXG-01SR ガンダムサンドロック

14コロニー群の軍需ウィナー家の機体トールやの機体とともに開発したガンダム。本機は自衛隊での秘密兵器として開発され、機体が強化されており、機体のジェネレーター出力も抜き出されて超絶強化されている。主兵器としての反重力ビートジョーナルを使用する。



大気圏突入カプセル

## WMS-03 マゲアナック隊

中絶の、連合にもOZにも所属していない部隊で独自の軍事。タグラグビーで部隊を駆動する兵器が新しさを付けられ、その主力WMSの名前もなかった。機体はトールズの流れを重んじたMSで、両肩が広く、両腕全長で40センチ存在し、そのパイロロムによって敵が仕掛けが通る。中絶出身のウィナー家の機体が操縦する。ガンダムサンドロックを支援し、自衛隊による機体開発では開発を受ける。



アブドル機

アウダ機

ラシード機

アフマド機

ノーマル型

オリファント

## 第5話 「リリーナの秘密」

連合の軍需増強に反対するドーリアン外務官は、リリーナを連れてコロニーの指導者たちと会談する。だが、トリーズの副官を務めるOZのレディ・アン特任の乗機によりドーリアンは暗殺。ドーリアンは死の間際、リリーナがじつは、かつて完全平和主義者で、OZによって暗殺されたピースクラフト家の生き残りだと告げる。リリーナはコロニーの反乱組織によって殺され、ヒロを暗殺したドクターから彼女の素性を知らされる。ドクターはリリーナに、死にたくなければヒロには近づくと警告する。

## 第6話 「パーティー・ナイト」

地球に戻ったリリーナは、ヒロの転校の話を聞き、彼は戦いに行くのだと確信する。そんななか、リリーナの機体を狙うアンが、学園のダンスパーティー会場にMS部隊を送り込んだ。潜入が失敗したかと思ったヒロはガンダムで出撃。戦場のなかで、殺すはずだったリリーナは戦火から守ろうと、なぜかばかっていた。ヒロは自分の感情にまよいつながらちもMSリリーナとエアリスを離れ、リリーナの前から姿を消す。トリーズはアンにリリーナ暗殺を中止させる。リリーナが親友ゼクスと戦ったことから、

## 第7話 「流血へのシナリオ」

トリーズはOZの上部階級がニューエドワース基地に襲来するというニセの情報を流す。ガンダムをおびき寄せ、そのすきに世界各地の戦場でクーデターを起こそうというオペレーション・デブリックの発動だ。そうとは知らないヒロたちは、連合の最上階級が集まった会議を急襲。ヒロは平和主義者である、最高司令官ノバタ元帥の戦うシナリオを掌握してしまう。トリーズの作戦は固に当たり、麾下の部隊であるスペシャルズは各地の連合戦地を掌握。OZは連合を支配下に治める。ヒロは連れてこられた五飛からトリーズの陰謀だと知らされ、愕然とする。

## 第8話 「トリーズ暗殺」

五飛とトワはトリーズを追い、輸送機を襲撃する。だが、残ったヒロ、デュオ、カトルはアン指揮のニューエドワースの戦地ごと破壊されようとしていた。アンは非道なやり方にした連合のサリ・少女は、暗殺でヒロに危険を知らせる。ヒロはミザイル戦地に仕掛けられた地雷爆弾を外し、急地を脱する。一方、トリーズの暗殺を狙う五飛はOZの艦隊を襲撃。戦士ブラッドから絶えぬ戦いを挑むが、トリーズに敗北を喫する。そのころゼクスはルクセンブルクの旧連合本部へ帰り込み、父ピースクラフト王を殺したダイゴ艦長への仇討ちを断っていた。

## Episode1~20 基本設定 キャラ

## ヒロ・ユイ

11コロニー群出身の15歳の少女。ウィングガンダムのパイロット。身長156cm、体重45kg。ブルー・アッシュブルーの目とモスグリーン髪。ドクターUによって幼いころから戦闘訓練を受けて来た。自分の感情を殺し、いかなる状況下においても任務を優先し、失敗すれば謝罪なく自爆する。狂気野郎とともに美ウツセがある。

(声・緑川光)

## デュオ・マックスウェル

12コロニー群に存在するスライバーグループの中心戦士として育てられた19歳。身長180cm、体重43kg。コバルトブルーの目とブラウンの髪。性格は平和気風で穏柔。戦うことに対しては嫌悪感を抱いており、「戦うのはオシレな方だけで十分だ」と思っている。近所者らしい気なタイプで、真顔に驚かされやすい。

(声・高城良一)

松本健

聖カプリエル学園

コロニー

アストロスーツ

## リリーナ・ドーリアン

地球出身の17歳の少女。身長154cm、体重38kg。ネイルブルーの目とベージュの髪。外交官ドーリアン氏の娘として何不自由なく育てられたお嬢様。自分の理解できる「英の子」の価値を感入た存在であるヒロと初めて見た時から彼女の運命は運り、手を添って動き始め、徐々に戦争の背景を知り、一に行く。

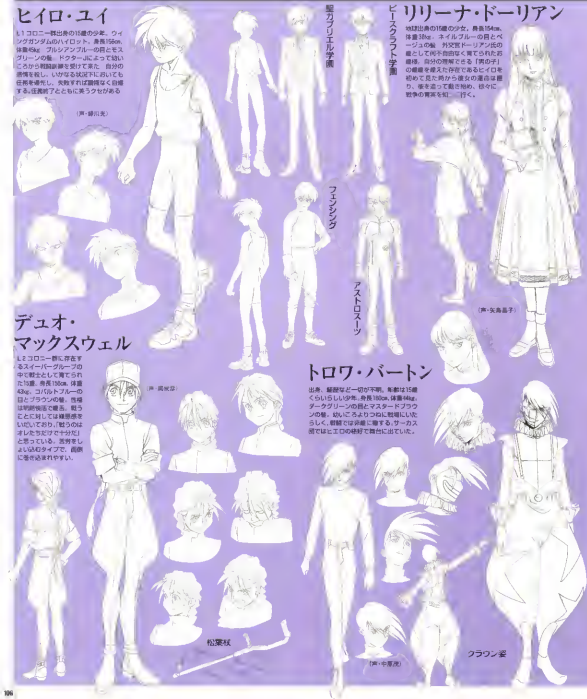
(声・矢島晶子)

## トロワ・バートン

出身、経歴など一切が不明。年齢は15歳くらいらしい少年。身長180cm、体重44kg。ダークグリーンと白とマスタードブラウンの髪。幼いころよりつねに戦場にいらしく、戦闘では非常に上手な「サーカス師ではヒーローの格好で舞台に出ている。

(声・中尾隆聖)

クラウン姿



## カトル・ラバーバ・ウィナー

大富豪の嫡男である15歳。身長160cm。体重41kg。ブルーの目とプラナゴールドの髪。戦いを嫌う優しい性格ゆえに戦争を終わらせるための地獄へ降下した。

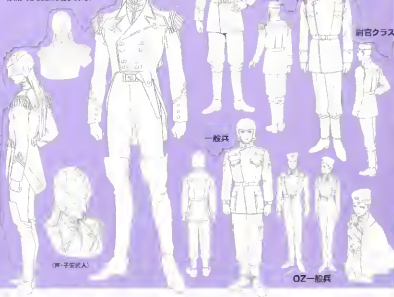
(声・石野竜三)



(声・野宮真)

## ゼクス・マークス

OZスペシャルズの特別で17歳。通称ライオンキング(RO)後にカウソウ。身長194cm。体重78kg。ネイルブルーの目とプラナゴールドの髪。顔の半分を常に黒色のマスクで覆い、正体をかくしてOZに参戦している。



(声・子安武人)

## 地球圏統一連合軍制服

地球圏の戦争を次第化する目的で強力な軍備を持った連合軍は、反対にコロニーや小国軍に対して、その軍備力を背景に高圧的な支配を行った。これに戦線崩壊OZを生む。

左官クラス

右官クラス

一般兵

OZ一般兵

## 第9話 「亡国の肖像」

OZによる旧連合軍捕縛のなかで、ゼクスは完成したMST-トルギスを得る。だが、トルギスの強力な加速は、ゼクスにさえ危険を感じない代物だった。部下のオットーはゼクスに呼びかけ、トルギスで連合が立て直るもサンクキングダム基地へ特攻。心酔するゼクスは狂気と戦いながら死んでいく。部下の死を引き継ぐに際を取り戻したゼクスは、父の肖像画の前で復讐を誓い、血にまみれた自分よりリリーナこそ王座の復興にふさわしいと語りかける。ヒイロ、デュオ、リリーナたちは中国へと告退した。

## 第10話 「ヒイロ閃光に敵る」

MST-クラスに新鋭軌道システムを組み込むため、ビクトリア基地からシベリアへの輸送作戦が開始された。それは同時にガンダムをおびき寄せる作戦でもあり、指揮を執るアンは、ガンダムの位置を分析した上での各種準備を企図していた。ヒイロたち各パイロットはチームで動くが、アンはコロニー攻撃を遂行し、ガンダムを引き寄せた。ドクターJからの連絡を受けたヒイロは、彼の命令に従って自爆のボタンを押す。ヒイロの自爆に、ガンダムの伸縮、ゼクス、OZの兵士たちは衝撃を受ける。

## 第11話 「幸福の行方」

ヒイロはトロウに救助され、サーカス団で働かされる。デュオはカトルと行動するとともに、中東を本拠地とするマグナナック隊に身を投じていた。そんななか、リリーナはアンを追ってモスクワへと向かう。ピースクラフト王と戦いかけたウエルリッパ公爵によってパーティー会場に招き入れられたリリーナは、アンの暗殺を企てるが失敗。途中中をノインに襲われる。ノインはゼクスの意をくみ、リリーナをサンクキングダム元首として保護したのだ。一方、ゼクスは撃墜されたウエルリッパ公爵を回収し、修理していた。ゼクスはヒイロとの1対1の決戦を望んでいたのだ。

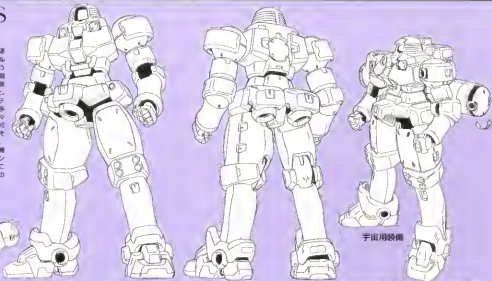
## 第12話 「迷える戦士たち」

ヒイロは重傷を取り戻すが、その間、OZは宇宙へ進出。オペレーション・メテオの事実上の失敗に、ガンダムのパイロットたちは目的を見失う。そんななか、五飛は現地政府に抵抗するレジスタンス組織と遭遇する。そこには連合軍から身を投じたサリィがおり、彼女は五飛に協力を求めてくる。だが、彼ら意思を喪失した五飛はそれを拒絶してしまう。しかし現地政府と内通しているOZの攻撃に次々に死んでいくレジスタンスの兵士たちに五飛はショックを受ける。MSエアーの前に身を投げ出したサリィの運命は、五飛に再び戦いに挑む勇気を与えたのだった。

## OZ-06MS

## リーオー

地球圏第一連合やOZで広く運用されている汎用MS。トールギスと一歩内士でも劣るようになり、機能化可能な兵器の機体としても使用された。初期リーオーは機体キャパシタが狭く、高パワー、高速度の多目的オプションに標準装備は出来ず、高機動を取り付けることが可能だが、機体は余裕を持ってそれを受け止めることが出来る。例えば空中用パーツである高機動オプションも、そのキャパシタがあればこそ可能で、これが他のMSになったなら、その速度とOZに匹敵し切れない。



宇宙用装備



ドーバーガン



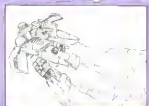
ノーマル 内装



ビームライフル



バズーカ



高機動オプション

## OZ MS共通コックピット



基本的にOZのMSは一定の規格に基づいて開発、製造されているため、モニターのレイアウトやシート形状は、どのMSにも同じである。内装は非常にせまく、人ひとりが一歩で、操作性は低い。



OZパイロット



## OZ-07MSトラゴス

ホバーユニットで下半身を備った形態のMS。主に中層の砂漠近辺の部隊に多く配備されている。ホバーユニットを換装することで、2脚の直立歩行形態が取れる。形式番号から推するに、リーオーの局地戦用強化型といった位置づけのMSだろう。



## OZ-08MMSキャンサー OZ-09MMSパイサイズ

水中での作業 戦闘用として、用途を限定して開発された機体。一見潜水艇のようなそのフォルムから、MA（モビルアーマー）だと思われがちだが、どちらかといえば下半身のない戦艦MSといったほうが正しい。水中機動能力に優れたため、作戦行動では小隊を率いるのが主となること。攻撃 鋼鉄仕様に用いられることが多かった。

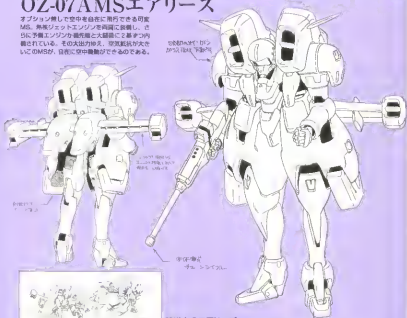


MAが水中での作業にも対応できるように開発された水陸両用型の機体。水中巡航形態から人型への変形機構を持っており、ある程度複雑な環境にも対応できる。変形時は腕のツメがスクリューの役割をする。水中活動のみに限定した切り切りがされたキャンサーにくらべ、機動性や火力は明らかに劣っており、汎用性が低いことだけが特徴である。



## OZ-07AMSエアリース

オプション無しで空中自在に飛行できる機体MS。昇降ジェットエンジンで両腕に装備し、さらに予備エンジンで機体後部と大腿部に搭載されている。その大出力ゆえ、空圧配管が欠けているMSが、自在に空中機動ができるのである。



機体中のエアリス



脚の變形



## 第13話 「キャスリンの涙」

OZの若き士官、アレックスとミューラーの指示で、ゼクスは旧連合がたてこもるモガディオ基地を攻撃する。トルギス率領する基地を陥落に攻撃したゼクスは、降参を勧告。だが、アレックスとミューラーはそれを拒絶して進攻を繰り返す。怒ったゼクスは2人を押返す。そのころ、サーカス団でロシア南部を移動中のトロフは、OZの基地で遊樂を行なうと知ってアラクシオンにガンダムヘビーアームズを持ち出す。見せ物だと思った兵士の前で、基地の破壊を始めるガンダム。トロフは最後には自爆しようとするが、泣き崩れるキャスリンにトロフは思いとどまる。

## 第14話 「01爆弾指令」

リリーナはロームフェル財団の会合に出席し、トロフの戦いを精査する演説に反応。ガンダムがその機嫌を正してくるのを予言する。一方、サーカス団を率いたヒロは、トロフとともにマルセイユに向かい、故ノバタ元帥の遺稿・シルビアを探し出す。だがそこにもOZ軍の攻撃が迫り、2人はシルビアを救出。ノバタ元帥の墓前で、ヒロは自分が元帥を殺したのだとシルビアに告白する。ヒロはシルビアに銃を手渡し、それで罪を償うと自分の命を預ける。だが、シルビアはヒロは等閑だと拒否、引き金を引かなかった。

## 第15話 「決戦の場所南極へ」

ノバタ元帥の遺稿に自らの運命を託る旅を続けるヒロは、トロフとシチリアで次の行動を考へていく。だが、ここにもOZの追跡はあり、2人はゼクスが戦いがついているとの伝言を携えたノインとともに南極に出現する。途中、ロームフェル財団が送り込んだ敵艦隊に襲撃されるが、トロフがヘビーアームズでこれを撃退。体の痛みをヒロに、トロフはゼクスと戦うために自分のガンダムを貸すことを申し出る。そのころゼクスはウイングガンダムの完全な修復を遂げていた。リリーナはノバタ元帥夫人の手紙を受け取り、ヒロの生存を確認する。

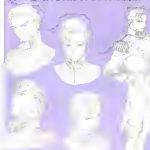
## 第16話 「恋しき決戦」

南極に到着したヒロは、ゼクスとの決戦に集が修繕したウイングガンダムではなく、敵をガンダムヘビーアームズで戦いを挑む。南極の崖で死闘を繰り広げるヒロとゼクス。そこへリリーナがそれを取り止める中止せよとする。だが、それを拒絶されたリリーナはヒロにゼクスを助けよと告げる。ノインはゼクスが、実の兄ミリアルドであることを教へ、リリーナの行方をいさめる。そのとき、OZのMS隊が現われ、2人は戦いの中断を余儀なくされる。ゼクスは自ら腹になり、ヒロたちを援護から退く。

## Episode 1~20 基本設定 キャラ

## トレーズ・クシュリナーダ

身長181cm、体重58kg、アーリア系の42歳。プラチナフロントの妹とアリスブルーの母、ロームフェラ財団の発起人として生まれたらしい人物。絶対的なカリスマ性と無類の強さの持ち主で、OZの創設者にして総帥。上流階級、一重臣の貴族出身から途を隔すが、リリーナ受降後の地位を固めるともあがたの男爵。



(声・高杉順久郎)

## レディ・アン

OZスペシャルスquad 特選、ガルマン系の19歳。身長161cm、体重47kg。ブラウンの髪と目。トレーズに心酔、忠告を蒙っており、側近のように仕える。決して一般人の輩と、驚くべき心算を封まない女性的な面との2つの人相が併っていた。



(声・砂井り)

## ルクレツィア・ノイン

イタリカの19歳。身長165cm、体重47kg。ターコブルーの髪にプラチナブタックの目。OZスペシャルスの高級、特選で、レイクビクトリア基地でMBパイロットの教育をしていた。ゼクスに全量以上のものを抱えている。



(声・張山智佳)



## プロフェッサーG

かつてトールギスやゼロを開発した科学者集団のひとつで、ガンダムデスサイズの開発者。スーパージョーブとの関係は不明。



(声・高木正)

## ドクトルS

度マスクが特徴的な。かつてトールギスやゼロを開発した科学者集団のひとつ。ガンダムヘビーアームズ開発者。



(声・大滝俊也)

## H教授

カトルと共にガンダムランドロックを開発した。クワイア軍のコンピュータにゼロのデータを提供して行く。



## 老師O

トールギスやゼロを開発した科学者集団のひとつ。開発の天才でジェノコンガンダムを開発した人物。LSコロニー群の勢力者らしい。

(声・山口泰)



(声・広瀬正志)

## ドクターJ

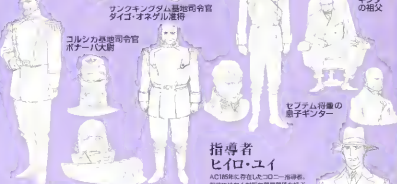
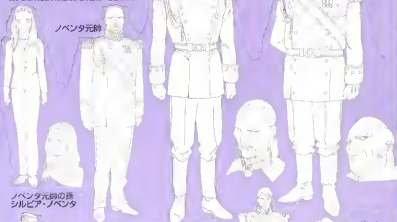
LSコロニーにてヒロ・ユイを育て、指導者ヒロ・ユイの後を継いだ付けた人達でもある。かつてトールギスやゼロを開発した科学者集団のひとつ。ウィングガンダムの開発者でもある。



(声・高瀬実)

# 地球圏統一連合

コロニー計画によって人間的に経済的にも豊満した各国は、その活力を競争に求め、競走を繰り出してさらに豊満していった。競争を繰り出すため発展した機関が地球圏統一連合である。



## 指導者 ヒロ・ユイ

AC105年に存在したコロニー指導者。死後ではなく対外的な見聞を通じて、自由を力にした。AC175年にロームフェラ利団の手で殺害される。だがその平和路線はビースク・ラフト王家に引き継がれて行く。

## ブント共和国

連合後アフリカ方面の一部隊が、オペレーション・ディブレイク後の連合とOZの戦争に負け、独立国家ブント共和国を設立。だが西布ント大佐はOZに属していた。

### ナナキ少佐



## 第17話 「真切りの遠き旅路」

宇宙に上がったアンの工作で、コロニーは次第にOZに属するようになっていく。市民はOZが連合の支配から解放してくれると信じ込ませたのだ。インドにたつデュオとカトルは、OZの偽善からコロニー市民を守るため、宇宙へ出るべきだと決意。スペースポートを襲撃し、途中から加わった五飛とともにシャトルを奪取する。だが、OZの追手をかわすため、カトルはガンダムサンドロックを自爆させるしかなかった。同じころヒロとトロワも独自にシャトルを入手し、宇宙へと出る。一方、アンはガンダム開発に携わった技術者を連れ、ドクターを始めとした人々を監視する。

## 第18話 「トルギス破壊」

OZに投降したゼクスに対し、トレースは死を求め、独断作戦を開始。が、一方では生き延びたいとも思っていた。ゼクスはトレースの期待どおり、ロームフェラ利団のMS部隊の攻撃をかわし、逃げる。一方、カトルはシャトルで逃走中、アンのMS1-スラッシュ部隊に攻撃される。カトルは、ガンダムを守るが後の対OZ戦において有効であると考えた連合宇宙軍の生き残りMS部隊に助けられ、MS1-スラッシュに奪われて逃げた。そのころドクターたちはガンダムを越えるMSの開発をアンから進められていた。

## 第19話 「バルジ強襲」

ロームフェラ利団との戦いにつづいたゼクスは、トルギスの設計者、ハワードに敵われる。ハワードは元米トルギスは宇宙軍で、ゼクスに宇宙へ上がらないかと勧める。一方、宇宙移民計画「バルジ」を推進したアンは、OZの寛容性を強調してコロニー代表団と友好関係を結ぶ。コロニー市民はOZの偽善を信じ、ガンダムを量産の象徴とみなすようになっていく。そんななか、単独で活動していたデュオがOZに連れられる。ヒロは単身「バルジ」に潜入してデュオを救出し、技術たちが新型MSの開発を進めていくと知ったヒロは、星の抹殺に月面基地へ向かう。

## 第20話 「潜入、月面基地」

月面基地に潜入したヒロだが、そこには既にガンダムを越えるMS、メリクリウスとヴァイエイトがあった。一方、経歴を語り、OZの志願兵となる。トロワは、優秀な技能でパイロット候補となる。トロワはガンダムデスサイズの新機体命令を受け、最終的にそれを実行。街でその様子を見たデュオは愛憎の最中に呆然となる。そのころ地球ではサリィとマリアナック隊が、復元されたガンダムサンドロックを奪取していた。ヒロはヴァイエイトとメリクリウスの最中に失敗し、トロワによってOZに捕えられてしまう。



Episode 21~41 各話設定 メカ

# OZ-12SMS (OZ-01MD)

## トールス

機体成形面に可変する宇宙専用MS。ロムフェウ財団の科学者ツルコフ博士が開発した。自己学習機能を有するモビルドールシステムを初めて導入した有人機として開発されたが、本来は宇宙用試作のエアロバイドロッドが転換するはずだった。無人機であるモビルドールだが、リーオーの性能を極く凌駕できる。しかしコックピットは人間が搭乗できる形態なので、本来のMSのようにも使用できる。



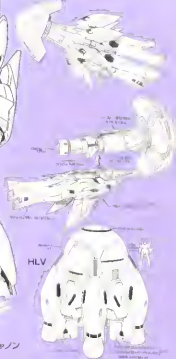
変形パターン



ライフル

トールスキャノン

トールスルーザー

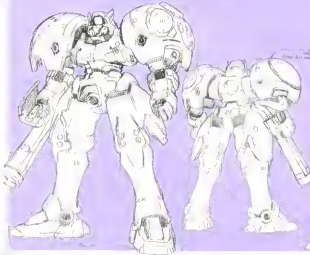


HLV

# OZ-02MD

## ビルゴ

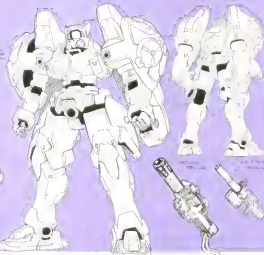
無人機プログラム。モビルドール システムを組込んだことと季節型に開発されたMS。メルクリウスとグワイエイトのデータを継に設計されており、防衛と攻撃を1機でこなうことができる。プラネティディフェンサーと大型ビームキャノンも搭載する。機体化とともに凶悪に多量配備され、強襲作戦で戦列する者を蹂躞した。



# WF-02MD

## ビルゴII

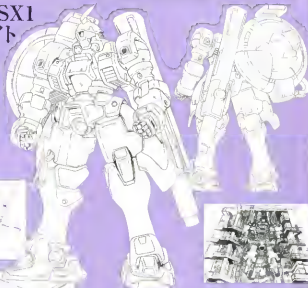
ビルゴの運用経験と能力を特化した改良型として、OZに開発された機体。プラネティディフェンサーを両腕に4基ずつ搭載し、そのうち2基に攻撃を集中したコンテナスラスターユニットをマウントしているなど、武装面でも強化され、汎用性が飛躍している。生産拠点ことがワイトファンクに奪われ、その戦力で使用された。





OZ-13MSX1  
ヴァイエイト

攻撃力のみを高めたMSで、  
メクリウスと対をなすこと  
を前提に開発された。主武装  
ビームキャノンには、ウイング  
ガンダムのバスターライフル  
より破壊力こそ置いている  
が、それゆえにシネレータ  
が大型化し、機体重量の増大  
を招くという弊害を生んだ。し  
かし完全攻撃型MSとしては  
完成された機体だともいえる



OZ-13MSX2  
メリクリウス 攻殻イノ

攻撃よりも防御に重点を置き、ファイエ  
イトを補佐、保護する機体。10機の円盤  
からなる対ビーム兵器のバリアー発生機  
プラネイトディフェンサーを駆使してい  
るが、そのバリアーはウイングガンダム  
のバスターライフルを防ぐことができる。

## 作業用 モビルスーツ

全高 4 m程度の有人壁。おもに基礎力地盤で、MS製壁などの作製所として使用された。MSというよりはフォークリフトなどに近い



第21話  
「悲しみのカトル」

カルトはクーパー一家所有の銀湖湖岸に建てるが、非営利業を新入興すカルトはガングムの勢力行為を拒絶す。カルトは奮勉の故、その父の死力にも憂しく、クローニー会議は政治家を拒絶する。カルトの信託を決議、カルトの父は銀湖湖岸に建てたでもカルトが所有する。クローニーが独断で切り取る。父の行為は背徳とみなされ、カルトからの強要で銀湖湖岸をも手放すに同意し去られてしまう。父の死後はカルトの心で暮らす。一方、トロワとピロはゼクスの最悪トールギスを捕獲。ゼクスは地球からの探偵大罪スリルド・ビースクワフトと対し、アムに会見を確む。

第22話  
「独立を巡る戦い」

アンから宇宙での行動の自由を与えられたゼクスは、O2とO10とで脱走。代表者のギンターは旧属合軍を率いてO2の防線に抵抗を続けていた。折しもデイル・ミュンヒンゲン(O2)とO10への侵襲作戦が開始。ゼクスはトルーグスで防戦に参加するが、李星堂軍曹(リッジ)のピームガンがO10に暴走を定めると、その危機をトコフが救う。一方、新型MO生産のために月面基地に向かっていたO2の指揮者ツバロフの前に、奮ったジェンロンガンダムが現れる。五飛はガンダムの強化のため、おそえてO2に運ばれ去った。

第23話  
「死神に戻るデュオ」

月面基地ではゾロフの命令により、5人の科学者達が新たなMSを開発していた。だが、その地で新たなデュオとシェンロウガンダムとの再生と改造が囁かれていた。一方、デュオはOZの戦艦兵を装った月面基地に潜入を試みながら、重中に出会った志願兵の少女ヒルズに情えられる。戦いの果ては命をいれたデュオの勇躍にOZへの疑問が生じたヒルズは、彼の月面基地潜入を助ける。デュオは科学者達と兵士との交流とシェンロウガンダムを発見。再び死闘に突入する。あえて情をこめて、抱擁される。

第24話  
「ゼロと呼ばれたG」

02の登場人物が何者かに襲われ、消滅した。異事者は次に民間コロナを収束すると宣言、メンに命じられカトルは、ピロと共にメキシコとグアイアティレで避難に出る。この際の機嫌こそ、ウィングガンドムゼロに重たかったのだ。カトルは武力へのおぼしめしから、ピロとピロにさえ取手を始める。報告を受けた人々の科学者は、それが自分たちがかつて設計したオリジナルのウィングダムではないかと推測。カトルが判断しきれずに暴走しているのではなにかと不安を覚える。コロナも底流するから破壊すると言ふカトルに、ピロは難いと言ふ。

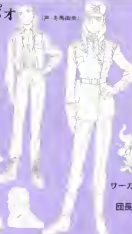
## Episode 21~41 各話設定 キャラ

## サリィ・ポオ

[声: 長谷川裕見]

元演者の軍医で少佐。オペレーション・ディブレイクによって激高解任後は、中東地区などでOZに対抗するグリナリとして活躍していた。ガンダムパイロットたちと関わり、支える立場になる。

## サリィのグリナ仲間



## キャスリン・ブルーム

トロワが地獄での暴走先としてサーカス団の形見スター。トロワに対して姉のように振舞い、なにかと世話を焼く明るく活発な女性。しだいに暗く覆って行く場所として認識されるようになる。

## サーカス団のマーク

団長

[声: 高木紗織]

## ヒルデ・シュバイカー

コロニー生まれの少女。自分の家郷を守るためOZに入隊。同じ自国ながら敵対しているガンダムパイロット・デュオに出会い、OZの暗黒な正面目に疑問を投げかける。



[声: 長谷川裕見]

## マグアナック隊

地味な中東の編れ型に本場を置く独立部隊。バトロンでもあるサザワルの存在。ラシートを原素としてカトルに登場を導く。気が強く姉のたつと、40人のMS乗りがおりやたち。



サザウル

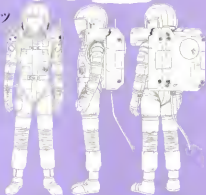
アウダ アフマド

ラシード・クラマ

アブドル

## 民間用アストロスーツ

この世界における宇宙服の標準型。OZ、OZな性士官房、連合、コロニー側、反逆者によって様々なデザインのものがあるが、宇宙空間で活動できる機体の生命維持を目的としている。



## ドーリアン外務次官

リリーナの育ての親。元々はピースクラフト王家に仕えていた。地味とコロニーの平和的共存のため、様々な問題を平和的に解決しようとしていたが、OZに暗殺される。

## バーガン

ドーリアン外務次官に仕えてきた専断。ドーリアン家が弱くなってからは、リリーナの専横策士として、ピースクラフト家に仕えた。

## カトルの父

地球側を多数派とするアブラ系部族。L4コロニーと地球の交差点の突如と立つ立場にある人物。

## 超老師・竜紫鈴

しもコロニーの指導的立場の老人。中絶系らしくしもコロニーは歴史が古いよう。老練も年輩不承である。

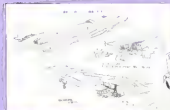
ドーリアン夫人

カトルの姉



## 航空機

MSを主力戦闘機としているこの時代ではあるが、航空兵力はいまだ有効なものである。MSや飛行機を運搬する輸送機はもろにちるんが、最近では戦闘航空機も多く配備されている。だが、時代ごとの新兵器は多い。



OZ超高速輸送機

## 戦闘車両

戦車や、装甲車、トラックやミサイルを装備した戦車など。数々の世界の戦車や戦車に似ていて近しいトラックを持っているのが特徴的。すべて機動の速い戦車などで構成されていたのだが、最新戦車であるガンダムは機が立たなかった。



連合主力戦車



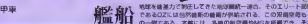
OZ輸送機



連合主力戦車



多連装ロケット車



装甲車

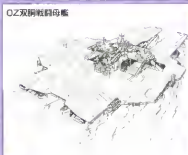
## 艦船

地球を機動力で到達して地味な戦闘一掃。そのエリート部隊であるOZには、空母や戦艦の艦船が配備される。この空母は空母そのもの一機である。本艦には、多連装の対空ミサイルを装備で、それだけで移動基地としての能力を持っている。



OZ潜水MS母艦

反戦艦戦闘艦。OZが使用する潜水艦も反戦艦となっている。通常の艦だけでなくこの形になっていった理由。出力を大きくするなどの理由でなく、MS搭載機や、武器の充実など、そのペイロードを増やすことが主な目的だったようである。



OZ双戦艦母艦

## 第25話 「カトルVSヒヨロ」

カトルのウイングガンダムゼロはトロフのグワイエイトを大量さは、ヒヨロのメルクリスもも圧倒する。ゼロのツインバスターライフルが放たれ、メルクリスを撃破すると思われた瞬間、トロフのグワイエイトがそれを受けてとめる。爆発し、「重しはカトルに落すてくれなさい」という言葉を残してトロフは消息を絶つ。その頃、宇宙要塞/リッジのアンは、月基地のツバロフと戦艦を開始。空軍機を止められていたデュオ、五郎と5人の科学者の解放に成功する。だが、その代償としてアンはツバロフの統制に陥れるのだった。

## 第26話 「燃えつきない流星」

失意したトリーズが意図せず、スペシャルズの戦士達は、財団と真っ向から対立。が、新型MDビルゴを投入してきた財団に、真・量ともに圧倒される。一方、月面基地のツバロフはウイングガンダムゼロの破壊とガンダムパイロットの処刑を遂行しようとしていた。だが、ゼロ・システムに興味のあるトラント特務はヒヨロを乗機にそのデータを得ようとする。ゼロ・システムによって戦う意志を増強させたヒヨロは、5人の科学者達に殺害を向け。だが、幻覚の中に現われたリリーナを見て正気を取り戻す。カトルは混乱に陥れ、ヒヨロを連れて地球へと向かう。

## 第27話 「勝利と敗北の軌跡」

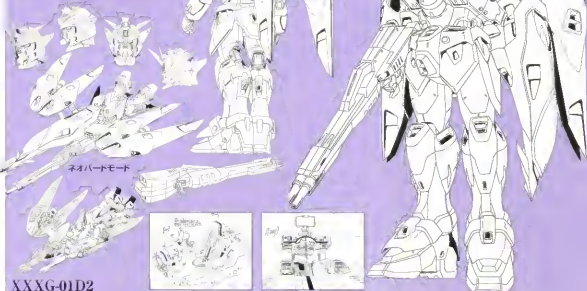
リリーナはサンクキングダムを再興し、ピースクラフト皇の王女におさまっていた。だが、探し求めるヒヨロの行方は依然として知れない。そんな彼女の胸にヒヨロとの思い出が重なる。オペレーション・メサオによってコロニーからウイングガンダムに乗りこえたヒヨロは、セクスに捕らえられ海中に沈む。海岸に打ち上げられたヒヨロと初めて出会ってから、南極での戦いまでを、そこでリリーナはセクスが元ミリアルドだという事実を告げられる。リリーナはその後のヒヨロの行方を追いつながら、彼が戦っているのを知っている。

## 第28話 「すれ違う運命」

OZ戦艦の座を逃したトリーズはロームフェラ財団本部に襲撃される。トリーズは重しい自然を守ろうとした財団の理想に賛同し、スペシャルズを救った。だが、今は反逆の軍を率えたガンダムのパイロットたちとつかつての盟友に思いを馳せていた。剣で勝負を挑んできた五郎、騎士として純粋な戦いを挑んでいるセクス、トリーズの理想を实践するために宇宙に上がったアン、トリーズは自分が見つめかねる自由を手に入れたと考え、次の舞台に向けて準備を進めていた。新たなMSガンダムエビオンをつくり、立ち上がる時を。

## XXXG-00W0 ウイングガンダム0

15年分 5人の乗士が開発を進めていた実験用のMSで、真流は結城ネオ・バードモードへ変換することが可能。真流はコロニーを破壊できるウイングバスターライフル、ゼロシステムを搭載し、機体が求める性能までパイロットの能力を引き上げる機能を持つが、設計段階で破壊された。



ネオバードモード

## XXXG-01D2 ガンダムデスサイズH

ガンダムデスサイズHは5人の乗士が、パイロットの専用機として設計された。パイロットの専用機として設計された。パイロットの専用機として設計された。パイロットの専用機として設計された。

コックピット



## XXXG-01H2

### ガンダムヘビーアームズ改

ハードによって空間認識能力が改造されたが、元々機体構造が複雑な機体のため、改造後はビームガトリングを2連装にするのみに留め、むしろバーニアやスラスターの増設は行われなかった。改造されたように、機体も少なくなったようだ。



自爆スイッチ



## XXXG-01SR2 ガンダムサンドロック改

機動性が失われて空軍空軍では満足に戦えないため、ランドセルにスラスターを内蔵し、機体各部にハーニアを埋め込み、手持ち砲の火薬としてハイロームマシンガンを採用。

増強されたシェンロンガンダムを改修した機体。両脚をドゥゴンハンクにし、肩中に入らスターユニットとハイロームマシンガンを追加するなど武装を強化した。

## XXXG-01S2 アルトロンガンダム

## OZ-13MS ガンダムエピオン

トルギス、ウイングゼロなどを参考にトレースが模したMS。エピオンとは「次の」という意味の再編で、次の時代を代表するためのゼロシステムを組み合わせるため、それゆえに高機動を保持する。武器はビームソードとビームロケットのみの、前進突撃戦に特化した。

コックピット

パイロットスーツ

MAモード

## 第29話 「戦場のヒロイン」

リリーナはピースクラフト王の偏愛した完全平和主義を継承者にあたる。そんな中、李蘭に1人の少女が転校してくる。ロームフェラ財団の幹部、デルマイユ公爵の孫娘ドロシーだ。ドロシーは戦争が好きだと公言し、ノインとバーガンは警戒心を抱く。一方、地球に降り立ったヒロイとカトルは財団の支配に疑問を持つ南島の小国の符音タウンセントに助けられる。だが、財団は2人の身柄の引き渡しを要求。ヒロイとカトルは妥協を迫られて部隊を編成する。一方、ノインはウイングガンダムを脱走中のサリイと出合い、サンクキングダム防衛のためにガンダムを譲り受ける。

## 第30話 「リリーナとの再会」

OZとトレース派が激戦を繰り広げる中、ヒロイはトレース派の部隊に兵士として身を投じる。だが、カトルは主義も明確でない戦争への参加を拒否し、OZの駐留する街をさまよう。その街はサンクキングダムの平和主義に賛同し、OZへの暴力を拒否していた。ヒロイはトレース派とOZとの戦場になった街の市民を救うため、ガンダムパイロットだと名乗り、高の注目を引き付ける。ヒロイによって市民は戦争避難することができた。そこへノインが現れ、2人をサンクキングダムへ案内する。ヒロイはリリーナと再会する。

## 第31話 「ガラスの王国」

ヒロイとカトルはリリーナの学園に転入。ヒロイに興味を持つドロシーはフェンシングで勝負を挑み、彼の反応をうかがう。一方、負傷したトレース派の部隊がサンクキングダムへ進入し、追われてきた。羅漢の口実が欲しいOZの隊員だ。リリーナはOZの目的を知りつつも、トレース派を亡命者として受け入れようとする。だが、彼らはそれを断り、自衛を決意する。ヒロイは、捨てた命を王座を助けるために使えと頼み、ノインとカトルも参戦してOZを撃退する。リリーナは王国防衛の軍艦を遣らる。

## 第32話 「死神とゼロの対決」

宇宙でOZの物資輸送船が襲撃する事件が相次ぐ。ガンダムデスサイズヘルの完成を急ぐデュオの依頼だ。一方、ゼロ・システムに興味を覚くトラント特務は、ツパロフに無断でデュオをテストに協力させる。だが、徐々にシステムに取り込まれていったデュオは、コロニーを襲撃する幻影を見て、テスト報酬を拒否。そこへツパロフが派遣したOZの部隊が到着し、トラントに投降を呼び掛ける。トラントは自らウイングガンダムゼロに追従し、部隊を増強。デュオはデスサイズヘルで追ふようにするが、固定するトラントはゼロ・システムに飲み込まれ宇宙の闇へと消える。

## Episode21~41 各話設定 キャラ

## リリーナ・ピースクラフト

サンクキングダム所属。外交官ドーリアンに託されていた王女。自分の出生の秘密を知り、サンクキングダムを復興し世界平和主義の新しい道を樹立した。が、大敵軍に奪われロームファウに囚われ、財団が敵として地球の女王に祭り上げられる。



クイン・リリーナ

ホワイトファング制服の  
ヒイロとヒルデ

昔々の自約からホワイトファングに加入したふたり。この時代は専断でなければ、たとえ10代でも戦場にいてもおかしくないようだ。

## ホワイトファング

コロニーの独立を勝ち取ろうと、OZ内部でのトレース計画の作戦に乗り、ゼクスを総司令とする秘密軍事行動にでたカーンスをリーダーとする秘密軍団。オペレーション・メテオの立案など、かなり早い時期から参画していたと考えられるなど、徹底的なテロ計画の参加者だ。



少年時代のゼクス(ミリアルド)



## ミリアルド・ピースクラフト

ゼクス・マークスの本名。一度はピースクラフト副団長として知りリリーナの友達をしていたが、ホワイトファング総司令となり「地球の解放」を目指す。その経歴は地球連邦の政界を淘汰させること、戦いの強さと凶悪な破壊力をもつ人々に惹かれ、それによって完全平和の世を築くべきだとしていた。

スパイ時の  
セディッチ

(興・市注画)

## ロームフェラ財団

地球圏で強大な勢力を持つ、数々の王朝遺産を母体とした特権階級が創設した巨大財団。伝統と格式を重んじ、数々の奇蹟と強大な力の源としている。その力は地球圏に達し、戦いを許さずとも、ひとの強大な軍力を支えるスポンサーでもあった。トレスの暴挙前、他政権の政治を監視し、リリーナを救上げた。財団幹部はデルマイユ侯爵。

## ウェリッジ侯爵



## ドロシー・カタロニア

ロームフェラ財団の幹部デルマイユ侯爵の再婚にして、彼の戦争マニアの好相手。父親は連合立前年の戦争で亡くしている。父に「戦い」戦争というものを理解するた、戦いの中心地にもなり得るリリーナに近づき、さらにホワイトファンクに参加し、ミリアルドの行動をサポートしていった。

(声・松本美香子)

リムジン

デルマイユ公爵

## ツバロフ技師長

ロームフェラ財団所属の科学者。OZの最新兵器を開発してモビルスーツにインストールした。また、巨大艦艇リリーナも匠の技によるもの。彼にとっては戦争など、兵器開発の場にとしか思っていない。

(声・松本美香子)

OZ用アストロスーツ

男性用

女性用

## 第33話

### 「孤独な戦場」

OZのMSで降下戦「オペレーション・ノヴァ」に差し、ゼクスはバワードの宇宙艦艇ピースミリオンからトルギスで迎撃する作戦に出る。これに対し財団はゼクスの正体をミリアルドと断定。リリーナに彼の行動を監視する。リリーナは否定するが、デルマイユはワンクキングダムの特権性を排除するため結局にリリーナの暗殺を命じる。が、ドロシーの情報で暗殺は失敗に防がれる。トレス派を一掃したい財団は、MS部隊を両派の戦域ルクセンブルク基地に降下させる。ヒロはフイングガンダムとその破壊へと向かうが、圧倒的な数の敵を前に苦境に陥る。

## 第34話

### 「その名はエビオン」

トレス派の捨身の攻撃で救われたヒロは、トレスが言明されている艦隊へ向かう。トレスは戦う運を失っているヒロのために新型MS、ガンダムエビオンを託す。一方、宇宙ではOZがフイングガンダムゼロを発見し、継続しようとしていた。が、同時にゼクスもそれを発見し、トルギスと引き替えにゼロを奪取する。ヒロはエビオンに乗り再びOZと戦うが、ゼロシステムに翻弄され、OZはわがトレス派や旧地球艦艇一連合の部隊まで全滅させてしまう。エビオンを降りたヒロは「自分にはトレスを救う資格はない」として別れる。

## 第35話

### 「ウフェイ再び」

五飛は敵艦のコロニーでOZの攻撃を受け、一族の長・電撃将はコロニーごと自爆する。五飛は怒りを糧に、完成したアルトロンガンダムでOZと戦い続けることを誓う。ゼクスは並列に共に戦おうと提案するが、ゼロシステムに翻弄され、ピースミリオンを攻撃してしまつたゼクスを五飛は驚と断定する。デルマイユ公爵はツバロフに巨大宇宙艦艇の建造を命令。カトルはガンダムサウドロクを操るべく砂漠へ飛立つ。同じころ、宇宙を巡るキャスリン達のサーカス団に、記憶をなくしたトロフの姿があった。

## 第36話

### 「王国旗幟」

宇宙ではロームフェラ財団に反発するレジスタンスの勢が生まれる。だが、デュオは彼らに同調できず、1人で戦う道を選ぶ。そんなデュオをヒルデは気分転換にとサーカスへ誘う。デュオはそこに出現したヒロの少年がトロフだと気付くが、彼はすべての記憶を失っていた。一方、地球では財団がワンクキングダムへの復讐を開始する。ノイン、ヒロ、カトルは防衛するが、ドロシーは忠告の存在こそが戦争の原因なのだとリリーナに突きつける。リリーナは母艦の滅を運び、王座を解体。自らの身柄を財団に預ける。

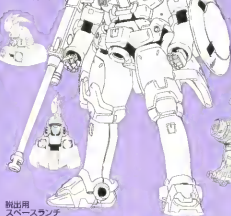






## OZ-00MS2 トルギスII

トルギスが、いすこみに  
改造されていたトル  
ギスIIのパーツを装  
備。顔の立てた機体は  
基本的にトルギスII  
とまったく同じ



脱出用  
スペースランチ  
ビースミオンからハ  
ードから出たときに  
利用する宇宙船。這  
り回すのに、3〜40mク  
ラスと意外に大きい



## スペースシャトル各種

ガンダムWの世界、つまりアフターコロニー圏は、  
コロニーと地球との行き来が簡単に打なれている。  
地球のなりゆきとしてスペースシャトルとい  
う輸送機がそのメインの交通手段となるため、  
しつこく多くのシャトルが活用されていた。  
大抵高価な個人所有のシャトルも持っていたま  
うた。しかしOZのシャトルのデザインがゴゴイ

トレス専用大型  
スペースシャトル

レディ・アン専用  
スペースシャトル

民間用  
スペースシャトル

スペースシャトル

ツバポフの  
スペースシャトル

OZの  
スペースシャトル

## ウイングガンダム 打ち上げブースター

レディ・アンが乗り込み、戦場から打ち上げられたウ  
イングガンダム。大型のブースターユニットでバードモード  
を召み込むようにして形成されている。



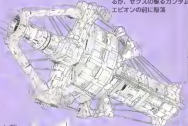
宇宙要塞バルジ

OZ宇宙最大の軍事拠点。コロ  
ニーを破壊し勝るピーム砲を装備  
している。OZの支配に達する日  
連白星との戦いで使用されたが、  
レディ・アンの奮闘で封鎖。



宇宙要塞バルジ改

OZの拠点であったバルジを改造した要  
塞。エンジンと増設した強力なビーム砲  
を強化して、リーフに対抗しようとし  
るが、セックスの襲撃でガンダム  
エビオンの前に敗退



カトルの  
スペースシャトル

荷物用  
スペースシャトル

輸送用  
スペースシャトル

## 第37話 「ゼロVSエビオン」

エビオンのゼロ・システムの影響を受け暴走す  
るヒロは、宇宙から運送したセックスのウイ  
ングガンダムゼロと戦い、同系列のシス  
テムを有するガンダム同士は戦いは地味な確  
る。システムが極限まで駆使された結果、ふた  
りは正装を取り戻す。ヒロはゼロに乗っていく  
とセックスに助け、セックスはエビオンに乗るとを  
了承。それぞれの運命と別れていく。その後、ロ  
ームフェラ財団に運送されたリリーナは、戦争が  
始められるなら封閉の代表に就くとを承諾。  
宇宙ではコロニーの革命地帯ホワイトファン  
グが決起し、戦闘リープを制圧する。

## 第38話 「女王リリーナ誕生」

サンクキングダム崩壊後、ノインとカトルは宇宙  
に落ちた。ノインはOZとホワイトファングに戦  
いを挑む五羽に共戦を申し出るが、五羽は自分  
一人の戦いに固執する。一方、カトルはデュオと  
再会し、トロフのいるサーカス団へ案内される。  
記憶を失っているトロフにカトルは衝撃を受け  
るが、ガンダムという言葉に触発されたトロフは  
カトルの姿を追う。地球ではデルマイユの候補  
しを受けたリリーナがロームフェラ財団代表就  
任を告げ、世界国家設立を宣言する。それはロ  
ームフェラ財団の地球完全支配を意味していた。

## 第39話 「トロフ戦場へ帰る」

世界国家の統一を正当化しようとするデルマイ  
ユ公議の暴政と暴政に、財団の最高幹部は  
リリーナの完全平和主義を支持しはじめる。公  
議は批判の矢面に立たれるが、これを踏んで  
残っていたのは暴政のドロシーだった。宇宙では  
ホワイトファングが台頭し、反ロームフェラ財団  
の一大勢力になりつつあった。指導者のカーン  
ズは地上にいたセックスと接触。自分達のリーダ  
ーになつくと要請する。その頃、ノイン・カトル、  
トロフの3人はOZ宇宙軍の攻撃で危機に陥つ  
ていた。トロフは記憶がないまま出撃するが、デ  
ルマイユ・ヘルに乗り込んだデュオが救出に現れる。

## 第40話 「新たな指導者」

ハウードの戦艦ピースマリオンは、デュオ、カトル、  
トロフ、ノインの乗るスペースシャトルを取  
留する。一方、地上では武器の放散を主導する  
リリーナとデルマイユ公議が衝突。公議は来た  
るべき日のために兵力を遣出すべきというドロ  
シーの助言を受け入れ地上を襲われるが、ホイ  
ットファングの襲撃を受けて命を落とす。そんな  
中、ホワイトファングが建造を進める巨大宇宙艦  
リープに五羽が襲撃を仕掛けた。その放散を  
利用し、ホワイトファングは、セックスを戦艦前  
に立て、地球の解放を宣言する。

●OVA / 劇場版 基本設定

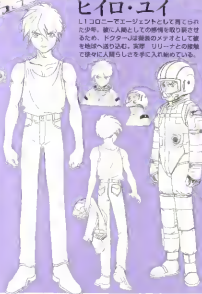
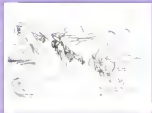
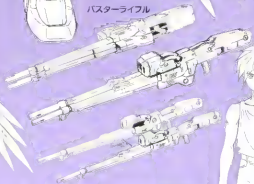
# XXXG-00W0ウイングガンダム0

鳥の翼のようなウイングユニットが特徴的なガンダム。OVA「エンドレスワルツ」は、「TV版デザインガンダムを改造した」という設定ではなく、「もともとガンダムたちはこういったデザインだった」という前提の上になりたっている世界観である。ネオバートモードには変形しないが、翼で体を包み、プロペラントタンクを拡張した高機動機をとることができる。

バスターライフル

## ヒロ・ユイ

11歳の少年でエージェンツとして育てられた少年。素人入隊としての覚悟を取り戻させるため、ドクター・Jは最後のメソッドとして彼を地球へ送り込む。実際、リリーナとの接触で彼に人間らしさを手に入れ始めている。



## カトルの惑星間宇宙船

太陽へ向って飛躍されるカンドムを用いるため、カトルがマグナアクア艦とともに乗り込んで、MSを多数搭載できる。



## ガンダム封印カプセル

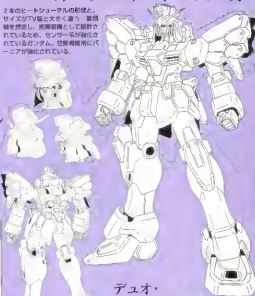


戦いがなくなった海面上に、争いの火種になるガンダムは必要ない。太陽に飛躍しようとしたカプセル。



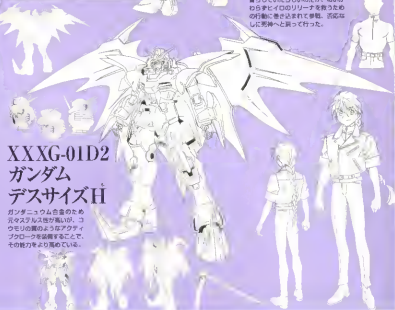
## XXXG-01SR2 ガンダムサンドロック改

2本のヒートシールドの配置と、サイズがTV版と大きく違う。音階機を想定し、両腕機として設計されているため、センサーが強化されているガンダム。空間感知能力にバリアが強化されている。



## デュオ・マックスウェル

地球をめぐる戦争は、ごく普通に暮らしていたらしいのだが、あいつらサビイロのリリーナを救うための行動に巻き込まれて参戦。正気なしに死神へと異なっていった。



## XXXG-01D2 ガンダム デスサイズH

ガンダニウム合金のため元々スラスター性能が高い。コウの山の麓のようなアサティブコロニーを破壊することで、その能力をより高めている。

## 第41話 「バルジ攻防戦」

ホワイトファングがOZの宇宙での最大軍事拠点、宇宙電脳バルジを攻撃した。ノイはゼクスとの真意を問うため、カトル、デュオ、トロワと共に戦艦宙城へと向かう。しかし、ゼクスはノインに期待のいく影響を与えぬまま、バルジをエビオンのビームソードで切り裂く。一方、宇宙へ上がる決意をしたヒヨロはOZ宇宙艦隊を襲撃。その場にガンダムヘビーアームズを回収してきたサリィと共に空へ向かうことになる。ゼクスのホワイトファング参加はリリーナを置いての立場に違いないが、重をまとめたトレーズがクーデターを執行。リリーナを更迭し、再びOZ総帥に返り行く。

## 第42話 「リブラ発進」

トレーズの元へ、バルジから脱出したニコルがアンを伴って参軍する。バルジは意圖を失ったままのアンに、自ら罪を背負い、リリーナのために最善を最善の決意を固められる。そのリリーナは地球と敵対するゼクスを止めるために宇宙へと向かっていた。一方、五飛はアルトロンガンダムに隠れた敵意を隠していたが、隠れ不能になっているところをヒヨロとサリィのシャトルに拾われる。そこにホワイトファングの追撃部隊が現れる。ヒヨロは五飛にキングガンダムゼロを貸し、五飛はその戦艦の中でヒヨロと共にゼクスとトレーズを倒す道を見いだす。

## 第43話 「地上を撃つ巨光」

サリィ、ヒヨロ、五飛はピースミリオンに合流した。一方、バルジを失ったOZ宇宙艦隊の残党がコロニーの1つを占拠。ホワイトファングにリブラの明け渡しを要求する。そのコロニーにキャスリンのサーカス団が避難中だったことを知ったトロワは、キングガンダムゼロで出陣。トロワは戦艦中、ゼロ・システムの影響を受けてコロニーを破壊しようとしてしまう。だが、カトルの必死の呼びかけでトロワは記憶を取り戻す。ガンダムの活躍でコロニーは解放されたが、ゼクスが突如としてリブラの主砲が地球に突き刺さる。

## 第44話 「出撃Gチーム」

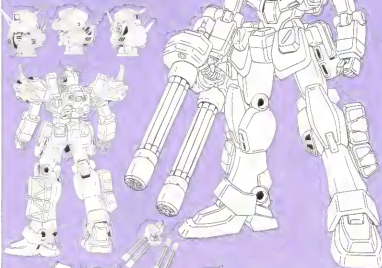
リリーナは戦艦リブラに乗り込み、ゼクスに戦いをやめるよう説得する。だが互いの西は平行線なため、ゼクスはピースミリオンに大量のMO部隊を差し向ける。デュオ、カトル、トロワ、五飛は決意を出るが、相手の意図が判明にあることを知ったカトルは作戦の必要性を痛感する。そんなカトルにヒヨロはサンドロックにゼロ・システムを組み込み、作戦行動に使用すると告げる。カトルの指揮するガンダムチームは、同じくゼロ・システムを応用したMO指揮システムを操作するドローシーを操り、戦況は逆転する。

OVA／劇場版 基本設定

# XXXG-01H2

## ガンダムヘビーアームズ改

1 コロニー内部に本機を収めるバートン社が完成させた無双級高機動の攻撃型ガンダム。本来は特務の兵器。トロワ・バートンがハイコロトだったが、ドクトルが偽のオペレーションメモを収めたため、メカニックマンの少年「名無し」がその名を知りて盗取することとなる。



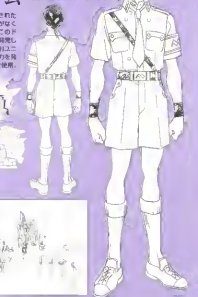
# トロワ・バートン

戦争後もサーカス団にいたため、ずいぶん古臭くなったトロワ。名機であるバートン機匠の弟とを知り、マリー・メアに嫁入するも、逆に事柄をばらされてしまい、一時はサーベントを雇ってヒヨロたちに敵対することになる。



# 張五飛

カトルの呼びかけに応え、ガンダムを奪取せず、戦場を離れ、仲の正敵を模索し続けた彼は、マリー・メア嫁に参画。ヒヨロと戦場をあることで、戦の正敵と向きを知ることになる。



# XXXG-01S2

## アルトロンガンダム

TV版では全体に大きく異なるリデザインがなされたアルトロン。肩部のスラスタやビームキャノンがなくなった。胸のギミックが最も変更点である。このドラゴンハングという、いかに中核系コロニーが破壊したらしく設計された超超超超の超コロニー火炎弾にニートは、機体保存で無敵と云うの想像の超超超でも力を使っている。マリー・メア嫁にあっては百戦はナタクを使用。

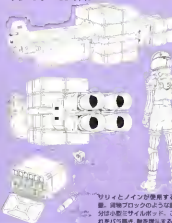


## OZ-00MS トールギスⅢ

大滅しの器となったゼクスが乗ったMS。トールギスの手帳パーツを再び組み立て、各部を強化した機体らしい。シールドはガンダムエビオンと両面のヒートロックと、ビルゴと緑のビームキャノンを展開している。



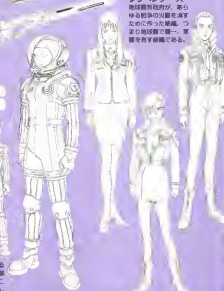
プリベンターのシャトル



サリィとノインが使用する。異物ブロックのような部分の型とサイロポッド。これをバフ管に、機を駆動する。

### プリベンターズ

地球連邦の対抗が、あらゆる戦争の戦場を満すために作られた組織。つまり地球連邦に、軍閥を有する組織である。



## 第45話 「沈黙の予感」

OZは地上の全兵力を資源衛星MO-IIに結集する。対するホワイトファンクはリーブラの主戦が故障のため、ゼクスは休息中に入っていた。そんな中、無意にふけるリーブラに声をかける者があった。リーブラのデータを手に入しに潜入してきたビルデだった。2人はガンダムパイロットを共闘の覚悟に心を固めて闘り合う。ビルデはピースミリオンに勝つが、リーブラはリーブラに落ちることを決意していた。リーブラを救出したビルデはヒロとトロウのデータを読み込んだメリクリウスとヴァイェイトに追撃される。救援に出たデュオはデスサイズヘルで2機を撃破する。

## 第46話 「リアルドの決断」

ヒロは単身リーブラへ潜入し、リーブラを探し出す。だが、リーブラはまだゼクスの制御をきかされておらず、ヒロは自分も制御されることがあると2人でゼクスの元へ赴く。ゼクスは2人に自分が目指す所を語るが、それはリーブラの理解を越えたものだった。その頃、トレスのトールギス2号機に率いられたOZの部隊がリーブラに接近しつつあった。トレスはゼクスに1対1の決闘を申し出るが、ゼクスはそれを拒否。リーブラの主戦で夢中そうとするが、ドロシーの初戦で外す。その一瞬、アンガウイングガンダムで駆け付け、身を置いたトレスを守る。

## 第47話 「激突する宇宙」

地球軍とホワイトファンクの戦線は互角に展開。ガンダムパイロット達は宇宙の角峰となるのはゼクスの方だと判断し、リーブラへと急襲する。が、エビオンとビルゴIIで迎撃に出たゼクスに苦戦させられる。その隙、リーブラは戦列を離れ地球へ帰路を変えるが、サリィはそれを阻止するためピースミリオンで体当たりを食う。リーブラを襲撃させたゼクスは、まだエンジンが動くことを知って艦を地球へ向けさせる。ヒロはゼクスとの対決の跡が深たと悟り、リーブラが見守る中、ウイングガンダムゼロに乗り込む。

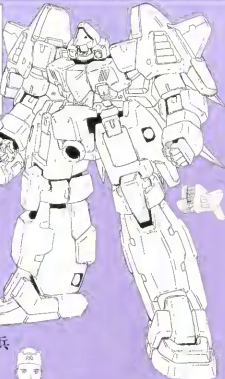
## 第48話 「運送への出撃」

ゼクスは突如とピースミリオンごとリーブラを地球に落とす作戦をカンズに命じる。2機が落下すると、地上は人間居住不可能の大地となる。カトルはリーブラに潜入し故障を呼び掛けるが、同じくサリィとドロシーの剣に刺されてしまう。一方、5人の科学者達はデュオと共にピースミリオンエンジンを点火させ地球への落下を食い止めようとする。その頃、五機はトレスとの決闘のけむりにつけるべく、宇宙で戦っていたが、結果は五機の悪い勝利で終わる。アンはトレス戦死の報を受け、地球の敗北を宣言する。

●OVA / 劇場版 基本設定

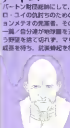
## OZ-17MS サーペント

パートンが戦艦がその動力をつぎ込み、武装増強という名の異のオペレーションメテオのため、ガンダムヘビーアームズに近しい機体形態の機体に改造した「15番目の悪魔」、そしてマリーメシア軍の主力MS。かつてパートンが戦艦が改造したヘビーアームズと簡易的なガトリングガンをはしめ、大型ビームキャノンなどの兵器火器を自在に操る。



## デキム・パートン

パートンが戦艦に就いて、指導者ヒロ・ユイの仇討ちのためのオペレーションメテオの計画者。その美、コロニー一画/自分達が物語を支配するという野望を抱く。マリーメシアの威風凛々。武装増強を行う。原身。



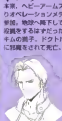
## マリーメシア軍兵

マリーメシア軍一般兵士の制服。X1戦時コロニー一本軍とされるパートンが戦艦の戦艦や、コロニーによる地球圏支配」という理想に共闘した志願兵の集まり。マリーメシアに心酔しているようだ。



## トロワ・パートン

本編、ヘビーアームズに乗りオペレーションメテオに参加、戦艦へ降下して大規模戦闘をするはずだった、デキムの息子。ドクトルからに野望をされて死に。







## ●Episode1~9 各話設定 モビルスーツ

## GX-9900 ガンダムX

石地世界同盟の決戦兵器として第7次宇宙戦争に投入された最強のガンダム。一撃必殺の大出力ビーム砲サテライトキャノンと並走する。本来はニュータイプ専用機であり、Gピンツをコントロールするためのフラッシュシステムを搭載する。ガロードが争い入れたのが工機と搭載されていたネオ・ガンダム。サテライトシステムへの登録にはティファの力が必要だった。

滑空ボース

サテライトキャノン

コクピットハッチ

シールドバスターライフル

ビームソード

## GW-9800

## ガンダムエアマスター

フィックスは装置になったエアバスターが主武器としてこの機体を振り回す。ファイターモードへの変形機構をもつ。機動性を重んじたガンダムである。その代償として火力面では一歩劣る手は受け、最終時機には苦戦を強いられることになる。

ファイターモード

バスターライフル

コクピットハッチ

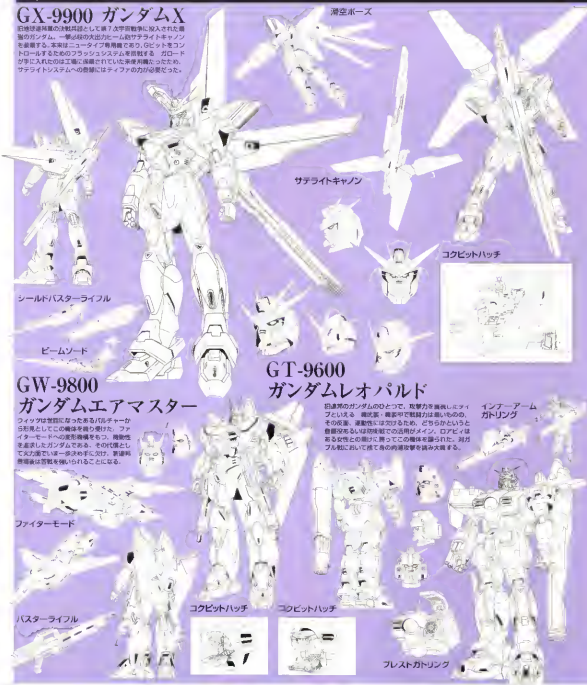
コクピットハッチ

プレストカトリング

## GT-9600

## ガンダムレオパルド

旧連邦のガンダムのひとつで、攻撃力を重視したタイプといえる。機体部・機体部で戦力は高いものの、その反面、運動性には欠けるため、どちらかというところでは、機動性重視の活用がメイン。ロアビィは、ある女性との間に育ってこの機体を継いだ。対ガブル戦において後者の肉弾攻撃を積み大活躍する。

インナーアーム  
カトリング



## NRX-0013 ガンダムヴァサールゴ

新選隊によって開発された、おそらく初登場のガンダムで、パイロットはシャギア・フロスト。両腕のストライクウロによる格闘能力と高度にユニットされたメガソニック砲の火力を併せ持つ。サテライトシステムでもGXに匹敵する格闘力を実現しようとした、いわば試行の機体であるらしいが、そのフォルムはあまりにも異様で、ウィップは「ザクメ・ガンダム」と形容した。

コクピットパッチ



メガソニック砲  
発射形態



アトミック  
シザース展開



コクピットパッチ

## NRX-0015

### ガンダムアシュロン

ガンダムヴァサールゴ同様、新選隊によって戦後に開発された機体で、オルバ・フロストが操縦する。ガンダムタイプで最大の動体視力MSだが、MA形態へ変化するトランスシステムを備えている。俊敏な運動性能を生かして、アトミックシザースにより敵の動きを封じる戦術を得意とする。



MA形態

アルプス級バルチャー艦  
フリーデン

中野クラスの陸上戦艦で、艦内はジャミール・ユニット。高い機動性で生活をとらる。クルーたちにとっては「家」とも呼べる存在。ガロードを宇宙に送り、そのとき、新選隊の移動要塞に特化し大規模した。



Gコントローラー

通常のGXコン ジャミールが制御して、艦内に設置していたもの。GXの制御キーで、右操縦スティックを握る。サテライトシステムのコントロールもすべてこれに集中されている。後にGXコンコントローラーに転用される。

スーパーマイクロウェーブ  
発射装置

月面のこの装置によって太陽発電基地からマイクロウェーブを送り、サテライトユニットにエネルギーを伝達する。



## 第1話「月は出ているか？」

アフター・ウオー-0015。ジャンク屋を営む少年ガロード・ランは、ある日、謎の騎士ライオン・アントから1人の少女の救出を依頼される。ガロードはその少女ティファ・アディールをバルチャーの陸上戦艦フリーデンから救出するが、ティファはアントを見て怯み出す。事情を察したガロードは、ティファを連れて逃走。アントのMS部隊に追われ、旧選隊地下工場に逃げ込む。ガロードはそこで大規模なMSガンダムXを発見する。

## 第2話「あなたに、力を……」

ガンダムXを起動させたガロードは、フリーデンから出現したウィップのMSガンダムエアマストとロアビのMSガンダムレオバルドと交戦。ガロードはティファの命を盾に戦うが、それを目撃していた情報屋によって、ガンダムXの起動を告げるバルチャー艦から逃げられる。100体にも及ぶMSの攻撃で危険に晒されたガロードのために、ティファは特殊能力を発揮してガンダムXのサテライト・システムを起動させる。

## 第3話「私の愛馬は凶暴です」

サテライト・システムによってガンダムXから発射されたサテライト・ビームは一時のうちに100体のMSを全滅させた。その攻撃で死を覚悟した人達の恐怖と悲痛を受け止めたティファは重傷を負う。ジャミールはガロードを投降させ、ティファの治療をフリーデンの医務長官にゆだねる。その頃、アルタネイティブにシャギア・フロストと名乗るMS乗りが現れ、その真実をフリーデンに隠蔽を許して出て海を許される。

## 第4話「作戦は一瞬を争う」

オルバが没した軍艦でティファの容態が急変。ジャミールはその治療のため、アルタネイティブ社の医療施設襲撃作戦を立てる。彼女を救う理由に疑念を抱く黒幕員に、ジャミールはかつて自分がニュータイプとして18年前の戦争に参加した過去を語り、悲劇を繰り返さないためにニュータイプを導いたのだと説明する。ジャミールはロッソ、グリーツ、ロザらと知り合いのバルチャー艦に能力を委ねるが、作戦の情報はオルバからシャギアに漏れていた。

## 第5話「銃爪はお前が引け」

突如現れたシャギアのMSガンダムヴァサールゴの攻撃でフリーデンのメインエンジンは大爆発。ガロードはジャミールから許可を得てガンダムエクスで出撃するが、シャギア・オルバの完全のフォーメーション攻撃に晒される。ガロードはウィップ、ロアビに援護され、窮地を脱出。脱出したティファはジャミールの心と呼びかけ、ガロードは2人の誘導で大型MAグランディエネの撃破に成功する。

●Episode1~9 各話設定 キャラクター

## ガロード・ラン

近頃の時代を一人で生きてきた戦士孤児。北米を流し回る移動のMSを営ってはメカ商に誇りを持つていた。父親は機械の技術者だったという面影のせいメカに強く、その天性の癖でガンダムを乗りこなす。パイラシティにあるある機密的な資料屋に、先着することも多く子あつたに思われがちだが、世間と異けた一面も見せる。ティファと出逢って真実を知るうち、いかに世界の明日に目を向けるようになる。自稱「天下無敵のMS乗り」「食のMS乗り」



(声 島本兼人)



(声 かないみか)



## エニル・エル

流儀の女MS乗り。希世生まれだが父親は高貴な特務。ガロードとの邂逅で意識で、先々で物語に変わる。



(声 水谷妃世子)



## ロアビー・ロイ

フリーデンと契約を交わしているフリーのMS乗り。一見風流な秀才な青年を装っているが、結いではタフなところを発露する。すでに夢遊はなく、確一心を寄せていた相手。ガンダムレオバルドを譲った彼女もこなっていた。

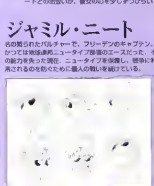


(声 中井和哉)



## ティファ・アディーレ

神秘な雰囲気をもった物静かな少女。縁生まれの身持を重んじたニュータイプで、幼い頃から研究の対象とされてきたため、自分の身に思ひこがちな性癖、ガロードとの出会いが、彼女の心も少しづつひらいてゆく。



(声 堀内真里)



## ジャミル・ニート

名が知られたバルチャーで、フリーデンのキャプテン。かつては地球連邦ニュータイプ推進の要人だった。その能力を失った現在、ニュータイプを保護し、世間と利用されるのを防ぐために個人の戦いを続けている。



(声 堀内真里)

## ウィッツ・スー

故郷の夢を叶えるためにMS乗りになった。たか金で働くことだけが目的だったが、やがてフリーデンに自分の居場所を見いだすようになる。



(声 山崎たくみ)

## 15年前のジャミル

15歳のジャミルはガンダムXのパイロットとして連合軍のコロニー軍として作戦前に参加した。自分の持つニュータイプの能力が世界平和の鍵となつたことに、いまだお察の重責を背負っている。



フリーのモビルスーツ操りとして奮闘するが、正体は新造機開発部所属の個人。弟のオルバとのあいだにテレパシー能力を持つ。要人的な立場で人を導く。危険な場をまたまた兄と



（齊・孟嘗君之）

フリーデマンの操縦手。あまり目立たないが、機体の下の力強い存在。



《声·中利大德》

12歳にしてフリーデンのメカニクサーフを独める優秀なメカマン。モビルスーツの強化と興味。

ナイ

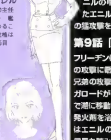
□□□



ロッソ・アラマントと  
ロッキー級バルチャー

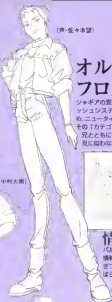


手、 $\gamma$ —



《声·田高半部集》

シャボアの蛋子の弟。彼らの能力はフラッシュシステムに対応できなかったため、ニュータイプとは認定されなかった。その「カテゴリー1」という烙印を償い、兄とともに世界への旅費を蓄った。外見に似合わない美しい男性の顔を持つ。



(齊・佐々木望)



バルチャーやMS乗りを相手に情報売る情報屋。目ざとく噂をつけたガンダム出世の情報をばらまき一儲けしようと企てた。



(附・研究報告)

フリーデンの造物  
士 互いの生き方  
に共感し、よいエニ  
ルと友人になる



オペレーター（長代理を務める）  
ともある。性障  
かなり生産面



ハゲタカが得意。おもに軍需設備から回収した物資を売りさばっている。



「声、三、七、等、乃、」



ジャミルがティファに付きっきりで面倒くないガ  
ロードは、MS工場跡地で作中中、不注意から  
事故を起こしてしまう。ガロードは名を脱却する  
ためガンダムXで出動、追逃判の動力施設に突  
入し、真材を持ち帰ろうとする。だが、そこへ  
現れたフリーの女MS乗りニルが攻撃を仕掛け  
てきてエネルギーが低下。フリーチームは緊急  
退避するが、非常事態の中、口紅をつけてい  
るティファを助けたらそれは不愉快な感情を覚く

ガールドはジャミルの救援で早くもエネルギーの燃焼から脱出した。だが、ジャミルは重傷を負い、ガールドはその責任をクルールから責められ、フリーデンを飛び出ていく。1人になったガールドはフリーデンの思い出と決断するため、ガンダムXを脱走にかけ、高機を提示したエニルに売ることとする。その頃、ウィッツは隠していた金庫をザットー一族に狙われ、火炎放射攻撃で重傷を負う。

ウィッツはフロスト兄弟に驚かれ、ロアビィに告  
訴してフリーデンに身をまかせ。また、ガロード  
も同兄弟に危ないところを助けられる。兄弟に  
は3体のガンダムと再戦し、勝利する望みがあっ  
た。そのため、ウィッツとガロードを助けたのだ  
った。ガロードは奮闘しているホテルにエニル  
の訪問を受けるが、仲間にならないかというエ  
ニルの申し出を拒絶。ブライドを奮つけられ  
たエニルはザゴット一基と共に、フリーデン  
の猛突撃を開始する。

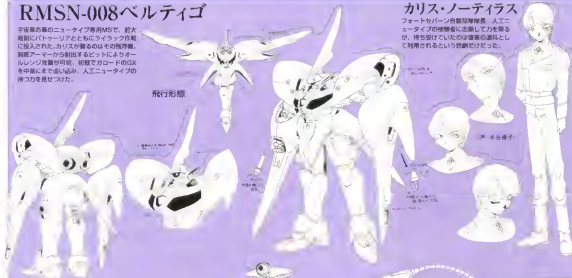
フリーデンはエニルの配属した「炎の時計部隊」の攻撃に翻され、ウィッツとロアビィはフロスト兄弟の攻撃を受けて動けない。そこへ熊一騎、フリーデンが間に合う。フリーデンはサラの指示で速に移動すると、待ち伏せしていたガコット艦が発火筒を浴びせられ猛火に包まれる。ガロードはエニルの攻撃をかわし、ジゼルからの発光信号を読み取ってサテライト・ビームを準備。海面を直撃したマイクロ・ウェーブはガコット艦を大破させる。

フリーデンはティファが望んだ船を頼りに、ニュータイプがいると思われる都市フォートセバーンを目指す。そこにはニュータイプの力による世界統一の理想を掲げる市長ノーマと、自衛隊のリーダーである少年カリスがいた。カリスは近づきつつあるティファの存在を察知し、ティファもカリスを頼り取る。カリスはティファを伴って迎え入れるためMSベルティゴで出陣。ガロードはティファの反対を持ち切りガンダムXで出陣する。

## RMSN-008ベルティゴ

宇宙軍の基のニュータイプ専用MSで、前作、続編にバトゥーリアとともにライラック作戦に投入された。カリスが乗るのはその機体。初期アーチャーから射出するビットによりオールレンジ攻撃が可能。結核でガロードのGXを中傷にまで追い込み、人工ニュータイプの噂つたを見せつけた。

飛行形態



## カリス・ノーティラス

フォートセバーン合衆国隊長 人工ニュータイプの能力者に志願して力を振るが、待ち受けていたのは軍部の道具として利用されるといふ悲劇だった。

(声・水谷雅子)

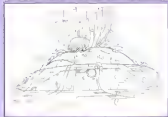
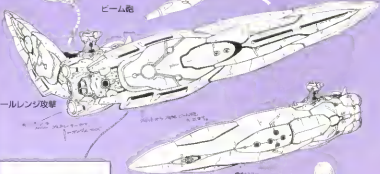
カリス・ノーティラスの全身像

## MAN-003バトゥーリア

宇宙軍企業地の特殊作戦「ファイラック作戦」に投入された。巨大なニュータイプ専用MA。5機のベルティゴとともに地球に降下するが、逆位の位置によって作戦は失敗。フォートセバーン市の地下に隠されて10年経ちの間にいた。しかし作戦の発端を告げるドワード博士は人工ニュータイプ、カリスを助め込みついにバトゥーリアを起動。これによって彼は文字どおりの火の海と化し、

ビーム砲

オールレンジ攻撃

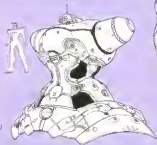


洞窟中のバトゥーリア

市街地の地下に隠されて暴走中のバトゥーリア。中々に変えるが、彼もまた戦いが再び始まるようとしている。



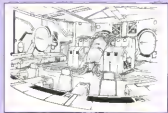
人工ニュータイプ治療カプセル



(声・中田和宏)

フォートセバーン市長  
ノモア・ロング

自衛隊年の理想を掲げる市長の正体は、ライラック作戦に同行していた宇宙軍の科学者ドワード博士。彼は地球に潜伏し続け、突然に勃つた作戦を実行する機会をうかがっていた。



コントロールルーム

カリスを収めた中央のカプセル。彼を動かすのは、操縦というよりもコントロールシステムの部品として扱われるといったほうが近い。

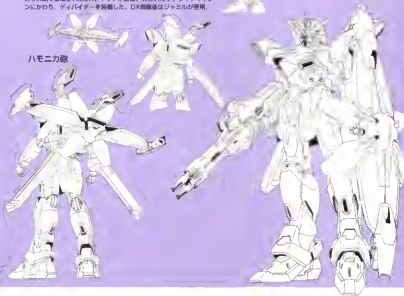
## RMS-007G ジュラッグ寒冷地仕様(ボーラベアー)

ジュラッグは宇宙軍司令部が地上戦用に開発したMSで、これは寒冷地向けのバリエーション。劇中ではフォートセバーン自衛隊が使用した。スノーボードに似た機上降参用のオプション、スレッジを装備。



## GX-9900-DV ガンダムXディバイダー

カリス劇で破壊されたGXをキットが改造、失われたサテライトキャノンに代わり、ディバイダーを装備した。GX機體はジャミルが使用。



## 第11話「何も考えずに走れ!」

ガンダムXはベルティゴのビット攻撃で大破。ティファはガロードを救うため、カリスの要求に応じてフリーデンを離れた。その頃フロスト兄弟は、新連邦政府関係機関の大型施設の中に入った。2人は、地球に新たな政府を樹立しようとする「新連邦政府再建委員会」のエージェントで、ニュータイプの奪取を計画していた。ジャミルはフロスト兄弟の攻撃の最中、ガロードからニュータイプへの拘りを捨てさせるため、彼を氷の湖に運り出す。

## 第12話「私の最高傑作です」

復活したガロードはキットが新築したガンダムXディバイダーに搭乗、新装備のハモニカ路でフロスト兄弟を邂逅させる。一方、フォートセバーン市ではエニルがノモア市と対面し、彼が実はスペースコロニー革命軍の生き残り、ドラーッド博士であることがわかる。エニルの父も革命軍の将校でドラーッドとは旧知の間柄だったのだ。ドラーッドは地球に潜入したままエニルがニュータイプの研究を進め、その最高傑作がカリスなのだった。

## 第13話「愚かな僕を撃て」

ガロードはティファと再会後、エニルに発見されるが、コックビット恐怖症を克服したジャミルに救われる。フリーデンに戻ったガロードは、ノモアがMA/トッカーリアを復活させ、地球への復讐を計画していることを報告する。一方、カリスは自分がノモアに利用され、道ちを犯してしまったと誤解する。カリスはすべてを清算するため、改めてベルティゴに搭乗。ガロードと再戦し、敗れたカリスはガロードにわざと撃たれる。

## 第14話「彼の声が聞こえるか!」

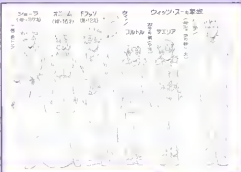
フリーデンで治療を受けたカリスは一心を取り戻すが、エニルに奪取されて復活したトッカーリアに搭乗させられる。ノモアはフォートセバーン市の鎮壓を開始し、15年間に暴走したライラック作戦を地球人類への復讐に回す。一方、ティファは「心が消えていく」と助けを呼ぶカリスの心を感じ取り、ガロードはロアビィ、ウィッツと出撃。トッカーリアを内部から破壊し、カリスを助け出す。

## 第15話「天国なんてあるのかな」

ウィッツとロアビィは休暇を取り、各々の故郷に帰る。ロアビィは遊び相手の女性達を訪問するが、ガンダムレオバルドをロアビィに運ってくれた本名の彼女はずいぶん年になっていた。一方、ウィッツは故郷の村で母が再婚したことを知り、家を飛び出す。傷心のウィッツはバーテンダーに事情を尋ねられるが、その男こそ母の再婚相手だった。折しも村を陥るMS部隊が現れ、それを撃退したウィッツは頼んだ金貨を置いて故郷を後にする。

## ウィッツの家族

当地な身の上ばかりのフリーデンでは驚く事案が頻にウィッソにが、やはり父親と本妻をすてに亡くしている。彼が平居だった時に海軍は再婚相手を見つけていた。



ジェノス・クライシス

DT-6800A  
ドートレストンク

旧海軍の練習用DT-6800Aドートレストンクの上を身に着け、ドートレストンクを組み合わせ、ドートレストンク。ウィッソの父親で、野道よけのために購入していたもの。

RMS-006G  
ジュニス

宇宙軍の練習用RMS-006Gジュニス。ウィッソの父が買った野道ジュニス軍が使用していた。戦時世界でMS乗りたちに広く愛用され、様々なカスタムバージョンがあるが、これは海上専用006標準タイプのまま、特にいい感じではないようだ。



## フリーデン各員・水着姿

一時の休息、海軍で海水浴を楽しむガロード。ザラとトニヤの水着はロアビが見立ててプレゼントしたもの。プレゼントはディファのふんちもったのが初見でなかった。キッドのパンツにも注目。

ガロード



キッド



シンゴ



ロアビ



ワラ



トニヤ



## イルカ

ドーザに連れていってイルカたち。彼らと心を通じたディファは人懐っこいリーダーのイルカを飼いたいと思う。彼女もまたニュータイプであったから。



## ドルフィン・ナビゲーター

漁船のナビゲーターが飼ったイルカの姿を模った本体ナビゲーションシステム。現在はドーザが主と販売を検討している。

ガンダムレオバルド用  
水中オプション

キッドがレオバルドのために製作した水中専用オプション1装備。海中で潜遊時、左手には魚雷発射装置を装備。



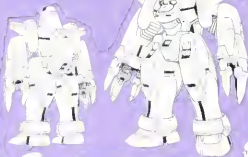
## ドーザ ハロイ

「海の悪魔」と呼ばれるイルカのオス。イルカの調を飼っていたところをガロードのGXと遭遇した。



## DTM-7200 ドーシートⅢ

旧地球連邦の水圏用機体で、水中での機動性に優れる。マークス・ガイが使用し、50%の速さでフリーデンを追い込んだが、リシステムの方で動きを制しられる



### オルクのリーダー マークス・ガイ

潜水艇を使うオルク。オルクの指揮でGビットを回収した際に、機内システムを発見する。



### ポリヘイモス

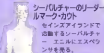
Gビットのサルベージ作戦に使われたマークス・ガイの大型潜水艇。ウォータージェットにより推進する。機内に魚雷発射機、後部にMS発射ハッチがある。



### ハンドメイドMA

#### エスベランサ

サルベージに力点を置いたわがゼムマークが作ったMA。機体最前部のハンドメイド部分から機動力に優れる。フリーデンと両合したエニルはこのマシンで再び戦いの世界に身を投じる。



### シーバルチャーのリーダー マーク・カウ

セイゼンアイランドで活動するシーバルチャー。エニルとエスベランサを誘う。



### マイルズ・グッドマン セイゼンアイランド の入道新参

エニルにプロポーズしたい人。新参者による騒動は、機内におこされる



### レシステム

旧地球の研究機関が機内裏に隠していた。機内電子機器を使用不能にするシステム。フライングシステムの応用



### ルチル・リリアント

システムに組み込まれたニュータイプ。機内で精神を破壊され、たとえ機内の秘密も打ち明ける。



### ルチルとジャミル

15年前、ニュータイプ爆発の被害者となった。ジャミルは上野のみち子に似て憧れを抱いていた。ジャミルにとって忘れられない過去、大切な思い出の場所があった。



### エニル・エル ドレス姿

MSを捨ててセイゼンアイランドでビストの臣主をしていたエニル



### ルチルがのり うつったティファ

助けを求めたルチルに身を預けたティファ。その人びとと快楽は夢と化してはるかに



## 第16話「私も人間だから」

ティファが示した次の目的地は竜の窟に似た洞のある海岸だった。フリーデンはその洞にたどり着き、機組員は海での骨休みを満喫する。そんな中、ティファは夢で見た相手の存在を感じ、ボートで飛び出す。だが、海の機械「オルク」のドーザー艦に発見され、助けに出たガロードのガンダムXは水中に引きずり込まれ苦戦。イルカ連に危機一髪で救われる。そのイルカ連のリーダーである白イルカこそ、ティファが感知した相手だった。

## 第17話「あなたが確かめて」

ガロードとティファは月からのレーザーが水平線の彼方に照射されたのを目撃する。それは別のガンダムXの存在を暗示していた。一方、ドーザー艦は生きたイルカの脳を利用してナビゲーションシステム「ロナビ」を製造するため、イルカ連をハンティングしていた。ティファの機内でフリーデンの乗員はドーザー艦と交戦。人間の機体を一撃を喰ひ取った白イルカは、ロナビの機能を停止させ、ガンダムがドーザー艦を撃破する手助けを行う。

## 第18話「Loreleiの海」

オルバはオルクの一隊マークスに依頼し、太平洋上で旧連邦のGビット機群を引き上げ、女性をカプセルに入れた謎のシステムを発見する。同じ頃、ティファの感応をもとにフリーデンも海域に到着。が、このローレライの海と呼ばれる海域は女の幽霊が出るという噂に恐れられていた。オルバ連とフリーデンの激戦が開始され、ガンダムは苦戦。その間、ティファが別人格を現し、あらゆる電子機器のシステムを停止させ、危機を救う。

## 第19話「あの女性も待っている」

別人格のティファは、ジャミルの連邦時代の教官でニュータイプだったルチル・リリアントと名乗る。ルチルは精神凍結を喰ひて自殺の電子機器を停止させた「システム」の真実機に組み込まれていたのだ。もう誰にも利用されたくないという願いを叶ったジャミルは、ルチルのおかげに精神融合を果たし、Gビット機群を起動させて新連邦の機群を撤退させる。だが、ルチルはすべての力を使い果たしてしまい、亡くなってしまふ。

## 第20話「…また逢えたわね」

太平洋上の都市セイゼンアイランドにいたエニルは、市議員のマイルズから誘惑され、MS乗りを放棄すべきか迷っていた。そこへフリーデンが誘われ、トニヤと知り合ったエニルは彼女の素性を知りたがめまま仲良くなる。が、マイルズからトニヤがフリーデンの機組員だと聞いたエニルは、ガロードへの憎しみを捨てられず、MAエスベランサで強襲をかけて何処かへと去っていく。



## GX-9901-DX ガンダムDX

「運命の力を象徴する新しいガンダム」として、アイムザットがゾンダーエプタで開発させた新機體。かつてジャミルの開発したGXの機體そのものをベースに製作されている。ツインサテライトキャノンの破壊力はまさに絶大で、宇宙軍最強のコロニーレーザーを一撃で破壊した。



ツインサテライトキャノン  
発射形態

ハイパービームソード

ツインサテライトキャノン

バスターライフル

## GW-9800-B ガンダムエアマスターバースト

新機體が新兵器を開発させてきたおかげで空戦機となったエアマスターに、機體の強化改造をほどこした機體。エスタルドのリー将軍からの開発・提供の機體をうけ、キッドの手によって完成した。武器の強化によって火力不足は解消し、機力を大幅に引き上げたことで機動力もアップした。文字どおり「生まれ変わった」と呼ぶにふさわしい変装を遂げている。

ファイターモード



## GT9600-D ガンダムレオパルドデストロイ

ガブルとの戦闘によって損壊したレオパルドの機體で、また機によってキッドが大改造をくれたもの。新に大々的な変更がえられるのは試みで、左胸のインナーアームガトリングが両腕のツインビームシリンダーに換装されたのをほしめ、それまで主役だった両腕系兵器に代わりビーム兵器の強化がなされている。デストロイはキッド機名の命名。



## NR-001 バリエント

新連邦軍が戦後初めての最前線として開発した汎用MS。バランスのとれた設計にノウハウ飛行能力を備えているのが特徴。この機の実用によって一気に制空戦力を充実させた新連邦は、地球連邦国のための戦争に乗り出した。



地球連邦政府・再建委員会



フィクス・ブラッドマン

新連邦軍を支援した新連邦のトップ。地球連邦第一を唱える。フロスト兄弟にあおられて、いったん革命軍との戦争の道を断る。

軍艦造のフロスト兄弟

新連邦の軍人という立場をしっかりと守るフロスト兄弟。しかし自らの野望と復讐を胸に秘めた彼らは次の戦場へと進む。

アシュトンロケットブースター



カトッフの部下たち

カトッフ・アルガミール

フリーデンに潜入した特殊工作部隊の隊長。相手となる軍人である大尉。ニュータイプに深い知識を有しているが、カトッフたちに手を貸して両派を支配する。

ケガをしたエル・エル

開発中のRXを偶然に目撃したために攻撃を受け、負傷したエル。星海の彼女はフリーデンに収容された。



## 第21話「死んだ女房の口癖だ」

フリーデンは政府再建委員会が所有する兵器開発プラントのゾンダーエプタ島に近づく。聖島会に属するアイムザット統合官はニュータイプとガンダム3機を所有するフリーデンに注意を促すが、長老たちは特殊工作部隊の所属だけで対処する決定を下す。星海のカトッフは海軍に化けてフリーデンに潜入するが、ティファに見放かれ、あわや自爆というところを彼女に止められる。

## 第22話「15年目の亡霊」

偶然、ゾンダーエプタ島を通りかかったエルは、開発中のMSガンダムダブルXを目撃する。が、フロスト兄弟に攻撃され、MAエスベラングは破壊。エルは重傷を負い、ガロード連に救助される。エルから未知のガンダムの話を聞いたジャミルはゾンダーエプタ島へ接近するが、島の防衛部隊と交戦状態に入り、その間、逃走したカトッフによって監禁される。カトッフは未知のガンダムは15年前のジャミル島であることを告げる。

## 第23話「私の事は現実です」

投降したフリーデンの乗組員はゾンダーエプタ島に監禁され、ジャミルとティファはアイムザットによってニュータイプ研究所への移送が決定する。ガロード島は撤退を試みるが、エルの機巧で逃亡作戦はアイムザットに失敗。霧地に陥る。ガロードは単身、ジャミルとティファの救出へ向かうが、2人を乗せた輸送船はすでに沈没した後だ。そこへカトッフが現れ、「未来を変えてみる気はないか」と協力を求めて出る。

## 第24話「ダブルエックス起動!」

ガロードとカトッフは輸送船に潜入し、ガンダムRXの機庫へと到着する。だが、起動用のGコントローलはセットされていない。一方、ガロードの動きを感じたティファは、ジャミルと連立してGコントロールを奪取。再会したガロードにそれを手渡し、輸送船からの脱出に成功する。だが、この戦いの最中、カトッフが撃たれて絶命。ガロードはガンダムRXのサテライトビームでゾンダーエプタ島を破壊する。

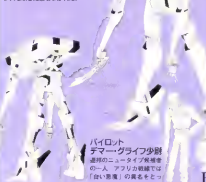
## 第25話「君達は希望の星だ」

政府再建委員会のブラッドマンによって新連邦政府の樹立が宣言された。これに対し世界各地の独立小国が反発。そんな星の1つである南アジアのエステルド人民共和國に連絡のため立ち寄ったフリーデンは、新連邦軍の飛行基地攻撃に参加を要請される。戦闘は新連邦軍が優勢に進め、ガロードはフロスト兄弟に警戒させられる。エルに助けを求め、ガロードは一瞬の隙を突き、サテライトキャンデに飛行基地を粉砕する。

●Episode21-32 各話設定 ゲスト

NRX-007 コルレル

激化した戦況下で開発性を極めた実験機XMSで、パイロットはデマー・グライフ少尉。従来のXMSと異なり、武装はヒューマニティ1本のみの開発でXMSを転写するが、逆に軽さが欠けたり信頼性がバラツキを招いた面もあった。



**パイロット**  
デマー・グライフ少尉  
連邦のニュータイプ候補者の一人。アフリカ戦線では「白い悪魔」の異名をとった未覚醒の若手戦術

NRX-011 プリトヴァ

新連邦の主力XMS。他動的な駆動系はマイクロミサイルを駆使。モノフィラメント・ワイヤー・カッター機能をガロードに見せられ駆逐された。

NRX-010 ガブル

両手の分離可能な、ビームを威力化するフィールドジェネレーターを搭載した実験機XMS。レオバルドの機で戦況で駆逐される。



**パイロット**  
ドゥエー・ラングラー少尉  
通称「軍官戦艦の野人」。機がな兵士と心優しい青年というふたつの顔を持っている二人格。連邦軍に帰参する

ENG-001 エスタルドス

南アジア同盟3国が開発した旧式XMS。リー・ジャクソンは機体で入りにしてこの機体で出撃。連邦に戦って敗つた。

エスタルド人民共和國

南アジアの独立小国。近隣諸国と同盟を結んで連邦に対抗。父の命を継いで国家主権となったウィリスを補佐するルクス。軍司令リー・ジャクソンが父を失った。



ルクス・ハノマック

リー・ジャクソン

国家主権  
ウィリス・アラミス

(声 森久保祥太郎)

新連邦連南アジア  
統一艦隊最高司令  
ロマノフ

新連邦の南アジア地域司令官。同盟3国を分断する5作戦の実行を指揮した

NRMA-006  
ガディール

新連邦の機動MA。機動性を重視した結果、形状は戦闘機そのものの、エマスタースターを改造させたが、主力の機ははるかに汎用性の高いバリエーションに変わっている。

ENG-002 バイロン

エスタルド、ノーザンベル、ガスタールが共同開発した実験XMSで、エスタルドをベースに改造を加えたと見られる。機体として使われている。

**パイロット**  
ミルト・ドライド少尉  
ガブルを操るインド戦艦の「不死身の戦人マシン」。内心は死に憧れていた



反連邦ゲリラリーダー  
デッサ・ティン

新興独立人達を率いて連邦に対する反叛独立組織のリーダー。手帳で戦術を練る。

反連邦ゲリラ  
コリナ・サノハラ

ロアビ・ザリを率いになった反叛独立組織のメンバー。連邦軍の機動に挑む。



MSキャリアタイプ高機動戦闘機

## Gファルコン

旧連邦が開発したガンダムタイプの実験機だが、実験中に暴走した。パーツが乗るのはサテリコンが得意とした試作機。機体内にガンダムを収納した高機動戦闘機や空中にドッキングしたサポート形態での運用が可能。



赤外線  
ホーミングミサイル

Aパーツ

Bパーツ

ガンダムDX  
Gファルコン装備

反政府組織サテリコン

## パーラ・シス

サテリコンの最も少人数メンバー。組織内で生まれ、保護されながら育った。揺るがない宇宙で抱えたガンダムをGファルコンで乗りこえ、地球行動をとらにする。状況でとどろく個性の持ち主。



反政府組織サテリコンリーダー

## ロイザー

サテリコンの総司令。宇宙革命軍にとっては最も目上の人。宇宙のような存在だったが、革命軍の大部分の急襲を受け、革命軍反乱軍の攻撃で壊滅した。



## 第26話「何も喉るな」

ガロードはエスタルドの若き国家主席ウィリスと打ち解ける。折しも同盟国のノーザンベル連合王國が新連邦軍の侵襲を受け、ガロードとウィッツが出撃。だが、フロスト兄弟の密命を掲げたデマー少尉のMSコルレルがガンダムDXを新地に陥れる。戦術家で精密化を図ったコルレルはビームナイフでガンダムの片腕を切断。ガロードはライフルを放銃に成功させ、その面影でコルレルの動きを封じ、かろうじて勝利する。

## 第27話「おさらばで御座います」

ノーザンベルは新連邦に降伏し、同盟国ガスタールは平和条約を締結した。高立したエスタルドには無条件降伏が徹底拒絶の通しなかった。ウィリスは即断で、近所のルクスは降伏を宣言する。だが、誇り高きリー将軍はわずかな手柄を率いて出撃。ガロードとウィッツが後を追うが、フロスト兄弟の刺客、ドゥエート少尉のMSブリットグが立ちふさがる。2人がブリットグを撃って戦場に置いてみると、リー将軍の部隊は全滅していた。

## 第28話「撃つしかないのか!」

エスタルドの紛争から距離を置いていたロアビは、身を寄せていたゲリラの女性ユリナの死に際し戦争への憤慨を露にする。同じく、フリーデンはエスタルドを脱出し、亡命を希望するウィリスを乗客させる。そこへフロスト兄弟の刺客ミラル少尉がMSガブルで強襲してくる。分厚い装甲のガブルにガロードとジャミルは苦戦するが、ロアビの支援でこれを撃破。ウィリスはガロードに刺殺され、自分自身も戦う決意を固め本陣へ帰る。

## 第29話「私を見て」

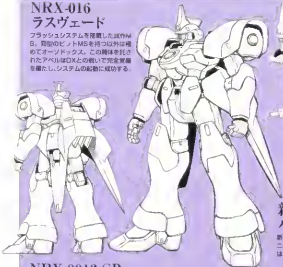
フリーデンはニュータイプ研究所へ行くことを決めるが、ティファが能力に異変をきたし、その場所を特定できない。テクスは、ガロードが世界に目を向け始め、彼女が震え去りにされた寂しさを感じているからではないかという。その頃、フロスト兄弟はニュータイプの有能者アベルを呼び寄せ、フリーデンへ向ける。覚悟したアベルはビッド攻撃でガンダムを苦しめるが、ニュータイプを懐くフロスト兄弟に最後は殺害される。

## 第30話「もう逢えない気がして」

セインズアイランドを寄港するエンルは、スペース・コロニーのスパイだと名乗るニコラに接触。一方、ニュータイプ研究所を訪れたシャギアは、カロン所長と対峙し、ティファを拉致する方法を研鑽する。だが、これはカデゴリーフと分離した兄弟の復讐を遂げるための罠だった。軍を動かしたオルバはニュータイプ研究所を攻撃。その混乱の最中、ティファはニコラによって宇宙へと連れ去られる。

NRX-016  
ラスヴェード

フラッシュシステムを搭載した試作MS。同型のビストM5を持つ以外は極めてオーソドックス。この機体は託されたアールはロムとの戦いで完全破壊を蒙り、システムは起動に成功する。



パイロット  
アベル・パウダー中尉  
フロスト兄弟の真の目的は  
ニュータイプの子孫。奪取  
したアベルは射殺された。

新連邦軍・巡洋艦  
バルトーク

新連邦が建造した宇宙巡洋艦。革命軍のコロニー連隊2次襲撃に撃沈される。ガロードはこれに便乗して宇宙へ脱出した。

ニュータイプ研究所  
所長カロン・ラット  
彼女もまたフロスト兄弟の  
復讐対象のひとり。2人の  
襲撃で研究所ごと倒れる。



研究所員ニコラ・

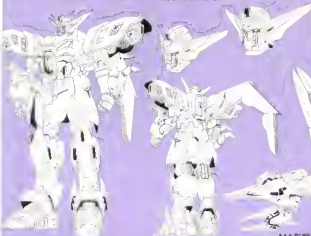
ファファス

研究所に潜伏していた宇宙  
高企業のスパイ。ティファ  
を拉致し手配しあがる。

## NRX-0013-CB

## ガンダムヴァサールゴチェストブレイク

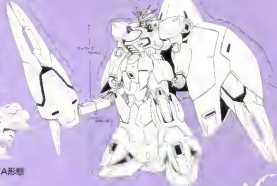
ガンダムヴァサールゴを強化した機体。おそくは宇宙への進出を機密にされた改造機と推測される。ただでさえ強力なメガロニック砲を3門に増強して機密に反め、さらに、その外観はさらに驚々しいものとなった。発射時は胸部装甲を左右に翻し、大きく展開する肩蓋のアームは監視プラットフォームの役割を果たしている。



## NRX-0015-HC

## ガンダムアシュタロンハーミットクラブ

アシュタロンの機色タイプ。機体システムを一歩してパワーアップ。宇宙に向けて運動力を高めた。アトミックリザードを大型化したメガロニックリザードを装備する。



MA形態

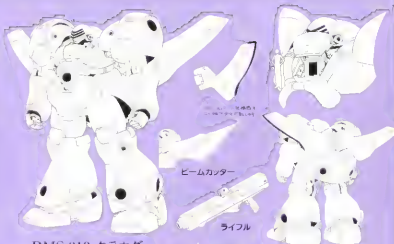


トリプルメガロニック

## サテライトランチャー

ドッキングしたチェストブレイク。ハーミットクラブが、サテライトキャノンと関係の大型ビーム兵器。最終話でDOXのキャノンと衝突。マイクローブはマニュアル操作で逃脱させる必要があった。





### RMS-019 クラウド

宇宙革命軍の新鋭機MS。全身のバーニアで高機動性を確保。装甲には対ビーム防御が施されている。ランスロー機には隊長用の通信アンテナが装備されている。

#### RMS-019A ランスロー大佐専用機



#### 宇宙革命軍旗艦 ガーベラ

最高司令官の旗艦。D.O.M.E.をその中心視座として、最終であるザイデルが乗り込んで、最終に艦隊指揮をとっている。

〔声：岸野一雄〕



### RMS-006G ジェニス改 エンル・カスタム

セインズアイランド占領を拒むために、エンルがマークから購入した機体。その他はフリーデンとほとんど同型である。

宇宙革命軍ノーマルスーツ  
最高司令官に採用している宇宙服。宇宙服と乗組員は全員がこれを着用。



### 宇宙革命軍総統 ザイデル・ランス

スペースノイド中心の革新思想。ニュータイプ全盛を確立、それに沿った。強固な信念と能力がその特長。

宇宙革命軍パイロット  
ランスロー・ダーウェル大佐  
かつてのジャミルのパイロット。ザイデルのニュータイプ本意には賛同しないが、[国家の運命]という名目からも戦い出せしめた。

〔声：竹村拓〕

### 第31話「飛べ、ガロード!」

ティファを乗せたスペース・シャトルはスペース・コロニー「クラウド8」へ向かう。一方、フリーデンの元へ駆けつけたエンルの協力、ジャミルはコロニーへ帰還する宇宙革命軍のネーと交渉。奪取した連邦の新造巡洋艦バートルにガロードとガンダムDXの同行を承諾させる。しかし、出陣間近、新造邦軍の攻撃が迫った。ジャミル連はガロードを宇宙へ上げるため、フリーデンを移動基地/バンダール2世に待たせさせる。

### 第32話「あれはGファルコン!」

ティファは宇宙革命軍の船長ザイデルと対峙。ザイデルは「宇宙に生きる人々がニュータイプである」とのアイデンティティがティファに贈られるのを恐れ、彼女の処遇に執念になる。一方、クラウド8に近づいたガロードはバートルから脱出を図るが、かつてのジャミルのライバル、ランスローの宇宙警察と交戦、急襲一撃のところで謎の少女が乗るGファルコンに救われる。

### 第33話「どうして彼を知っている?」

謎の少女バー・シスは宇宙革命軍に抵抗する反政府組織「サテリコン」のメンバーだった。ガロードは小惑星奥地帯にあるアジトで治療を受け、バーラと打ち解ける。同じく、ランスローはティファからジャミルの証を聞き、ガロードにも興味を持つ。ザイデルはサテリコンの基地に砲撃を仕掛け、これを全滅させる。ランスローはガロードと対峙するが、ジャミルがニュータイプのために戦っていることに驚き、激しく動揺する。

### 第34話「月が見えた!」

地球への帰還を望む宇宙革命軍は、大戦中に開発されたコロニーレーサーを完成させ、それを地球へ照射するグリッド作戦を執行しようとしていた。一方、ザイデルの心奥に燃えたティファは、この世界のすべての基となった「D.O.M.E.」を感知し、奮然として、グリッド作戦は実行され、ガロードとバーラはティファを導くべく、コロニーレーサーをサテライト・ビームで破壊するとザイデルに通告、ティファを無事保護する。

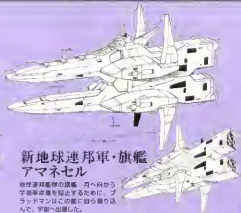
### 第35話「希望の灯は消さない」

両会を乗せたガロードとティファ、バーラだったが、フロスト死体と戦い、ブラッドマンの艦隊へ連行される。ティファはブラッドマンの艦中にザイデルと同じ密入心を見せ、再び「D.O.M.E.」というイメージを見出す。その頃、ジャミルとフリーデンの艦隊は奥地帯に移動され、連中が定期されようとしていた。だが、カリスの率いる反政府部隊に救われ、ガロード達が地球へ帰還し、新造邦軍に捕われていることを知らされる。

●Episode38-39 各話設定 ケスト

# GX-9900GB D.O.M.E.のGビット

月のD.O.M.E.を守り続けてきた自動防衛システム。みごとに試射されたビットMSのために、革命軍は15年経ったくも手出しがでなかつた。そのGビットが、月に集った人々をついにD.O.M.E.へと引き入れる。



## 新地球連邦軍・旗艦 アマネセル

地球連邦軍の旗艦。月へ向かう宇宙革命軍を阻止するために、ブラッドマンはこの艦に自ら乗り込んで、宇宙へ出陣した。

## NRX-018-2 ドートレス・ネオ

ドートレス族の機體として開発された最新MS。D.O.M.E.防衛戦でフレスト兄弟の指揮する機體に配備されていた。両腕にビームカッターを装備。

## 宇宙戦艦 フリーデンII

月を母体とするコロドたちが、カリスの先達のおかげで入手した宇宙戦艦。ジャミルがフリーデンと命名した。連邦と革命軍の戦線立域を突っ切り月面へと向かう。



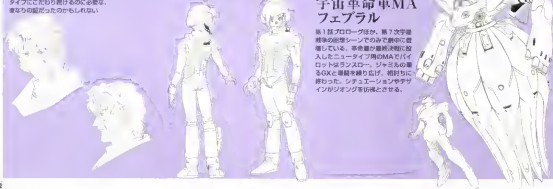
## ジャミル・ニート 眼鏡なし

初めてさらされた顔。決して外したことがなかったラングラスは、ニュータイプにこれだけ慣れたのは、驚き。違わりの顔だったのかもしれない。

ガロード・ラン バイロッドスーツ  
サリコンで使われていたもので、パラダカラーに塗った。おそらくは連邦の装備の真偽品。

## 宇宙革命軍MA フェブラル

第1話プロローグから、第7次宇宙戦争の激戦シーンでの劇中で登場している。革命軍が最終決戦に投入したニュータイプ用のMAでパイロットはランズロー。ジャミルの乗るGKと戦いを繰り返す。相打ちに終わった。シチュエーションやデザインがゾンドを彷彿とさせる。



## DT-6800HMC ドートレスHMC ワイズワラビー

ファイヤーワラビーの発展型でタイプ、運動能力が異なる。バルチャーのザコット一翼が保身していた機体で、エニルに乗換えていた。



## DT-6800HMCドートレスHM ファイヤーワラビー

恒速型の機体でドートレスの発展型。高出力の「バーニア」を駆使し運動能力を高めている。様々な追加武装も可。ザコット配下の炎の戦術部隊では火炎放射器を使用していた。

火炎放射器



コクピットハッチ

## RMS-006 ジェニウス改クロッカ機

腕の関節で動力を蓄ったMS乗りクロッカが乗っていた機体。生身のガロードにあってさりと華道とされてしまった。



(声 藤井高志)



MS乗り  
クロッカ

MS乗り  
ウェーブ・モルテ

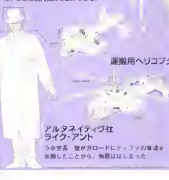
## MA-06 グランディーネ

旧帝命軍が使用した地上用機MA。両光子光線砲による長距離攻撃が可能。アルタス・ティファ社が所有していた、フリーデンを撃滅するために持ち出されてくる。



## RMS-006ジェニウス改 スラッシュバップアロー

第2話でGXに對峙したMS乗りの一。ヴェクトルの機体。ツノや装甲の1/4はカスラムマシン的な形状。GXに足を切り落とされたところを、まわりのMSに頼られた。またと前例のない世界である。



アルタス・ティファ社  
ライク・アント

宇宙を飛ぶ。彼がガロードにティファの軍艦を依頼したことから、物語ははじまった

## 第36話「僕らが求めた戦争だ」

冒険から脱出したガロードはティファの導きでジャミル達のいる場所を目指す。だがフロスト兄弟の連撃を受け、基地をカリスの飛行艇ブォートセーバーに奪われる。ロアビ、ウィッツ、エニル達の夢でフロスト兄弟を倒した一行は北米反政府組織の基地へ向かう。ガロード、ティファ、カリスはニュータイプの実質を明らかにすることが戦争の終わりに生まれた自分たちの役割ではないかと悩み始める。同じ頃、フロスト兄弟は和平提議を断念した政府軍艦を排除し、ブラッドマン卿を宇宙軍命と全面戦争へと導く。

## 第37話「フリーデン発進せよ」

宇宙軍命と新連邦軍の武力衝突が再び繰り返されようとしていた。ザイルは自ら組織に乗り込むが、この戦争に勝利するのは月の「D.O.M.E」に勝たなければならぬと考えていた。革命軍の動きは連邦軍にも届き、ブラッドマン卿は新連邦軍を率いて出陣する。一方、ティファは夢の中で「D.O.M.E」を通じ、ガロードとジャミルに月へ連れて行ってほしいと求める。月のはマイクロウェーブ送信基地にあるようだ。カリスは新造中の宇宙船艦を奪取し、ジャミルに指揮権を委ねる。船はフリーデンと命名され、月を目指す。

## 第38話「私はD.O.M.E...かつて ニュータイプと呼ばれた者」

月の「D.O.M.E」への降下作戦を目論んだフリーデン艦内では、各自が未来に思いを抱えていた。サツはジャミルに思いを伝え、ロアビはそんなサツを応援。ウィッツはトニヤにプロポーズし、寂しいエニルをテクスが無く見守る。ティファはそんな皆の未来をずっとあげたいと思う。フリーデンの目的が月面にあると知った宇宙軍命と新連邦軍は、この瞬間を命じながら、ティファは「我々が求めるべき未来を導いてください」と念じ、月面のピットを起動させてブラッドマン、ザイルを「D.O.M.E」の施設へと導き入れる。

## 第39話「月はいともそこにある」

「D.O.M.E」は沈黙を破り、ニュータイプは幻想に過ぎず、それに未来を感じたり、世界を動かす手段として利用したりする時代は終わるべきだと語る。未来は新しい世代が作るべきで、ガロードが何度もティファの予言を信じてきたように、それは不可能なことではないと。一瞬は現実になるが、15年前の夢の再演を演じるフロスト兄弟はザイルとブラッドマンを排除。ガロードは戦争を止めるためフロスト兄弟のガンダムをサテライト・ビームで撃破。戦争を終結させる。それから半年後、ガロードとティファの姿はさまざまな世界を見て回る旅の途上にあった。

運輸用ヘリコプター







パワー	スピード	攻撃力	守備力	知能値	感応能力	総合	攻撃	特徴
18.91 (19.95)	18.86 (18.73)	21.16 (22.08)	19.21 (19.80)	18.81 (19.90)	19.11 (19.90)	18.11 (19.95)	バルカン、マシンキャノン、シャイニングショット、ヒームノート	必殺メカニックランナー、シャイニングガンノート
21.98 (22.98)	40.51 (44.73)	36.21 (34.90)	21.61 (21.82)	24.22 (30.47)	29.45 (32.86)	175.96 (228.08)	バルカン、マシンキャノン、ヒームノート	ゴッドラッシュ、機体ゴッドランナー、右腕ラナラ天使
18.78	17.77	26.79	22.77	16.98	15.21	118.29	ファイティングナックル、キックディンクマダナム、シールド	サイコロバスター、バーストバスター、機体マジンガーバスター
18.54	22.21	13.08	13.54	18.22	27.43	118.42	バルカン、射撃、フェイリングラッシュ、ドラゴンクロウ	宝条舞典+絶障、真、決壊攻撃
18.51	25.11	18.11	17.98	24.36	16.22	117.65	バルカン、シュートサーベル、ローゼスビスト	ローゼススクリーマー、ローゼスバリエーション
27.71	16.11	14.16	23.21	17.21	16.16	118.86	バルカン、ドラゴンバスター	作戦ガイアクラッシュ
22.31	24.06	26.62	24.58	23.02	29.16	146.75	シュビーンブルー、メカサーグラング、電撃ネット	シュトルム、ウルト、ドラング
18.87 (19.95)	18.72 (18.73)	20.85 (21.97)	21.25 (19.94)	18.12 (18.12)	18.86 (18.95)	118.08 (116.06)	バルカン、ヒートサテライト、マシンキャノン、ヒームノート	必殺必中ディンクアロー
---	---	---	---	---	---	---	バルカン、ヒームノート、ヒームノック、ヒーム	バーサーカーモード
---	---	---	---	---	---	---	ヒームキャノン、ヒーム	不明
41.24	67.39	64.86	42.61	37.2	49.48	307.78	バルカン、ヒームキャノン	デビルフィンガー
36.25 (24.11)	27.85 (47.31)	24.85 (33.17)	21.32 (25.62)	29.87 (28.87)	29.99 (29.98)	183.11 (236.50)	マスタークロス、ディンクドラッシュ	タク、クネスフィンガー、十二王方眼大機、石破天驚機、他
---	---	---	---	---	---	---	マシンキャノン、金庫クロー、クローロス	超絶魔王機、他
---	---	---	---	---	---	---	ユニコーンガン	機体の壁
---	---	---	---	---	---	---	グラブ、バルカン、グラブ、グラブ、グラブ	不明
---	---	---	---	---	---	---	ヘパースクロウ、ヘパースタート	ヘパースクロウ、クイン、クイン、クイン
---	---	---	---	---	---	---	ヒームキャノン、クイン、クイン、クイン	不明
---	---	---	---	---	---	---	超絶王手への攻撃	不明
---	---	---	---	---	---	---	ヒームキャノン	不明
---	---	---	---	---	---	---	火炎放射	不明
---	---	---	---	---	---	---	ヒームアイフ	不明
---	---	---	---	---	---	---	大口機ヒームキャノン	不明

※ ( ) 内はスーパーモード時の値

ファイティング	ウェポン	スピード	パワー	アーマード	攻撃
129	140	150	158	130	バルカン、マシンキャノン、シャイニングショット、ヒームノート
149	129	160	139	120	バルカン、マシンキャノン、ファイティングバルカン、ヒームサーベル、ツインバスターライフル、シールド
149	129	160	139	120	バルカン、マシンキャノン、バスターシールド、ヒームサイズ、ハイパーシャーマ
149	129	170	129	140	バルカン、バスターシールド、ツインヒームサイズ、アクティブクロウ、ハイパーシャーマ
119	169	110	149	140	バルカン、マシンキャノン、機体ドラゴン機、ホーミングミサイル、マイクロミサイル、シールド、機体ヒームガトリング
不明	不明	不明	不明	不明	バルカン、マシンキャノン、機体ドラゴン機、ホーミングミサイル、マイクロミサイル、ツインヒームガトリング
129	120	110	150	160	バルカン、マシンキャノン、ヒートサーベル、シールド
不明	不明	不明	不明	不明	バルカン、マシンキャノン、ヒームマシンガン、ヒームコヨーデイル、シールド
160	110	130	140	120	バルカン、ドラゴンバスター、ヒームグレイブ、シールド
170	140	130	140	120	バルカン、ドラゴンバスター、ヒームキャノン、ツインヒームライデン、シールド
160	110	150	130	120	ドーバーガン、ヒームサーベル、シールド
160	110	150	130	120	ドーバーガン、ヒームサーベル、シールド
160	140	160	150	140	ヒームソード、シールド、ヒートロッド

## 武器

バルカン、マシンキャノン、ヒームサーベル、メカバスターライフル  
 バルカン、マシンキャノン、ヒームサーベル、アク  
 バルカン、マシンキャノン、ガトリング機、ホーミングミサイル、マイクロミサイル、ダブルガトリングガン  
 バルカン、ヒートサーベル  
 バルカン、ドラゴンバスター、ツインヒームライデン  
 マカヒームキャノン、ヒームサーベル、シールド、ヒートロッド

## 敵機

フレッドバルカン、ヒームノート、ノールバスターライフル、サテライトキャノン  
 バルカン、バスターライフル  
 バルカン、ヘッドキャノン、シールドミサイル、インナーアームガトリング、フレッドガトリング、フレッドランチャー、ホーネットミサイル、ヒームナフ  
 バルカン、メガニック機、ヒームサーベル、ストライククロウ、クロービーム機  
 アトミックサザン、サザンビーム機、ノーズビーム機、ヒームサーベル  
 フレッドバルカン、ディバイダー、ヒームマシンガン、ヒームソード  
 バルカン、バスターライフル、ブラスターヒームキャノン、ノーズヒームキャノン  
 ヘッドビーム機、シールドランチャー、ヒームキャノン、11ミサイル機、フレッドガトリング、リストヒーム機、ツインヒームランダー、ホーネットミサイル、ヒームナフ  
 トリプルメガニック機、ヒームサーベル、ストライククロウ、クロービーム機  
 マシンキャノン、ガトリングサザン、サザンビームキャノン、ヒームサーベル、サテライトキャノン  
 バルカン、フレッドランチャー、バスターライフル、ハイパーヒームソード、ディフェンスフラット、ツインサテライトキャノン  
 バルカン、マシンキャノン、マシンガン、ヒームライフル機  
 バルカン、ヒームキャノン、ヒームライフル  
 ヒームライフル、マシンキャノン、ヒームサーベル、ヒート  
 ヒームアイフ  
 超絶ヒーム機、バルカン、機体ホーミングミサイル

# VISUAL/SOUND/NOVELS

# Guide

Text by ATSUKO IWASAWA

協力・資料提供・監査元:バンダイビジュアル(VIDEO-LD・DVD)

キングレコード/アポロン/エアース(CD)

© 新通エージェンシー・サンライズ・テレビ朝日

© 新通エージェンシー・サンライズ

## VIDEO TAPE / LASER DISC / DVD

### 『機動武闘伝Gガンダム』

VIDEO 全12巻 BES-1176~BES-1187 各6,000円(税別)

LD 全6巻 BELL-776~BELL-781 各9,515円(税別)



1巻 第1話~第4話



2巻 第5話~第8話



3巻 第9話~第12話



4巻 第13話~第16話



5巻 第17話~第20話



6巻 第21話~第24話



7巻 第25話~第28話



8巻 第29話~第32話



9巻 第33話~第36話



10巻 第37話~第40話



11巻 第41話~第44話



12巻 第45話~第48話

### 『機動戦記ガンダムW』

VIDEO 全13巻 BES-1312~BES-1324 1~12巻 各6,000円(税別) 13巻 3,800円(税別)

LD 全7巻 BELL-842~BELL-848 1~6巻 各9,515円(税別) 7巻 5,631円(税別)

DVD 全5巻 BCBA-0524~BCBA-0528 各18,000円(税別)



1巻 第1話~第4話



2巻 第5話~第8話



3巻 第9話~第12話



4巻 第13話~第16話



5巻 第17話~第20話



6巻 第21話~第24話



7巻 第25話~第28話



8巻 第29話～第32話



9巻 第33話～第36話



10巻 第37話～第40話



11巻 第41話～第44話



12巻 第45話～第48話



13巻 第49話

## OVA「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz」

VIDEO 全3巻 BES-1572～BES-1574 各4,800円(税別)

LD 全3巻 BEAL-977～BEAL-979 各4,800円(税別)

1巻 静かなる戦道  
サイレント・オペット2巻 過ぎ去りし約束  
オペレーション・メテオ3巻 永遠への記憶  
リゾント・タワー・エー

## 劇場版「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 特別篇」

VIDEO BES-2207 各6,000円(税別)

LD BEL-1319 各6,000円(税別)



「新機動戦記ガンダムW」は、「DVD COLLECTION」が全5巻で発売されている。編集版:EVEN NUMBERS オペレーション・メテオI・II、ODD NUMBERS オペレーション・メテオI・IIとOVA「Endless Waltz」(全3巻)まで収録。

平成ガンダム4作品の2作目として、1994～95年に放映された「機動武闘伝Gガンダム」。ガンダムによる格闘というコンセプト、宇宙世紀ガンダムとはまったく異なる設定などに、賛否両論が巻き起こった作品である。ビデオは全13巻、LD全6巻が発売。LDは6巻目のみBDX仕様になっている。ビデオは各4話、LDは各8話収録(7巻のみ最終話、映像特典を収録。なお、映像特典は6巻巻末にも収録されている)。ジャケットはメカを佐野浩敏、キャラを達坂浩司が担当。LD6&7BDXには、ビデオのジャケットイラストなどが収録されたブックレットが封入されている。

ほかに、ガンダムファイトの名場面で構成されたビデオが2巻発売されている。

ノヴェライズは全3巻構成。テレビシリーズの基本設定を活かしつつ、物語の焦点をドモンとキョウジ、シャイニングガンダムとテビルガンダムの戦いに絞っており、登場キャラを最低限に抑えている。また、テレビシリーズでドモンの良き友でありライバルだったチボデーたちは、ドモンを殺すための刺客という設定。ガンダムファイトの裏で進行するコロニー国家連合の思惑、オリジナルキャラの活躍も興味深い。著者は、テレビシリーズの脚本にも参加した鈴木良武。

翌1995年に放映された「新機動戦記ガンダムW」は、前作「Gガンダム」と同じく、宇宙世紀ガンダムの流れを汲んでいない新設定の作品。主人公とメインのガンダムパイロットに5人の美少年を配し、女性層から圧倒的な支持を受けた、いわば「美色の」ガンダムである。物語自体は「ファーストガンダム」～「逆襲のシャア」を意識した作りで、オマージュと見受けられるシーンも数多い。ビデオは全13巻、LDは全7巻が発売。LDの1巻、5巻は初回生産分のみボックス仕様になっている。ビデオは各4話、LDは各8話収録。最終巻のみ最終話と映像特典収録、キャラクター初期設定掲載のブックレット封入の構成に

なっている。ジャケットはビデオ8巻、LOは4巻までが西村誠芳（1、5巻初回ボックスは蓋沼義仁）、ビデオ9巻、LO5巻以降はキャラクターデザイナーである村瀬修功が担当。また、テレビシリーズのキャラクターごとの名場面を収録したビデオ「オペレーション・メテオ」「オペレーション・メテオII」が各2巻発売。「II」にはテレビシリーズの最終戦闘後を描いた新作映像もある。

OVA「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz」は、平成ガンダムシリーズとしては初めて作られたテレビシリーズの後日談。ビデオ、LO共に全3巻構成。初回生産分1巻はジャケットが2種類用意され、ファンの購買欲を煽るのに役立った。ジャケットイラストは村瀬修功が担当。このOVAは再構成され、新作カットを加えた劇場版として公開。劇場版「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 特別篇」はビデオ、LOと共に発売されている。ジャケットは蓋沼義仁、筱雅律が担当。

ノヴェライズは全5巻構成。テレビシリーズの流れを忠実に再現しており、キャラクターの各エピソードもしっかりと描かれている。なお、最終巻のラストは、テレビシリーズとは多少違う形になっている。著者は小説家、神代劇。表紙、口絵は美術本舗が担当している。

1996年に放映された「機動新世紀ガンダムX」も、「Gガンダム」「ガンダムW」と同じく、宇宙世紀の設定から離れた作品。だが、「ファーストガンダム」からの重要なキーワードである「ニュータイプ」に真正面から取り組んでいる点では、「宇宙世紀ガンダム」を意識したものといえるだろう。そしてそれを、見事に独自のものとして昇華させたスタッフの手腕は見事である。ビデオは全10巻、LOは全5巻が発売。ビデオは各4話、LOは各8話が収録されている。ジャケットはキャラクターデザイナーの西村誠芳とメカデザインの石垣純哉が担当。

## VIDEO TAPE / LASER DISC

### 「機動新世紀ガンダムX」

VIDEO 全10巻 BES-1533~BES-1542 各6,000円(税別)  
LD 全5巻 BELL-943~BELL-947 各9,515円(税別)



1巻 第1話~第4話



2巻 第5話~第8話



3巻 第9話~第12話



4巻 第13話~第16話



5巻 第17話~第20話



6巻 第21話~第24話



7巻 第25話~第28話



8巻 第29話~第32話



9巻 第33話~第36話



10巻 第37話~第39話

## NOVELS

### 「機動武闘伝Gガンダム 発動の章」

鈴木良武/著/角川スニーカー文庫  
定価 本体500円(税別)

### 「機動武闘伝Gガンダム 流道の章」

鈴木良武/著/角川スニーカー文庫  
定価 本体480円(税別)

### 「機動武闘伝Gガンダム 鞍馬の章」

鈴木良武/著/角川スニーカー文庫  
定価 本体480円(税別)  
全3巻



### 「新機動戦記ガンダムW OPERATION1 始動」

矢立肇/著 蓋沼由幸/原作 神代劇/著/角川スニーカー文庫/定価 本体500円(税別)

### 「新機動戦記ガンダムW OPERATION2 所持」

矢立肇/著 蓋沼由幸/原作 神代劇/著/角川スニーカー文庫/定価 本体500円(税別)

### 「新機動戦記ガンダムW OPERATION3 故郷」

矢立肇/著 蓋沼由幸/原作 神代劇/著/角川スニーカー文庫/定価 本体500円(税別)

### 「新機動戦記ガンダムW OPERATION4 彷徨」

矢立肇/著 蓋沼由幸/原作 神代劇/著/角川スニーカー文庫/定価 本体500円(税別)

### 「新機動戦記ガンダムW OPERATIONS 終焉」

矢立肇/著 蓋沼由幸/原作 神代劇/著/角川スニーカー文庫/定価 本体500円(税別)

全5巻

## SINGLE

[FLYING IN THE SKY] [HEART AND BODY]	発売 キングレコード	KINS-184	971円 (税別)
[Trust You Forever] [Beat The Wall]	発売 キングレコード	KIDS-212	971円 (税別)
[海よりも深く] [小さな奇跡 JUST A LITTLE WONDER-]	発売 アポロン	APDA-111	971円 (税別)
[君の中の永遠] [ガラスのTrue Love]	発売 アポロン	APDA-126	971円 (税別)
[星屑のレクイエム] [満の輝]	発売 キングレコード	KIOA-87	971円 (税別)
[海側海岸の波歌] [Seaside Rainbow 海にかかる虹]	発売 キングレコード	KIOA-88	971円 (税別)
[JUST COMMUNICATION] [SECOND IMPRESSION]	発売 キングレコード	KIOA-99	971円 (税別)
[RHYTHM EMOTION] [ENDLESS LOVE]	発売 キングレコード	KIOA-121	971円 (税別)
[It's Just Love!] [運命の地図]	発売 アポロン	APOM-5023	971円 (税別)
[MIND EDUCATION] [SNOW PLANET]	発売 キングレコード	KIOA-139	971円 (税別)
[WHITE REFLECTION] [BURNING]	発売 キングレコード	KIOA-2122	971円 (税別)
[LAST IMPRESSION] [LAST COMMUNICATION II TYPE II]	発売 キングレコード	KIOA-2123	971円 (税別)
[DREAMS] [Don't Stop Loving You]	発売 キングレコード	KIOA-130	971円 (税別)
[Resolution] [I don't wanna cry]	発売 キングレコード	KIOA-140	971円 (税別)
[HUMAN TOUCH]	発売 エアーズ	AYOM-108	762円 (税別)
[HUMAN TOUCH (日本語バージョン)]	発売 エアーズ	AYOM-117	971円 (税別)
[黄昏Horizon]	発売 エアーズ	AYOM-115	971円 (税別)

## ALBUM

『機動武闘伝Gガンダム GUNDAM FIGHT ROUND 1&2』	発売 キングレコード	KICA-2054-2055	2813円 (税別)
『機動武闘伝Gガンダム GUNDAM FIGHT-ROUND3 新春特別武闘録』	発売 キングレコード	KICA-2056	1942円 (税別)
『機動武闘伝Gガンダム GUNDAM FIGHT-ROUND4』	発売 キングレコード	KICA-2057	1942円 (税別)
『機動武闘伝Gガンダム GUNDAM FIGHT-ROUND5』	発売 キングレコード	KICA-2058	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW OPERATION 1』	発売 キングレコード	KICA-2059	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW OPERATION2』	発売 キングレコード	KICA-2060	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW OPERATION3』	発売 キングレコード	KICA-2061	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW OPERATION4』	発売 キングレコード	KICA-2062	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW OPERATION 5』	発売 キングレコード	KICA-2063	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW BLIND TARGET-1』	発売 キングレコード	KICA-2064	1942円 (税別)
『新機動戦記ガンダムW BLIND TARGET-2』	発売 キングレコード	KICA-2065	1942円 (税別)
『機動新世紀ガンダムX SIDE 1』	発売 キングレコード	KICA-2066	1942円 (税別)
『機動新世紀ガンダムX SIDE 2』	発売 キングレコード	KICA-2067	1942円 (税別)
『機動新世紀ガンダムX SIDE 3』	発売 キングレコード	KICA-2068	1942円 (税別)



# Mobile Suit Gundam Filmography

## 機動武闘伝Gガンダム (TVシリーズ全49話)

NO	サブタイトル	脚本	監コンテ	演出	作画監督	放映日
01	Gファイター開始! 地球に落ちたガンダム	五武冬史	山口祐司	谷口信朗	西村誠芳	4/22
02	隠れ! 事を起した必殺パンチ	横谷貴	河本昇悟	河本昇悟	新保卓郎、大塚健	94.4.28
03	倒せ! 魔人ドラゴンガンダム	五武冬史	西森幸	佐藤育郎	西村誠芳	5/6
04	いざ勝負! 貴女のバラの貴公子	山口亮太	西森幸	岸沢剛史	吉田徹	5/13
05	大脱走! 四万のガンダムファイター	志茂文彦	忍海知朗	武井良幸	佐久間浩一	5/20
06	闘えドモン! 地球がリングだ	五武冬史	谷口信朗	谷口信朗	新保卓郎、大塚健	5/27
07	果てなら来い! 必死の逃亡者	横谷貴	河本昇悟	河本昇悟	西村誠芳	6/3
08	仇は討つ! 復讐の宇宙刑事	志茂文彦	杉里利久	佐藤育郎	菅野宏紀	6/10
09	強敵! 英雄チャンプマンの挑戦	山口亮太	草刈戸京子	岸沢剛史	佐久間浩一	6/17
10	恐怖! 亡貴ファイター出現	横谷貴	西森幸	武井良幸	新保卓郎、大塚健	6/24
11	雨の夜合会 - フォーリング・レイン	志茂文彦	吉永尚之	佐藤育郎	西村誠芳	7/1
12	その名は東方不败! マスターアシア見参	山口亮太	西森幸	佐藤育郎	菅野宏紀、木村貴宏	7/8
13	大ピンチ! 敵は5大ガンダム	横谷貴	吉永尚之	河本昇悟	佐久間浩一	7/15
14	激撃! シャイニング・フィンガー爆れたら	五武冬史	岸沢剛	岸沢剛史	西村誠芳	7/22
15	戦士の称号! さばきシャッフル同盟	山口亮太	近藤慎宏	武井良幸	新保卓郎、大塚健	7/29
16	貴族舞臺! デビルガンダム現る	志茂文彦	谷口信朗	谷口信朗	佐久間浩一	8/5
17	結末! 謎の覆面ファイター	五武冬史	吉永尚之	佐藤育郎	新保卓郎、大塚健	8/12
18	必殺技を盗め! 美少女軍団の大作戦	横谷貴	河本昇悟	河本昇悟	西村誠芳	8/19
19	悪魔ドラゴンガンダム対ボルトガンダム	志茂文彦	須永司	武井良幸	木村貴宏	8/26
20	ジョルジュよ、悪魔を打ち除け!	山口亮太	須永司	佐藤育郎	佐久間浩一	9/2
21	決勝戦! タイムリミット3日前	横谷貴	井上肇二	森邦宏	新保卓郎、大塚健	9/9
22	戦士の絆! デビル包囲網を突破せよ	志茂文彦	谷口信朗	谷口信朗	西村誠芳	9/16
23	宿命の闘い! トモン対デビルガンダム	五武冬史	須永司	武井良幸	木村貴宏、森下博光	9/23
24	新たな希望! ゴッドガンダム誕生	山口亮太	河本昇悟	河本昇悟	佐久間浩一	9/30
25	決闘開始! ガンダムファイター大集合	北沢博明	武井良幸、佐藤育郎	佐藤育郎	西村誠芳	10/7
26	新必殺技! 爆熱ゴット・フィンガーII	五武冬史	須永司	吉本毅	新保卓郎、大塚健	10/14
27	捕獲れドモン! 友に捧げた大勝利	横谷貴	谷口信朗	谷口信朗	佐久間浩一	10/21
28	倒れたドモン! 戦し屋ファイターの必殺剣	山口亮太	井上肇二	武井良幸	木村貴宏、森下博光	10/28
29	試合放棄! 急にドキン・サイ・サイシー	志茂文彦	須永司	森邦宏	西村誠芳	11/4
30	美少女ファイター! デンジャラス・アレンビー	山口亮太	須永司	武井良幸	木村貴宏、森下博光	11/11
31	ピエロの幻惑! 怒りガンダムマックスター	横谷貴	井上肇二	吉本毅	新保卓郎、大塚健	11/18
32	危険な真! ネロスガンダムの大逆襲	志茂文彦	河本昇悟	武井良幸	西村誠芳	11/25
33	地獄からの死者! チャンプマン復活	五武冬史	滝沢敏文	佐藤育郎	佐久間浩一	12/2





# ■新機動戦記ガンダムW (TVシリーズ・全49話)

NO	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	放映日
01	少女が見た流星	隅沢克之	池田成	青木肇彦	西村誠芳	9/4/7
02	死神と呼ばれるG <sup>ゴッド</sup>	隅沢克之	池田成	原田宗孝	佐久間信一 高谷均	4/14
03	ガンダム5機確認	隅沢克之	池田成	奥屋夢吉	西村誠芳	4/21
04	星降るビクトリア	隅沢克之	池田成	渡邊哲哉	黒田敦司	4/28
05	リリーナの秘密	隅沢克之	西村眞	青木肇彦	佐久間信一 高谷均	5/5
06	バーティー・ナイト	面出明美	川瀬敏文	原田宗孝	葛谷健一 成特健(メカ作画)	5/12
07	高山へのシナリオ	千葉克彦	武光紳也	森邦宏	西村誠芳	5/19
08	トレース暗殺	隅沢克之	崎原浩仁	吉本新	佐久間信一 高谷均	5/26
09	亡国の肖像	面出明美	千明孝一	青木肇彦	西村誠芳	6/2
10	ヒイロ閃光に燃える	千葉克彦	池田成	原田宗孝	佐久間信一 高谷均	6/9
11	幸福の行方	面出明美	池田成	森邦宏	西村誠芳	6/16
12	迷える戦士たち	千葉克彦	渡邊哲哉	渡邊哲哉	阿部邦博 西村誠芳 土器手司	6/23
13	キャスリンの涙	隅沢克之	奥屋夢吉	吉本新	佐久間信一 高谷均	6/30
14	G <sup>ゴッド</sup> 1機確認	面出明美	池田成	青木肇彦	西村誠芳	7/7
15	決戦の場所向へ	川瀬敏文	千明孝一	土器手司	佐久間信一 高谷均	7/14
16	恋しきふ船	隅沢克之	奥屋夢吉	森邦宏	西村誠芳	7/21
17	黒切りの涙と流星	千葉克彦	池田成	渡邊哲哉	佐久間信一 高谷均	7/28
18	トルキス破壊	川瀬敏文	川瀬敏文	青木肇彦	西村誠芳	8/4
19	バブルン強襲	面出明美	千明孝一	吉本新	佐久間信一 高谷均	8/11
20	潜入、月夜轟地	千葉克彦	池田成	森邦宏	西村誠芳	8/18
21	恋しみのカトル	面出明美	奥屋夢吉	渡邊哲哉	佐久間信一 高谷均	8/25
22	独立を告げる戦い	千葉克彦	西村眞 池田成	青木肇彦	西村誠芳	9/1
23	死神に候るデュオ	隅沢克之	奥屋夢吉	吉本新	佐久間信一 高谷均	9/8
24	ゼロと呼ばれるG <sup>ゴッド</sup>	川瀬敏文	浜本守	森邦宏	西村誠芳	9/22
25	カトルVSヒイロ	池田成	池田成	渡邊哲哉	佐久間信一 高谷均	9/29
26	燃えつきない流星	隅沢克之 池田成	池田成	青木肇彦	西村誠芳	10/6
27	勝利と敗北の軌跡	隅沢克之	森邦宏	森邦宏	佐久間信一 高谷均	10/13
28	すれ違う運命	隅沢克之	森邦宏	森邦宏	西村誠芳	10/20
29	戦場のヒロイン	池田成	池田成	吉本新	佐久間信一 高谷均	10/27
30	リリーナとの再会	千葉克彦	奥屋夢吉	森邦宏	西村誠芳	11/3
31	ガラスの王国(サンクキングダム)	隅沢克之	西森眞	原田宗孝	佐久間信一 高谷均	11/10



機動新世紀ガンダムX (TVシリーズ・全39話)

NO	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	放映日
01	「月は出ているか?」	川崎ヒロユキ	高松信司	森邦宏	西村誠芳	'98 4/6
02	「あなたに、力を」	川崎ヒロユキ	高松信司	斎藤哲哉	佐久間信一 藤谷均	4/12
03	「私の愛を返して」	川崎ヒロユキ	渡辺徹也	棚田泰幸	西村誠芳	4/19
04	「作戦は一刻を争う」	川崎ヒロユキ	吉本毅	吉本毅	佐久間信一 / 藤谷均	4/26
05	「凱歌はお君が引け」	川崎ヒロユキ	高松信司	森邦宏	西村誠芳	5/3
06	「不愉快だわ」	川崎ヒロユキ	西森章	南康宏	佐久間信一 藤谷均	5/10
07	「ガンダム、走るよ」	川崎ヒロユキ	日高政光	棚田泰幸	西村誠芳	5/17
08	「あの子、許さない!」	川崎ヒロユキ	西森章	吉本毅	佐久間信一 藤谷均	5/24
09	「雲に雨の降ること」	川崎ヒロユキ	渡辺徹也	森邦宏	西村誠芳	5/31
10	「僕がニュータイプだ」	川崎ヒロユキ	日高政光	斎藤哲哉	佐久間信一 藤谷均	6/7
11	「何も考えずに走れ」	川崎ヒロユキ	千明孝一	棚田泰幸	西村誠芳	6/14
12	「私の乗馬乗件です」	川崎ヒロユキ	西澤晋	南康宏	佐久間信一 藤谷均	6/21
13	「逃かな僕を助て」	川崎ヒロユキ	森邦宏	森邦宏	西村誠芳	6/28
14	「他の声が聴こえるか」	川崎ヒロユキ	高松信司	斎藤哲哉	佐久間信一 藤谷均	7/5
15	「天国なんてあるのかな」	川崎ヒロユキ	西森章	日高政光	棚田泰幸 / 荻雅律	7/12
16	「私も人間だから」	川崎ヒロユキ	西森章	日高政光	南康宏 西村誠芳	7/19
17	「あなた自身が見かて」	川崎ヒロユキ	西森章	森邦宏	佐久間信一 藤谷均	7/26
18	「Loreleiの唄」	川崎ヒロユキ	谷口徳純	谷口徳純	西村誠芳	8/2
19	「まるで僕を見てみたい」	川崎ヒロユキ	日高政光	日高政光	荻雅律	8/9
20	「また逢えたわね」	川崎ヒロユキ	斎藤哲哉	斎藤哲哉	佐久間信一 藤谷均	8/16
21	「死んだ女房の口癖だ」	川崎ヒロユキ	西森章	南康宏	西村誠芳	8/23
22	「15年目の亡霊」	川崎ヒロユキ	森邦宏	森邦宏	藤谷均 佐久間信一	8/30
23	「私の義母です」	川崎ヒロユキ	渡辺徹也	棚田泰幸	西村誠芳	9/6
24	「ダブルエックス起動!」	川崎ヒロユキ	高松信司	斎藤哲哉	荻雅律	9/13
25	「吾達は希望の星だ」	川崎ヒロユキ	南康宏	南康宏	南康宏 藤谷均 / 佐久間信一	9/20
26	「何も嫌いな」	川崎ヒロユキ	西森章	関本英樹	西村誠芳	9/27
27	「おさらばで御座います」	川崎ヒロユキ	東海林真一	森邦宏	藤谷均 佐久間信一	10/5
28	「墓つしかないのか」	川崎ヒロユキ	渡辺徹也	越智浩仁	越智浩仁 西村誠芳	10/12

No	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	放映日
29	「私を見て」	川崎ヒロユキ	西森幸	渡邊哲哉	重谷均、佐久間信一	10/19
30	「もう逢えない私がして」	川崎ヒロユキ	東海林真一	原田泰幸	西村誠芳	10/26
31	「飛へ、カード」	川崎ヒロユキ	西森幸	庵野浩二	重谷均、佐久間信一	11/2
32	「あれはGファルコン」	川崎ヒロユキ	日高政光	高木英樹	西村誠芳	11/9
33	「どうして俺を知っている?」	川崎ヒロユキ	越智浩仁	越智浩仁	重谷均、佐久間信一	11/16
34	「月が見えた!」	川崎ヒロユキ	森邦宏	森邦宏	西村誠芳	11/23
35	「希望の灯は消えない」	川崎ヒロユキ	渡邊哲哉	渡邊哲哉	重谷均、佐久間信一	11/30
36	「僕らが求めた戦争だ」	川崎ヒロユキ	高松信司	庵野浩二	西村誠芳	12/7
37	「フリーテン発進せよ」	川崎ヒロユキ	東海林真一	原田泰幸	重谷均、佐久間信一	12/14
38	「私はDOME かつてニュータイプと呼ばれた者」	川崎ヒロユキ	越智浩仁	越智浩仁	西村誠芳	12/21
39	「月はいつもとそこにある」	川崎ヒロユキ	高松信司	森邦宏	西村誠芳、重谷均、佐久間信一	12/28



# INDEX

## CHARACTERS

< 画 >			
アイムザット・カートラッ	133	シバルツ・ブルダー	21, 94
アウダ	114	情報屋	131
アキノ曹長	98	シルビア・ノベント	47, 111
アブマド	114	シンゴ・モリ	88, 131, 134
アベル・バウアー半町	140	ストーカー	85
アルゴ・ガルスキー	19, 86, 92	セイト・ギョセル	25, 89
アレクシー・ピアズリー	20, 98	セクス・マーキス	48, 106
アンドリュー・グラハム	25, 89	セシル	29
イルカ	134	セディッチ	118
ウィッツ・スー	70, 130, 134	セプテム刑事	111
ウィッツの家務	134	ゾンビ兵	92
ウィリス・アラミス	138		
ウェリッシュ検断	119		
ウオン・ユンファ	22, 95, 98	< 他 >	
ウルベタ症	22, 89, 101	ダイゴ・オネゲル准将	111
H教授	110	ダハル・ムハンマド	26, 89
エミル・ニル	69, 130, 135, 137	議長	114
オリバ・ザバイキング	27, 97	地球軍大統率	127
オリバ・フロスト	79, 131, 137	地球連邦政府・再建委員会	25, 89
		テコ・ロドリゲス	19, 85, 92
		テボデー・クロケット	20, 85
< 部 >		テボデー・ギョセル	42, 123
カーズ	118	第五集(チャン・ワー・ウェイ)	28, 95
カーク・アルゼミール	137	チャン・ドン・ジーマ	55, 119
カークの部下たち	137	ザバロフ技師長	67, 130, 133, 135
カトル・ラバー・ウィナー	44, 106	ティファ・アディール	55, 126
カトルの弟	114	デビル・バードソン	68, 131
カトルの父	45, 114	テクス・フォーザン(バーグ)	138
カスト委員長	20, 89	テッサ・ティン	138
カリス・ノーディラス	73, 132	デマー・クライフ少尉	138
カリス・アンダシア	96	デュオ・マックスウェル	41, 122, 106
クロード・ラン	68, 130, 133, 134, 140, 142	デルマユ公爵	65, 119
カロン・ラット	140	ドゥエー・ラングラフ少尉	139
キャット・サルサミル	69, 131, 134	東家本数 マスター・アジア	23, 92, 100
キャスリン・ブルーム	47, 114	ドーズ・バロイ	134
キャウジ・カウジ	17, 89, 98	ドーリアン外務次官	47
キャリ・メケレル	28, 96	ドーリアン主人	114
ギンター	111	ドクターJ	52, 110
ギンターの祖父	111	ドクトルS	110
クイン・ザ・ベード	94	ドニヤ・マーム	68, 131, 133, 134, 135
クワブ・エース	94	ドモン・カッシュ	16, 84, 92, 94
グリーヴ・ショー	131	ドムエー・ラングラフ少尉	138
密宮・瑞山	20, 85	ドレーズ・ウシュリナーダ	49, 110
藤根田	85	ドロシー・カタロニア	50, 119
五人の科学者	52	トロワ・バートン	46, 106, 123, 126
コンタ・ンドロー	28, 96		
		< 部 >	
< 音 >		ナイフ	131
サイ・サイシー	18, 85, 92	ナスターシャ・ザビコフ	21, 88
サイ・バイロン	97	ナナキ少佐	111
サイ・フェイロン	97	ニコラ・ファファス	140
サイデル・ラッソ	141	入国管理機関	135
ザコット・ダットネル	131	ノベント元帥	111
ザダウル	114	ノモア・ロング	132
サラ・タイル	68, 131, 133, 134		
ザリ・ボオ	43, 113	< 部 >	
ジュー・ロドリゲス	88	ハーガン	114
ジェノス・クワイシス	134	バードマン	88
ジャギア・フロスト	72, 131, 137	バーラ・シス	69, 139
ジャック・イナ・ダイヤ	94	バトラー・ペンセンナム	91, 21
ジャッフル同僚	19, 93	ハワード	53
ジャミル・ニート	68, 130, 135, 142	ハンス・ホルガー	29, 97
ジャン・ビエール・ミラボー	94	ピス・ミリアン	120
		ヒロ・エイ	38, 106, 111, 122



## ■CHARACTERS

ビルデ・シュバイカー	41, 114
フィクス・ブラットマン	137
ブラック・ジョーカー	94
フランク・ガストロ	24, 88
プロフェッサーG	110
プリント大佐	111
ペルディーノ・ザン	84
ペンティン博士	111
ボナー・バスター	111
本物のシュバルツ	97

### <ま>

マーカス・ガイ	135
マーキロット・クロノス	27, 86
マダナナック	114
マリアルイゼ	88
マリメア	54, 127
ミカムラ博士	17, 89
ミキノ実人	17, 89
ミケロ・チャリオット	24, 84, 100
ミリアルド・ヒースクラフト	118
ミルラ・ドランド少将	138
メジナ提督	84

### <や>

ユリナ・サノハラ	138
----------	-----

### <ろ>

ライク・アント	143
ラインウ・カッシュ博士	17, 89, 101
ラット・クマラ	45, 114
ラセツ・ガラ	29
ラセツ・ダグツ	96
ランスロー・ダウエル大佐	141
リー・シャクソン	136
リリーナ・ドリーアン	38, 108, 118, 127
ルクス・ハノアマク	138
ルクレツィア・ノイン	51, 110, 125
ルチル・リリアント	135
ルマーク・カント	135
レイモンド・ビショップ	21, 88
レイナ・ミカムラ	15, 84, 94, 97, 100
レティ・アン	51, 110, 125
ロアビィ・ロイ	70, 130, 134
ロイザー	138
老婦Q	110
ローザ・インテンソ	131
ロコ	131
ロッド・アラバント	131
ロマニオ・モニーニ	29, 86
ロマノフ	138
羅密路	114

## ■MECHANICS、HAPPENINGS, etc.

### <あ>

アウタ機	106
アッシュガンダム	29, 86
アドル機	105
アフマド機	105
アマネセル	142
アラクノガンダム	24, 86
アルティメットガンダム	87
アルトロンガンダム	42, 43, 117, 123
ヴァイアイト	53, 112
ウイングガンダム	39, 102, 121
ウイングガンダム0	38, 39, 115, 122
宇宙要塞バジル	121
宇宙戦艦リール	120
宇宙要塞バジル改	121
ウルベ専用ガンダム	101
運輸用ヘリコプター	143
エアリース	51, 109
エニル専用ジェニス	59
レステム	135
OZ潜水艦MS母艦	115
OZ実験艦母艦	115
OZ超音速転送機	115
オリファント	106
オルバ・フロスト	73, 131, 137

### <か>

カーヘル	141
カネガンダム	101
カッシング	87
カディール	138
カブル	138
ガンダムX	55, 128
ガンダムX ティパイダー	57, 133
ガンダムアシュタロン	72, 129, 137
ガンダムアシュタロン ハーミットクラブ	72, 140
ガンダムヴァンガードチェストブレイク	73, 140
ガンダムヴァンガード	73, 129
ガンダム打ち上げロケット	101
ガンダムエアマスター	71, 128
ガンダムエアマスター バースト	71, 136
ガンダムエビオン	48, 117
ガンダムサンドロック	44, 45, 105, 122
ガンダムサンドロック改	117
ガンダムシュビーダール	21, 80
ガンダムDX	57, 136, 138
ガンダムデスサイズ	40, 102
ガンダムデスサイズH	40, 41, 116, 122
ガンダム封印カプセル	122
ガンダムヘッド	100
ガンダムヘビーアームズ	46, 47, 103, 123
ガンダムヘビーアームズ改	116
ガンダムマグナート	27, 91
ガンダムマクスター	19, 83
ガンダムレオバルド	70, 128, 134
ガンダムレオバルド デストロイ	70, 136
ガンダムローズ	18, 86
キャンサー	50, 109
クローンガンダム	23, 80
クワダ	141
クワダ ランスロー大佐専用機	141
グランディーネ	143
グランドマスターガンダム	23, 101

# MECHANICS、HAPPENINGS,etc.

ゴダール	81
ゴッドガンダム	16, 94
ゴブラガンダム	26, 95
コルレル	75, 138

## <吉>

サーベント	54, 126
作楽南モビルスーツ	112
サテライトランチャー	140
Gコンローラー	128
Gファルコン	56, 138
覇王貴族グラントガンダム	22, 100
ジェスターガンダム	29, 96
ジェニス	134
ジェニス改エニル・カスタム	141
ジェニス改クロッカ機	143
ジェニス改スラッシュバフフロー	143
ジェンロンガンダム	42, 104
シャニングガンダム	16, 82, 92
シャッフル・クラブ	91
シャッフル・ジョーカー	91
シャッフル・スベード	91
シャッフル・ダイヤ	91
シャッフル機組MF	19
ジュウツク寒地仕様	74, 133
英雄王オールドガンダム	22, 98
ジョンブルガンダム	24, 67
新選組大砲機	133
スーパーマイクローブ発射装置	129
スカルガンダム	29, 96
スヘースコロニー	97
スベースシャトル	121
スベースラング	121
ゼウスガンダム	27, 95
ゼクス宇宙艦隊機	120
ゼブラガンダム	29, 96
装甲車	115

## <た>

多連銃口オート車両	115
タンクガンダム	28, 96
テキラガンダム	25, 86
デスアーミー	23, 90
デスドラゴン	80
デスネービー	80
デスバーディ	80
デスマスター	80
デビルガンダム	22, 90, 100
デビルガンダムコロニー	100
テムジンガンダム	25, 91
天創絶刀ガンダムヘブスソード	22, 99
テンザン(機)バルチャー機	131
ドーシートII	135
ドートレス・ネオ	142
ドートレスHMCワズラビー	143
ドートレス・タンク	134
トールラス	50, 112
トールギス	48, 104
トールギスII	49, 121
トールギスIII	49, 126
O O M EのGビット	142
攻撃艇	127
トラコス	53, 108

ドラゴンガンダム	18, 83
ドリエス組水防用機	131
トルフィン・ナビゲーター	134

## <編>

ネーデルガンダム	26, 97
ネオジャパンMS、MA	89
ネオジャパン宇宙艦隊	101
ネロスガンダム	24, 82
ノーベルガンダム	20, 86
ノブリス	21, 91

## <編>

バイキンウガンダム	27, 97
バイスーズ	51, 109
バイロン	138
バトーリア	132
バリエント	137
バルチャー	131
バルトーク	140
ビルゴ	55, 112
ビルゴII	54, 112
ビレーネ編/バルチャー編	131
フアイヤークラビー	143
フアラオガンダムI型	26, 87
フアラオガンダムII型	26, 87
龍宮再建	23, 99
フリーデン	59, 128
フリーデンII	58, 142
フリトヴァ	138
ベスカトル	87
ベルティゴ	73, 132
ホセファーナ	101
ポリベイモス	135
ホルトガンダム	19, 86

## <機>

マーメイドガンダム	29, 97
マクアタック機 MS	45, 105
マスターガンダム	23, 90
マタドールガンダム	27, 96
マンダラガンダム	28, 96
マンモスガンダム	28, 96
ミナレットガンダム	25, 86
ミラーージュガンダム	27, 91
メリクリウス	52, 112
モーマル型	105

## <機>

有線ミサイル車	115
---------	-----

## <機>

ライジングガンダム	17, 98
ラシード機	105
ラスヴェード	140
ランタオ機	97
ランパーガンダム	25, 87
リオー	115
連合主力戦車	43, 114
連合主力戦艦機	115
ロッキーマーバルチャー機	131

•publisher  
SEIICHIRO AOKI

•editors in chief  
SHIN-ICHIRO INOUE

•editors  
ITTOH OGAMI  
HIROSHI ODAGIRI  
RYOTA FUJITSU  
TAIRA HASHIBA  
TOSHIHIKO ONOUE  
TAKUYA SAITO  
ATSUKO IWASAWA  
YASUYO ISHII  
KOICHI NUMATA  
YOSHIHIRO ICHIGE

•contributed writers  
KEINOJO MIZUTAMA  
TAOASHI KITAZAWA

•editorial operation  
IKUKO ENOMOTO

•art associates  
AKEMI KUROSAKA

•art direction  
YOSHINORI FUTAGAMI (King of Design)

•design  
ATSUSI IMAIZUMI (King of Design)  
YASUKO ISE (King of Design)

•proofreading  
EMI SASAKI

•DTP works  
LOYAL DIGITAL PLANNING CO.,LTD.

•thanks  
SUNRISE  
BANDAI  
BANDAI VISUAL  
KING RECORD

•cover illustration  
YUJI KAIWA

# GUNDAM

## EPISODE GUIDE ④

THE New World FUTURE CENTURY/AFTER COLONY/AFTER WAR

機動戦士ガンダム エピソードカイト vol.4 新世紀編

### ニュータイプ 編

2000年11月10日初版発行

### 発行人 青木誠一郎

発行所 株式会社角川書店  
〒100-8177 東京都千代田区富士見2-15-3  
営業03-3238-8530 編集03-3238-8533  
販売03-3238-195208  
デザイン/キング・オブ・デザイン  
印刷/大日本印刷株式会社  
製本/株式会社宝島製本所



著者 乱丁 乱丁に書かれても小冊子製本所受注センター担当者  
宛、お届けたら、送料は小冊子製本所にてお取り替え致します

# EPISODE GUIDE

4

The New World—FUTURE CENTURY/AFTER COLONY/AFTER WAR

# GUNDAM



# THE GUIDANCE PRACTICE GUIDE

4

Too Many Words—Foster  
Gentle/After  
Gently/After

# GUNDAM

EPISODE GUIDE



The New World FUTURE SHINING

011





—The New World—FUTURE CENTURY/AFTER COLONY/AFTER WAR—

# GUNDAM

ISBN4-04-853071-2 C0076 ¥1800E

● 定価: 本体1800円(税別) 角川書店



9784048530712



1920076018008

# GUIDE TO GOOD EPISTOLARY GUIDES